

3R-26

應用 動物學

練木喜三
瀧田鐘四郎
纂述



上編

卷之一

明治十六年五月刊行

東京

例言

一言例

一 本編ハ余カ東京大學醫學部別課醫學生、製藥學生、并
 二 農商務省駒場農學校獸醫學生、農學生等ニ教授セ
 三 ル所ノ動物學ニシテ各門ノ講本ヲ蒐集シ今更ニ刪
 訂修正シテ以テ世ニ公ニセリ凡ソ動物中人身及家
 畜ニ寄生シ又体中ニ毒ヲ藏シテ害ヲ爲スモノアリ
 有用植物ヲ害スルモノアリ或ハ資テ藥劑トシ或ハ
 以テ百工ノ材料トシ又食料ト爲スヘキモノ等苟モ
 人生ニ關係アルモノハ一々網羅シテ以テ遺スコトナ
 キナ本旨トス而レモ類ノ推スヘキハ略シテ掲ケス
 是レ目シテ應用動物學ト爲ス所以ナリ

一凡ソ動物ハ大別シテ二トス即チ上編ニ論スル所ノ脊椎動物下編ニ述ル所ノ無脊椎動物是ナリ每編插图シテ以テ實物ノ目撃スル能ハサルモノヲシテ講習ノ便ヲ得セシム

一書中掲載スル所ノ動物ハ勉メテ本邦産ノモノヲ撰フト雖モ其類ノ推テ知リ易キハ一屬若クハ一種ヲ掲ケテ他ハ皆之ヲ畧ス又外國産ト雖モ其類中尤モ欲クヘカラサルモノ及實用上必需ノモノハ悉ク之ヲ掲載スルモノトス

一總論中普通動物書ノ如ク解剖生理ノ二科ヲ掲ケスト雖モ其類別ノ徵候トナルベキハ一々各部綱目ノ下ニ詳論シテ洩スコトナシ

一綱目ノ順序ハ獨逸國博物學士トロッセル氏ギーベル氏トローメー氏等ノ動物學ニ倣ヒ其ノ他ノ諸項ハシールポルト氏日本動物圖說ロエニス氏應用動物編ガレンサ氏魚譜ブレームス氏動物生活論ヘンケル氏及グラント氏ノ藥用動物學ロエカルト、キヒエンマイスタル、クラウス諸氏ノ寄生動物學タッシェンベルヒ氏及ラツエンベルヒ氏昆虫學等ノ諸書ト平素余等ガ學習實驗スル所トナリテ參酌校訂スルヲ主トシ其譯名ノ如キハ博ク和漢ノ書ニ就テ之ヲ撰ビ説ノ取ルベキハ之ヲ掲載ス而レモ漢書中是ハ一物ノ名トシ彼

ハ異名ト爲シ或ハ以テ一種ノ名トシ又數種ノ總名ト爲スモノアル等ノ類尠カラズ本邦書ノ如キモ亦然リ故ニ譯名中或ハ彼是紛雜ノ責免ル能ハズ讀者若シ斧正告示スルコアラバ幸甚

一編中第一第二卷ハ既ニ明治十四年ヲ以テ稿ヲ脱シ當時仮ニ上梓シテ有志ノ士ニ頒テリ然レモ其未ダ全カラザルヲ以テ世ニ公セズ其後公事ニ奔走廢棄スルコト一周餘年頃者少シク間暇加フルニ同學龍田鐘四郎氏ノ補助ヲ得テ速ニ諸彦ノ需メニ應ズト云

爾

明治十六年五月

練木喜三識

應用動物學上編卷之一

目次

總論

動植物三物ノ區別	一	丁
動物學分科	四	丁
自然及人工綱目ノ區別	五	丁
動物分類法	五	丁
全上沿革	七	丁
林那氏分類表	八	丁
キュビニ氏分類表	九	丁
本編分類表	一二	丁
各論	一五	丁
第一部 脊椎動物	一五	丁

二目

全上總論	一五丁
全上分綱	一七丁
第一綱 哺乳動物	一八丁
全上總論	一九丁
全上分類表	二四丁
第一目 二手類	二七丁
第二目 四手類	三二丁
第三目 翼手類	四二丁
第四目 食蟲類	四七丁
第五目 猛獸類	五二丁
第六目 鱗脚類	七七丁
第七目 鰓齒類	八三丁
第八目 貧齒類	九六丁
第九目 無齒類	

三目

應用動物學上篇卷之一目次畢

第九目 多蹄類	一〇一丁
第十目 單蹄類	一一三丁
第十一目 雙蹄類	一一七丁
第十二目 游水類	一三九丁
第十三目 有袋類	一五一丁
第十四目 一穴類	一五六丁
一名厚皮類	
一名反芻類	
一名海鱗類	
一名鳥嘴類	

應用動物學上編卷一

練木喜三
瀧田鐘四郎纂述

總論

動植礦三物ノ區別

天地ハ浩遠タリ其間ニ森羅スル者千万箇ナラサルナリ今之ヲ分テ
生成造成ノ二物ト成ス生成物トハ何ソ造化ノ妙力ニ由リテ生成セル
物ヲ云フ造成物トハ何ソ生成物ニ人工ヲ加ヘテ成セル物ヲ云フ生成
物ハ之ヲ再別シテ有機無機ノ二物ト爲シ又三有ト爲ス曰動物曰植物
曰金石是ナリ金石ハ同質ノ物外ヨリ凝聚シテ其形ヲ構成シ榮養生産
ノ器ナシ故ニ名ケテ無機体ト云ヒ其學ヲ金石學ト云フ動植ノ二物ハ
然ラス其体不同ノ質ヨリ構成シ生産死亡アリ其養分ヲ異類ニ資リ器
官ノ良能ニ由リテ之ヲ体内ニ化シ生殖ノ器アリ同類ヲ蕃殖ス故ニ之

ヲ總稱シテ有機体ト謂フ其學ヲ動物學及ヒ植物學ト謂ヒ此三科ヲ綜
 フルノ學ヲ博物學ト云フ而シテ此動植ノ二學ハ共ニ生物ヲ研究スル
 ノ科程ニシテ其區域ヲ定ムル蓋シ難シトス何トナレハ動植ノ二物中
 其体ノ遺構極メテ單簡ニシテ判然其所屬ヲ明示スル能ハサル者アレ
 ハナリ

夫レ動物ハ知覺アリ動止自適シ植物ハ此機能ヲ缺如スレハ植物中之
 ニ觸ルレハ葉ヲ収ムルアリ例之含羞草ナシキサノ如シ或ハ花瓣ヲ収ムルアリ
 例之半支蓮ハナキノ如シ動物ニシテ其体ヲ寸斷レハ各截片ヨリ新体ヲ生ス
 ルモノアリ例之水母クラゲノ如シ又其卵ノ孵化スルヤ少焉ク運動スト雖
 一タヒ靜止シテ他物ニ粘着スレハ遂ニ終生其ノ居ヲ移ス能ハサル者
 アリ例之牡蠣カキ石脚イソノ等ノ如シ又植物ニシテ終始水中ニ浮遊スル者アリ
 例之浮萍ウレキノ如シ動物ニシテ口ナク全體薄膜ヲ包被シ其膜ニ由リテ養
 料ヲ資ル者アリ例之滴虫ドロウノ如シ凡ソ植物ハ無機物ヲ資リ動物ハ有機

物ヲ以テ其身ヲ養フト雖モ植物ニシテ有機質ヲ攝取スル者アリ例之
 寄生植物ノ如シ動物ニシテ葉綠植物ノ葉ニ綠色ヲ呈スル元質ヲ有シ無機質ヲ類化
 スル者アリ例之滴虫ノ如シ植物ニシテ葉綠ヲ有セサル者アリ例之菌
 蕈ノ如シ又林娜氏曰ク石灰分ハ動物質ニ屬スト然レモ石灰ヨリ成レ
 ル海藻アリ動物ニシテ植物纖維ヨリ成レルアリ植物ニシテ毳毛ニ由
 リ運動スル者アリ故ニ西哲ヘツケル氏ハ動植ノ間ニ尙ホ原体ト稱ス
 ル一ノ別區界ヲ立テ單細胞体或ハ聚体ナル者モ各細胞同質ニシテ特
 異ノ機器ヲ具ヒス其所屬判然ナラザル者ヲ蒐羅シテ此ニ屬セシメン
 トシテ欲シ千八百七十八年ニ於テ其說ヲ廣告セリ其之ヲ判別スルノ難
 キ其レ如斯故ニ諸大家各自ニ一家ノ說ヲ主唱シ或ハ之ヲ植物學中ニ
 論ズルアリ或ハ之ヲ動物學中ニ述ブルアリ未ダ確然之ヲ一定スル能
 ハザル物アリト雖モ今諸家ノ說ヲ酌考シ其最モ簡ナル者ヲ取り繁ヲ
 省キ以テ初學ノ便ヲ謀ルト云爾

動物學分科

動物學ヲ別テ理論實用ノ二科ト爲ス其理論ニ係ルモノ亦別テ十科ト爲ス曰動物外統學曰動物名稱學曰動物綱目學曰動物地理學曰動物亡族學曰動物解剖學曰動物組織學曰動物化學曰動物生理學曰動物病理學而シテ其專ラ實用ニ關スル科程ハ之ヲ實用動物學ト云ヒ又應用動物學ト云フ

本篇論述スル所ハ則チ此實用動物學ニシテ醫ニ農ニ商ニ工ニ荷モ之レニ關リ有用ナル動物ハ其性形利害能毒ヲ辨詳シテ洩サ、ルヲ本旨ト爲ス而シテ其之ヲ編述スルニ其序列ハ之ヲ綱目學ニ法リ其外貌名稱地理亡族解剖組織理化生理病理ノ如キ每科章ヲ分チテ之ヲ詳論セスト雖モ其分類ノ標徴ト爲リ且應用上ニ關係アル諸項ハ一々枚舉シテ遺スナシ

自然及ヒ人工綱目ノ區別

動物ノ系統ヲ分説スルニ二法アリ自然綱目人工綱目はナリ甲ハ天然ノ性形ニ基キ乙ハ人爲ニ出ツ而シテ其人爲ニ出ツル者ハ林娜氏ガ花ニ由リテ植物ノ綱目ヲ設ケシ如ク動物体中某一器官ノ異同ニ由リテ諸動物ヲ類別スルヲ猶ホ「イロハ」字引ヲ彙成スルト一般ニシテ自然綱目ハ亦泰西文法書ノ八品詞ヲ列叙スルカ如シ此書ハ即チ自然綱目ニ據レリ

動物分類法

萬種ノ動物ヲ類別スルニ必ス先ツ部ヲ分チ部中綱ヲ建ツルハ猶ホ一大動物園ヲ設置シ之ヲ數區ニ劃シ每區數欄ヲ設ケ每欄相類似セル動物ヲ彙養ノ衆庶ノ縱覽ニ供スルカ如シ仮令ハ脊椎動物ハ第一區ニシテ之ヲ分類シ以テ五綱ト爲スハ該區中ニ五欄ヲ劃置シ脊椎骨ヲ有スル動物中人畜ノ如ク猿兒ニ乳液ヲ用ユル者ハ之ヲ混一シテ第一欄中ニ蒐集シ鳥類ハ第二欄ニ魚類ハ第五欄中ニ畜養スルト一般ナリ但シ

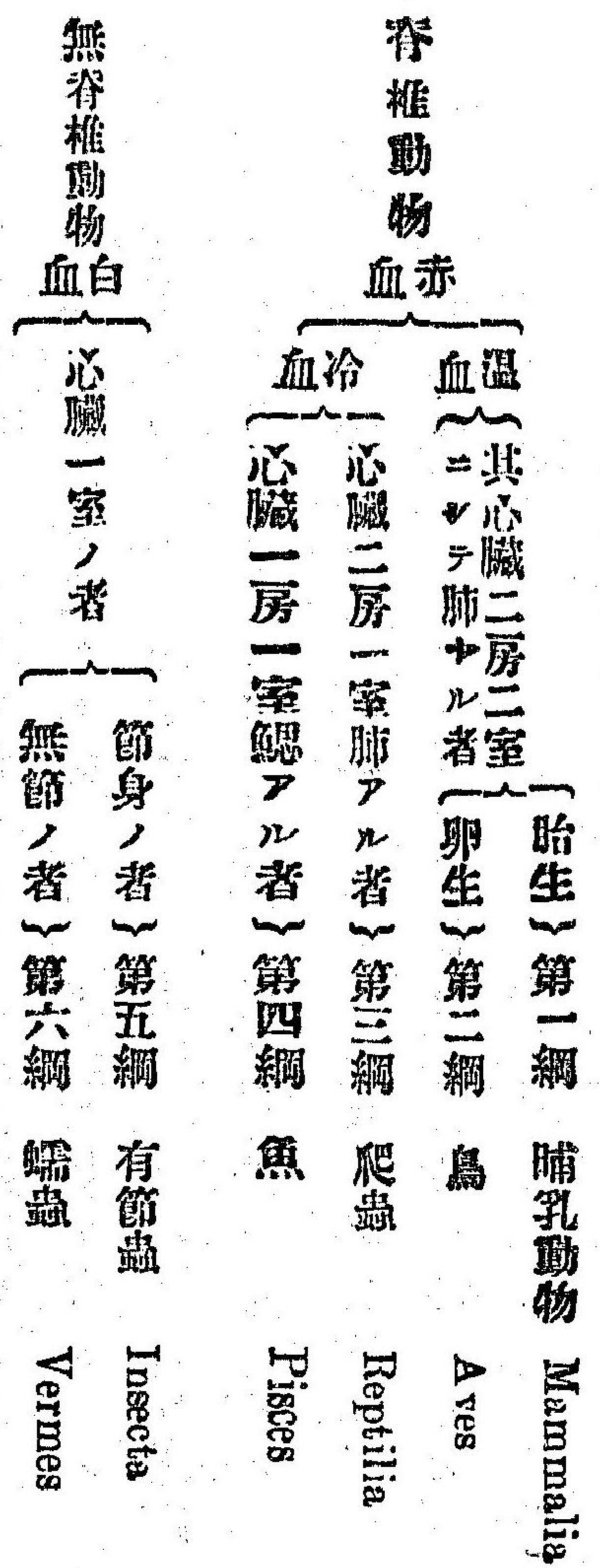
一欄中ノ者ト雖也亦其形狀性質等ニ於テ各自差異ナキ能ハズ仮令
 ハ犬ト猴トノ如シ依テ又其欄中ヲ細分シテ彼此之ヲ區別シ人ナシテ
 容易ク其性形ノ差異アル所ヲ了知セシメザル可ラズ故ニ綱中亦目ヲ
 分チ目中族ヲ分チ族中屬ヲ分チ屬中更ニ種ヲ分チ以テ其系統ヲ詳明
 分設ス如斯スルモ尙ホ其區別ノ明カナラザル者アレハ每級又數番ヲ
 設ケテ之ヲ分ツ例之脊椎動物ヲ胎盤ノ有無ニ由リテ内別スルガ如キ
 是ナリ而シテ其種名ヲ記スルニ二字ノ羅旬語ヲ用フル例之犬ノ名
 ナ *Canis familiaris, L.* ト爲シ狐ナク *Vulpes, L.* ト稱スルガ如シ其 *Canis* ハ即
 チ屬名ニシテ猶ホ人ノ公稱ニ於ケルガ如シ *familiaris* ト云ヒ *vulpes* ト
 云フハ其種名ニシテ人ノ私號ニ於ケルト一般ナリ且其種名ノ下ニ添
 書セル「」ハ始メテ之ニ學術上ノ名ヲ附セシ人ノ零號ニシテ「」ハ即チ
 其人ノ林娜氏タルヲ示セルナリ。

動物分類法沿革

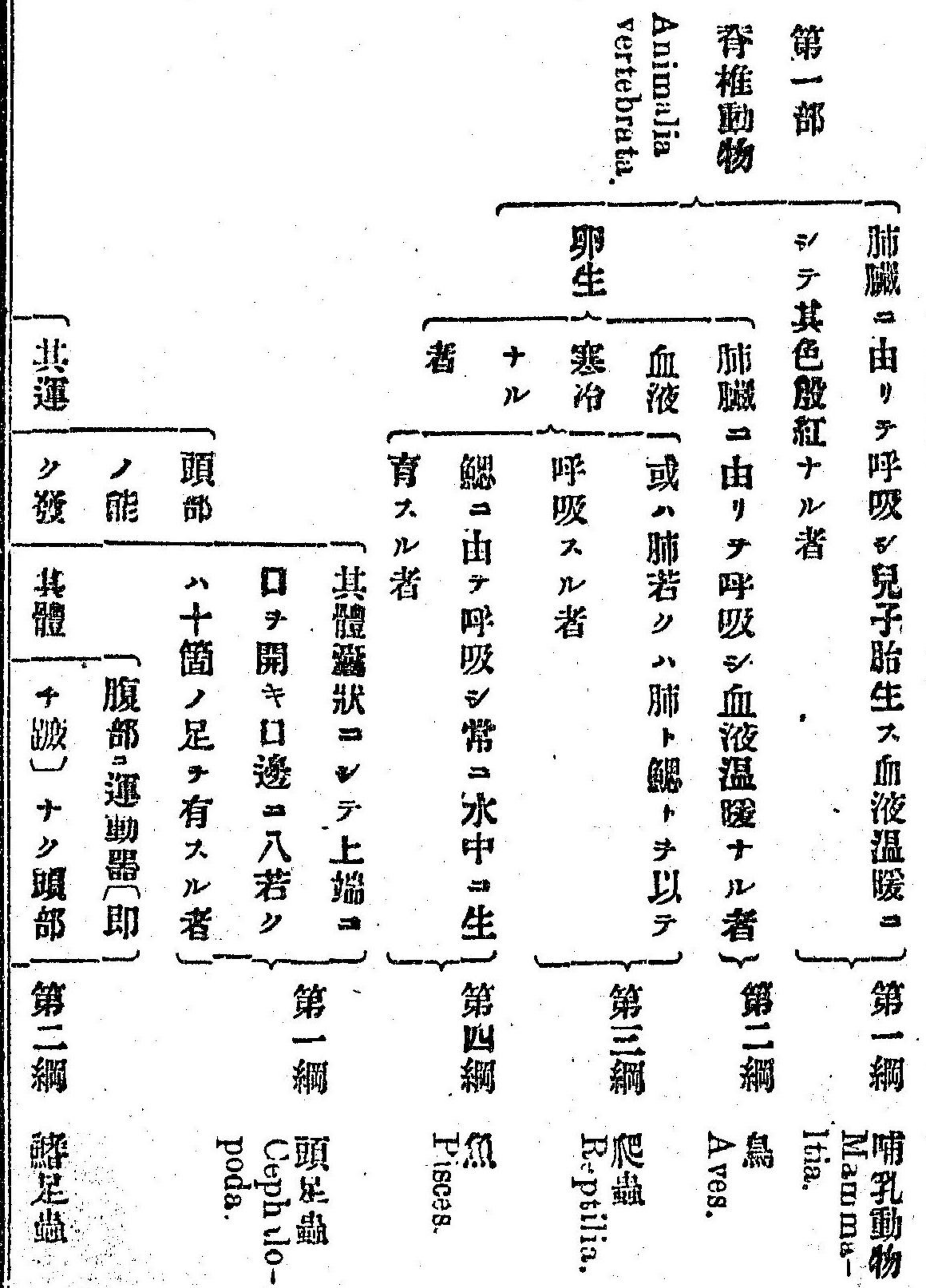
動物學ノ始祖ヲアリストトテレス氏トス氏ハ希臘國歷山王ノ師ニシ
 テ紀元前三百二十一年ニ没セリ此人始メテ全動物ヲ大別シテ無血有
 血ノ二類ト爲セリ其後三百餘年アリコウス氏ノ出ルニ及ヒ此法ヲ改
 正シテ陸水羽ノ三族ト爲ス後又千五六百年代ニ至リテ再ヒアリスト
 テレス氏ノ分類法世ニ行ハレ林娜氏出ツルニ及シテ更ニ之ヲ修正シ
 心臟ノ造構血液ノ温冷色澤及ヒ呼吸器蕃殖ノ差違ニ由リテ全動物ヲ
 六綱ニ分チ綱中ニ目族屬種ヲ置キテ各動物ノ所屬ヲ詳カクシ種名ヲ
 記スルニ二字ノ羅旬語ヲ以テセリ是レ現時世ニ行ハル、動物綱目學
 ノ基礎ナリ後進ノ輩之ニ由リテ以テ動物ノ系統ヲ明カニシ其種名萬
 世ニ亘リテ變セサルハ眞ニ氏ノ賜ト云フモ敢テ颯言ニ非サルヘシ氏
 ハ一千七百〇七年瑞典ノ隣境ニ生レ同七十八年ニ没セリ實ニ博物學
 中興ノ祖師ナリ爾後佛人「シマルク」氏ナルモノ「アリスト」テレス氏ノ
 舊法ニ由リテ一家ノ說ヲ立テリト雖也遂ニ行レス一千八百十有二年

ニ至リ佛人「キニヒエ」氏ノ書出ルニ及ヒ大ニ綱目ノ面目ヲ改メ其徵候ヲ取ルヲ頗ル精覈コシテ誠ニ其當ヲ得タルモノ、如シト雖也學士輩出隨テ説ケハ隨テ精ク今ニシテ之ヲ觀レハ尙ホ隔靴ノ歎ナキ能ハス此書綱目ノ順序ハ則チ近世諸大家ノ增補則正セル所ニ係ル今左ニ林那「キニヒエ」及ビ本編據ル所ノ分類表ヲ掲ケテ其沿革ヲ示ス

林那氏分類表



キニヒエ氏分類表



神 經 系 統 ノ 著	
第二部 動物 Animalia 軟體 蟲 Anim mollu -sca.	<p>動器 育セ 開口 ヨニ箇ノ膜様ナ</p> <p>軟弱ル者 セズル嗜チ有スル者</p> <p>且足 腹部ニ跛アリ以</p> <p>ナキ ナキ ナ匍匐シ頭部ニ</p> <p>者 者 二若クハ四箇ノ</p> <p>觸角チ具有セル</p> <p>第三綱 螺 Gastero- poda.</p>
第四部 介 Acephala.	<p>頭部發育セズ筋衣 足ナキ者</p> <p>ノ根部ニ口チ開ク 二足アル</p> <p>者 者</p> <p>第四綱 介 Acephala.</p>
第五部 手足蟲 Brachio- poda.	<p>許多ノ運動器アリ角質ニシテ節アル</p> <p>者</p> <p>第六綱 裸足蟲 Chirhopo- da.</p>
第六部 環蟲 Annulata.	<p>體外ニ鰓アリ多クハ四箇ノ觸</p> <p>角チ具フル者</p> <p>體中頭胸ノ兩部チ區別ス</p> <p>ル能クス眼ハ所謂單眼ニ</p> <p>シテ觸角ナク四對ノ脚チ</p> <p>有スル者</p> <p>頭胸ノ兩部判然相分レ常</p> <p>ヨニ二箇ノ觸角アリ多クハ</p> <p>三對ノ脚チ具フル者</p> <p>第一綱 內臟蟲 Insecta.</p>
第七部 有殼蟲 Crustacea.	<p>其形態恰モ太陽ノ光線チ放テタル如ク</p> <p>コシテ石灰質若クハ草様ノ質チ被フ</p> <p>リ呼吸器甚タ著明ナル者</p> <p>其體或ハ長ク或ハ扁平ニシテ諸器官</p> <p>第二綱 內臟蟲</p>

明 ナ ル 著	
第三部 節 動物 Animalia 節 Arthri- poda	<p>血液 白色</p> <p>體外ニ鰓アリ多クハ四箇ノ觸</p> <p>角チ具フル者</p> <p>體中頭胸ノ兩部チ區別ス</p> <p>ル能クス眼ハ所謂單眼ニ</p> <p>シテ觸角ナク四對ノ脚チ</p> <p>有スル者</p> <p>頭胸ノ兩部判然相分レ常</p> <p>ヨニ二箇ノ觸角アリ多クハ</p> <p>三對ノ脚チ具フル者</p> <p>第一綱 芒刺蟲 Echino- dermata.</p>
第四部 有殼蟲 Crustacea.	<p>其形態恰モ太陽ノ光線チ放テタル如ク</p> <p>コシテ石灰質若クハ草様ノ質チ被フ</p> <p>リ呼吸器甚タ著明ナル者</p> <p>其體或ハ長ク或ハ扁平ニシテ諸器官</p> <p>第二綱 內臟蟲</p>

ノ痕迹ヲ 存シ多シ ハ呼吸器 ナキ者	ノ排置體形ニ應シ呼吸器ナキ者 其體或ハ圓圓若クハ放線狀ニシテ呼 吸器アル者	Entozoa. 水母 Acalepha.
第四部 植蟲 Animalia zoophyta.	粘液様ノ小蟲ニシテ口手アリ多クハ 數蟲聚生シテ其狀植物ニ似タル者 其體甚ク微細ニシテ顯微鏡ニ非サル ハ得テ之ヲ認ムル能ワス諸器官ノ造 構頗ル不分明ナル者	第四綱 珊瑚蟲 Polypl.
第五部	第五綱 藻蟲 Infusoria.	

本編分類表

第一部 脊椎動物 Vertebrata	第一綱 哺乳動物 Mammalia
	第二綱 鳥 Aves
	第三綱 爬蟲 Reptilia
	第四綱 水陸並生 Amphibia
	第五綱 魚 Pisces

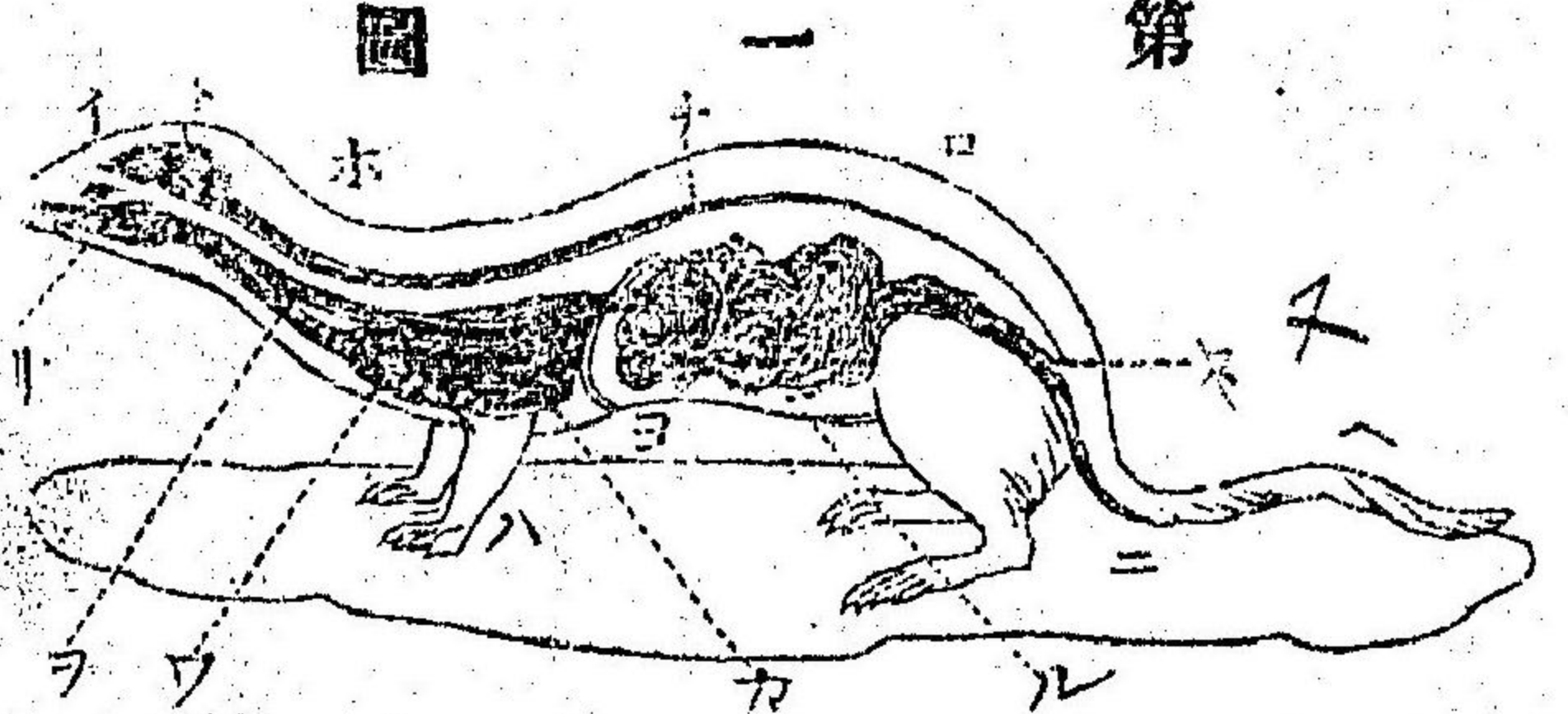
無脊椎動物 Evertebrata.	第二部 軟體蟲 Mollusca.	第一部 頭足蟲 Cephalopoda.
		第二綱 螺 Cephalophora.
		第三綱 介 Lamellibranchiata.
		第四綱 手足蟲 Brachiopoda.
	第三部 關節蟲 Arthropoda.	第一綱 六脚蟲 Insecta.
		第二綱 蜘蛛 Arachnoidea.
		第三綱 百足蟲 Myriopoda.
		第四綱 有殼蟲 Crustacea.
	關節蟲 Articulata.	第一綱 硬毛蟲 Chaetopoda.
	星狀蟲 Jata.	第二綱 星狀蟲 Gephyrea.
		第三綱 車輪蟲 Rotatoria.
		第四綱 被囊蟲 Tunicata.
		第五綱 苔狀蟲 Bryozoa.

植蟲 Zoophy- ta.	第六部 無腸蟲 Coelen- terata.	第一綱	有櫛水母	Ctenophora.
		第二綱	水母	Hydromedusae.
Echino- dermata	第四綱	第一綱	毛狀海星	Orinoidea.
		第二綱	海膽	Echinidea.
第五部 芒刺蟲	第三綱	第一綱	海星	Asteridea.
		第二綱	沙眼	Holothuridea.
第七部 原蟲 Proto- zoa	第三綱	第一綱	有吸盤蟲	Nemathelminia.
		第二綱	渦動蟲	Cotylidea.
第七部 原蟲 Proto- zoa	第一綱	第一綱	線狀蟲	Turbellaria.
		第二綱	海綿蟲	Holothuridea.
第七部 原蟲 Proto- zoa	第一綱	第一綱	滴蟲	Infusoria.
		第二綱	海綿蟲	Porifera.
第七部 原蟲 Proto- zoa	第一綱	第一綱	根豆蟲	Rhizopoda.
		第二綱	海綿蟲	Porifera.

應用動物學各論

第一部 脊椎動物 *Vertebrata*

此部ニ属スル動物ハ其體皆左右同形ニシ
テ第一圖ノ如ク頭首(イ)軀幹(ロ)及ヒ四肢ハ
コノ三部ヨリ成リ軀幹中又多クハ頸(ホ)尾
(ヘ)ノ二部ヲ區別ス體中ニ骨格アリ 第二圖
以テ身體諸部ノ基礎ヲ成ス是レ該部ノ標
徴アリ其頭首ニ位スル者ヲ鬮髖ト云ヒ軀
幹中ニ在ル者ヲ脊椎骨又脊梁骨ト云フ此
二者相聯繫シテ一條ノ長管ヲ成シ中ニ至
要ノ器機ヲ藏ス腦(ト)脊髓(チ)是ナリ外來ノ
刺戟ヲ感受スルノ器官皆此ニ完具ス肢ニ



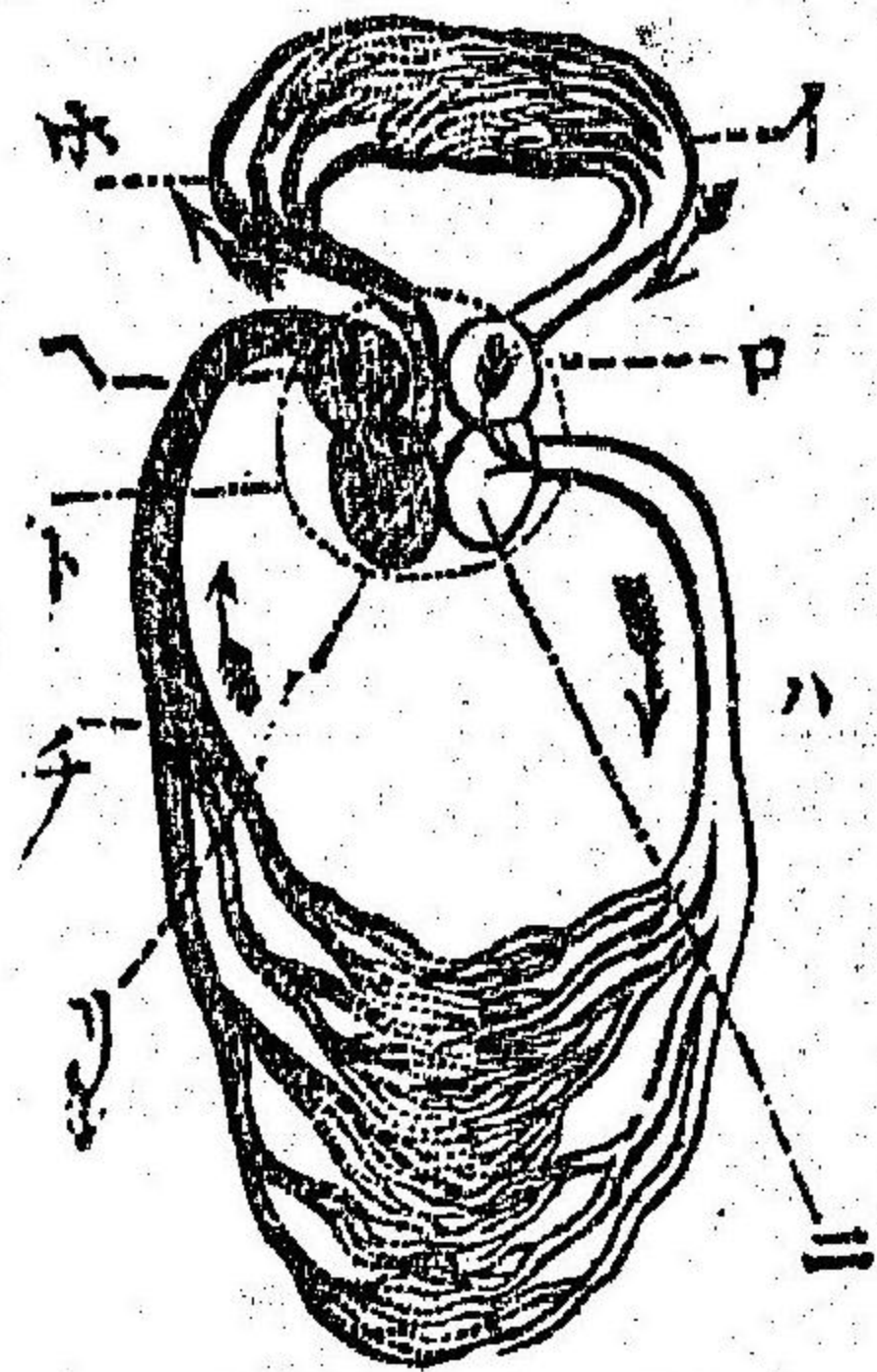
イ 頭首
ロ 軀幹
ハ 前肢
ホ 頸
ヘ 尾
ト 腦
チ 脊髓
リ 口腔
ル 腸管
ヲ 氣管
カ 肺臟
ク 心臟
目 橫膈膜

二様アリ前肢(ハ)后肢(ニ)是ナリ甲ハ肩胛骨ニ由リテ脊椎骨ノ前部ニ聯
 繋シ乙ハ腕骨ニ由リテ其后部ニ關節ス筋アリ以テ全骨格ヲ綴理シ身
 體ノ運動ヲ職トル皮膚アリ以テ其外部ヲ包被ス皮膚上或ハ茸毛ヲ生
 スル者アリ或ハ羽鱗甲等ヲ被フル者アリ又裸出スル者アリ脊椎骨ノ
 下側ニ尙ホ一條ノ長管アリ口腔(リ)ニ始マリ肛門(ヌ)ニ終ル乃チ飲食滋
 養排泄ノ道路ナリ名ケテ榮養管ト云フ第七圖 血管閉鎖シ血液ハ般紅
 ニシテ各異ノ温ヲ具ヒ或ハ肺(ワ)ヲ以テ呼吸スル者アリ人畜是ナリ或
 ハ腮ヲ以テ呼吸スル者アリ魚類是ナリ雌雄アリ以テ生殖ヲ營ミ或ハ
 鳥類ノ如ク卵生スルアリ或ハ人畜ノ如ク胎生スルアリ
 該部ヲ大別シテ五綱ト爲ス一曰哺乳動物二曰鳥三曰爬蟲四曰水陸並
 生五曰魚則チ分綱ノ微目左ノ如ク

第一綱 哺乳動物 ハ其心臟第二圖ノ如ク二房二室ヨリ成リ血液
 温煖ニシテ其色般紅肺アリ以テ呼吸シ兒子胎生ス其分娩ノ後之チ

發育スルニ乳液ヲ哺啜セ
 シムルヲ以テ此名アリ其
 体概チ多少ノ毛茸ヲ生シ
 裸出スル者ハ罕ナリ人畜
 此ニ屬ス

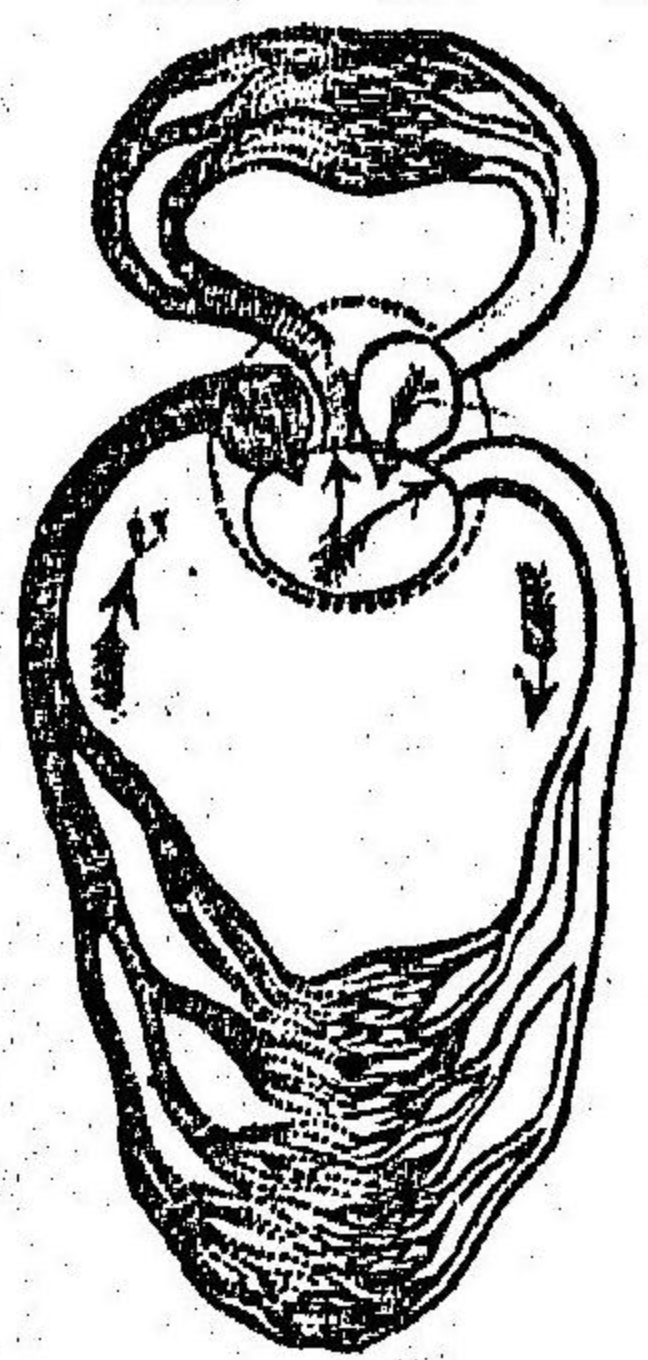
第二圖



- [イ] 肺静脈
- [ロ] 左房
- [ハ] 大動脈
- [ニ] 左室
- [ホ] 肺動脈
- [ヘ] 右房
- [ト] 心臓
- [チ] 大静脈
- [リ] 右室

第二綱 鳥 ハ其心臟ノ
 遺構血液ノ呈色及ヒ呼吸
 器共ニ前綱ニ同シ唯其卵
 生ナルト羽翼ヲ被ムルト

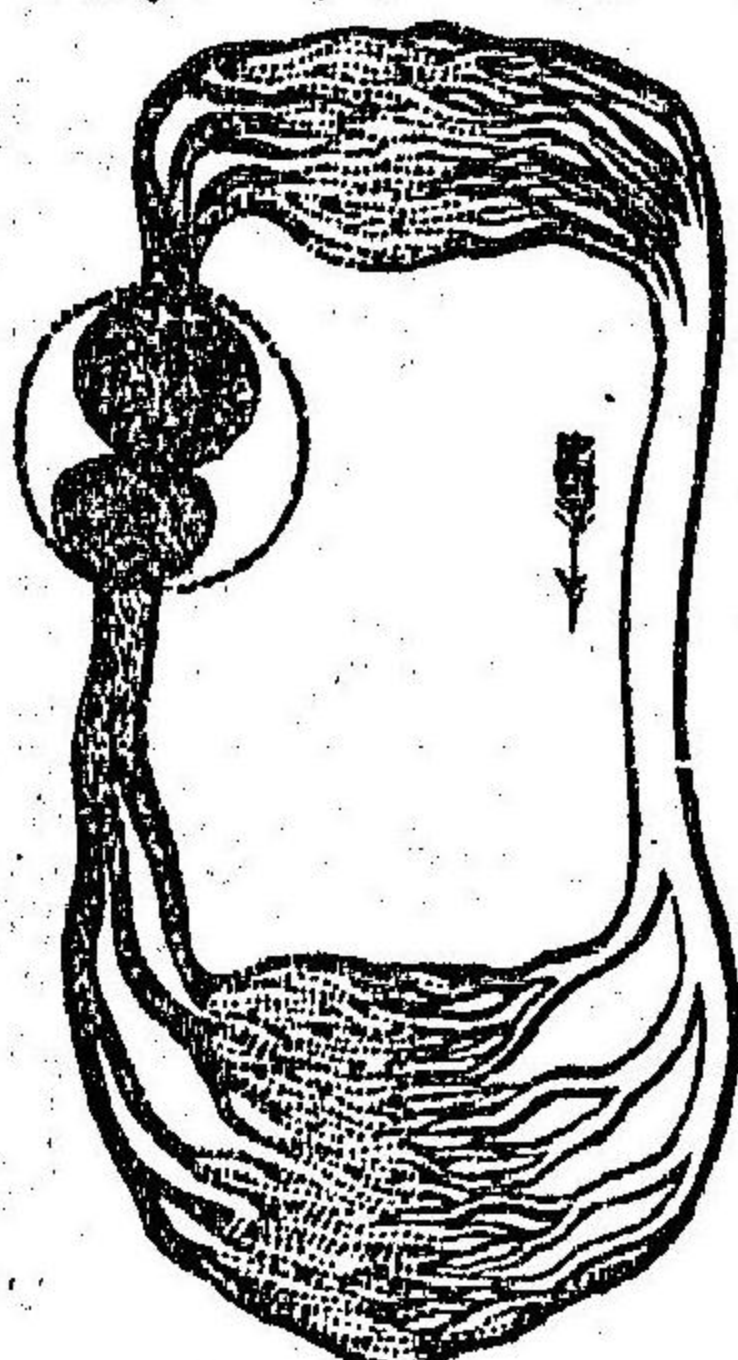
第三圖



ノ異アルノミ鳥類都テ此
 ニ屬ス

第三綱 爬蟲 ハ肺ヲ以
 テ呼吸シ卵生スルヲ猶ホ

第四圖



- 矢形ハ血液
- 運行ノ方向
- ヲ示ス

鳥ノ如シト雖尾羽翼ヲ生スルヲナク鱗若クハ甲ヲ被フリ血液寒冷
ヨシテ心室ノ中隔全カラズ龜蛇ノ類此ニ屬ス

第四綱 水陸並生

ハ其形態概テ爬蟲ニ似タリト雖尾皮膚ノ裂
出セルト其心臟第三圖ノ如ク二房一室ヨリ成レルト幼時ハ鰓ハ由
リテ呼吸スルトヲ以テ之ヲ區別ス蟾蜍蝶鯨ノ類此ニ屬ス

第五綱 魚

ハ其體鱗ヲ被ムリ血液寒冷ニシテ心臟ハ第四圖ノ如
ク一房一室ヨリ成リ鰓ヲ以テ呼吸シ卵生ス魚類總テ此ニ屬ス

以上

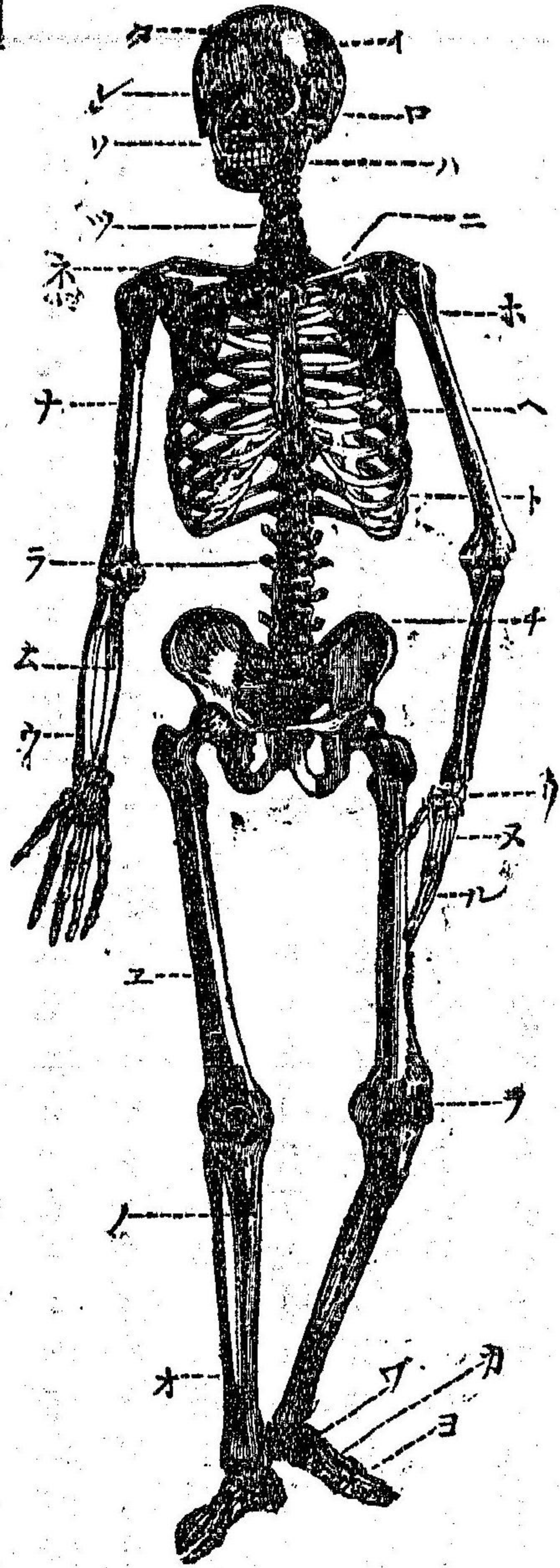
第一綱 哺乳動物 Mammalia

本綱ノ動物ハ頭腦ノ發育其種屬ノ異ナルニ從ヒ各々均一ナラスト雖
他ノ四綱ニ屬スル者ニ比スレハ皆ナ巨大ニシテ知覺銳敏ナリトス
而シテ其體體ハ二箇ノ突起部ニ由リテ第一頸椎骨ニ關節シ上顎骨ハ
密ニ顔面ノ諸骨ニ癒着ス下顎關節頭ハ顚顚關節窩ニ直接シテ自在ノ

運動ヲ營爲シ以テ咀嚼ヲ職トリ兼テ音聲ノ調節ヲ助ク上下ノ顎縁ニ
數窩アリ之ヲ齒槽ト云フ以テ齒ヲ受容ス齒ニ三種アリ曰前齒或ハ門齒
齒ト曰角齒又犬齒或ハ臼齒是ナリ皆ナ齒骨及ヒ珐瑯質ヨリ成ル其
齒槽中ニ嵌入セル部ヲ名ツケテ齒根ト云ヒ稍外ニ挺出セル部ヲ齒冠
ト云ヒ根冠ノ中間ニ在リテ齒齦ニ被覆セラル、部ヲ齒頸ト云フ其齒
稀ニハ變シテ角質ヲ成セル者アリ例之海鱈ノ如シ或ハ之ヲ闕如セル
者アリ例之貧齒類ノ如シ脊椎骨ヲ大別シテ五部ト爲ス曰頸椎骨曰胸
椎骨曰腰骨曰薦骨曰尾椎骨頸椎骨ハ其數七箇アリ樹懶ト海牛胸椎骨
ハ十箇ヨリ二十箇ニ至リ腰椎骨ハ三箇ヨリ七箇薦骨ハ二箇ヨリ五箇
尾椎骨ハ大概二十箇ヨリ四十箇ニ至ルヲ常トスト雖尾其最モ少數ナ
ル者ハ纒カニ四五箇ニ過キヌ四十六箇ノ大數ニ至ル者ハ罕レナリ助
骨ノ數ハ胸椎骨ニ倍ス肋骨中共前端軟骨之ヲ助軟ニ由リテ胸骨ニ聯
接セル者ヲ眞肋骨ト云ヒ否ラサル者ヲ假肋骨ト云フ前肢ハ橈骨ニ歩

前肢ヲ使用スル肩胛骨上膊骨下膊骨尺骨及ヒ撓骨
 類ハ之ヲ有セス肩胛骨上膊骨下膊骨尺骨及ヒ撓骨
 骨ヨリ成リ後肢ハ腕骨大腿骨膝蓋骨下腿骨脛骨及ヒ腓骨
 骨ヨリ成リ及ヒ手骨若クハ足骨ヨリ成ル

第五圖 人體骨格

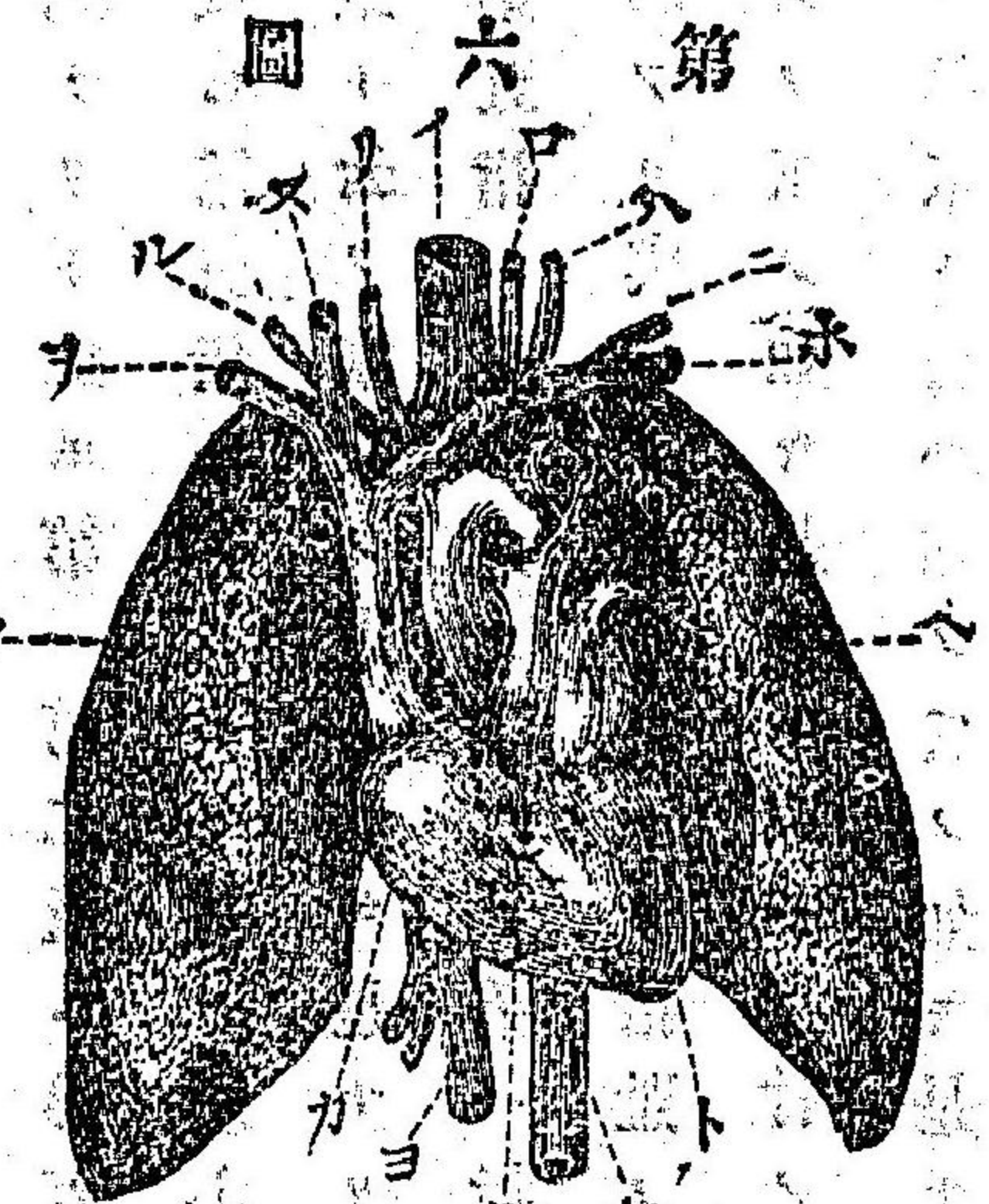


(イ) 顛頂骨 (ロ) 額骨 (ハ) 下顎骨 (ニ) 鎖骨 (ホ) 胸骨 (ヘ) 肋骨 (ト) 胸椎骨
 (チ) 腕骨 (リ) 腕前骨 (ル) 指節骨 (チ) 膝蓋骨 (ワ) 跗骨 (カ) 跗前骨
 (ヨ) 趾節骨 (ク) 頰骨 (レ) 眼窩 (ソ) 上顎骨 (ツ) 頸椎骨 (ナ) 肩胛骨 (ナ) 上膊骨
 (ラ) 腰椎骨 (ム) 尺骨 (ウ) 撓骨 (エ) 大腿骨 (ノ) 脛骨 (オ) 腓骨

ハ足骨ヨリ成ル手トハ拇指ノ屈伸自在ニシテ能ク内方ニ運動スル者ヲ
 云ヒ否ヲキル者ヲ足ト云フ而シテ其足骨ハ跗骨跗前骨及ヒ趾節骨ヨ
 リ成リ手骨ハ腕骨腕前骨及ヒ指節骨ヨリ成レリ 以上第五圖ヲ 指趾共
 ニ其數素ト五箇ナリト雖モ第一第二及ヒ第五指ハ往々之ヲ闕クニア
 リ或ハ其第二及ヒ第五指ヲ存スルモ甚ク短小ニシテ行ニ地ニ達セサ
 ル者アリ之ヲ距ト云フ家豕ノ距ノ如キ是ナリ又其中指ノミ頗ル發育
 シテ第二及ヒ第五指ハ全ク之ヲ闕亡シ第一指ト第三指トハ纒カニ其
 形迹ヲ存スル者アリ馬足ノ如キ是ナリ指趾ノ端ニ爪アリ其扁平ナル
 ナ扁爪ト云フ人ノ爪ノ如キ是ナリ或ハ指骨ノ端ヲ圍繞シ鉤彎シテ尖
 レル者アリ之ヲ鉤爪ト云フ猫ノ爪ノ如キ是ナリ又其形狀恰モ蹄ニ類
 セル者アリ之ヲ蹄ト云フ牛馬ノ爪ノ如キ是ナリ胸腹ノ兩腔ヲ區分ス
 ルニ一厚膜ヲ以テス之ヲ膈膜(第一圖ヨ)ト云フ胸腔ハ心肺ノ二臟第
 六圖ハ此二者天然ニ容レ腹腔ハ消食 第七圖ハ即チ人類ノ消食器系ヲ輸
 ノ位置ヲ示ス

尿及ヒ生殖ノ器限レリコナ藏ス肺ハ其質海綿ニ類シテ二室ニ分レ胸腔
 ノ兩側ニ位シ氣管ニ由リテ大氣ヲ呼吸ス心臓ハ胸腔ノ中央ニ在リ即
 チ全身ノ血府ヨシテ二房二室ヨリ成リ細大ノ脈管皆是ニ幅濶ス二圖
 チ參考血液般

紅溫暖ニシテ
 攝氏ノ三十五
 度ヨリ三十七
 度半ニ勝ノ長
 六
 サハ身体ノ三
 倍乃至二十八
 倍アリ其肉食

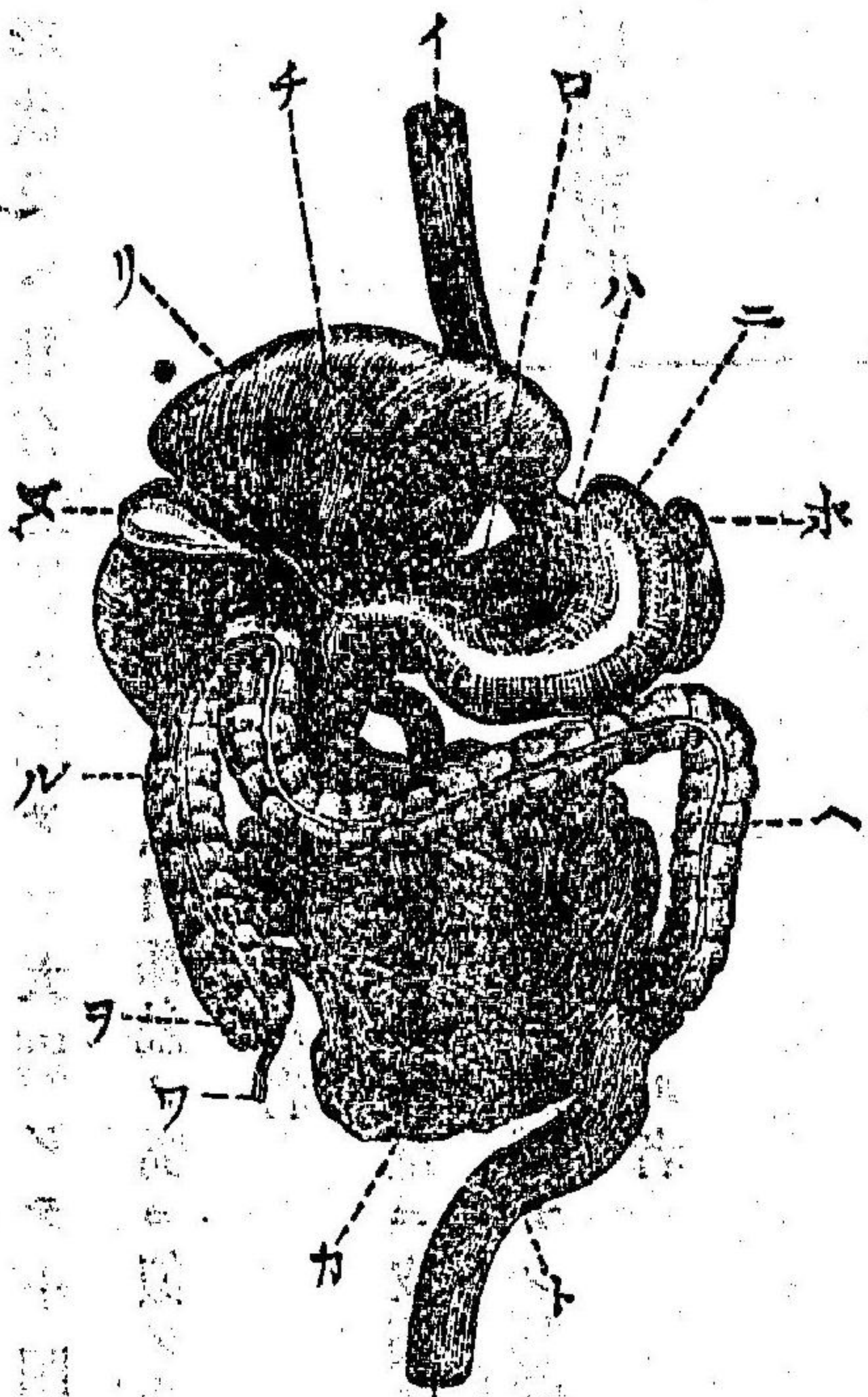


- (イ) 氣管
- (ロ) 喉動脈
- (ハ) 頸靜脈
- (ニ) 臂動脈
- (ホ) 臂靜脈
- (ヘ) 左肺
- (ト) 左室
- (チ) 大動脈
- (リ) 喉動脈
- (ル) 臂動脈
- (ナ) 臂靜脈
- (ワ) 右肺
- (カ) 右房
- (ヨ) 大靜脈
- (タ) 右室
- (ク) 喉動脈

スル者ハ胃腸單一コシテ腸管短ク植物ヲ食スル者ハ腸管長クシテ胃
 腸多クハ重複セリ例ハ犬ト牛トノ如シ乳房ハ胸部若クハ腹部ニ在リ
 其數均一ナラズ胎生ノ兒ヲ養フニ乳液ヲ滲泄ス皮膚ハ大抵角質ノ細

管ヲ生ス之ヲ毛ト云フ或ハ單生シ或ハ複生ス其軟弱ナル者ヲ軟毛又

第七圖



- (イ) 食道
- (ロ) 脾
- (ハ) 胃ノ上口
- (ニ) 胃
- (ホ) 脾
- (ヘ) 大腸
- (ト) 直腸
- (チ) 胃ノ下口
- (リ) 肝
- (ナ) 膽
- (ワ) 盲腸
- (カ) 小腸
- (ク) 肛門

綿毛トモ云フ例ハ羊毛ノ如シ硬直ナルヲ硬毛ト云フ例ハ猫ノ鬃
 ノ如シ豪猪ノ刺ノ如キハ其最モ硬且ツ大ナル者ナリ又角質ノ板ヲ被
 ムル者アリ之ヲ鱗ト云フ例ハ龍鱗ノ如シ

本綱ニ屬スル者ハ大概陸生動物ナリト雖モ罕クハ水中ニ游泳スルアリ又氣中ヲ飛翔スルアリ各々其形體ヲ異ニス從來學者ノ見聞セル者大凡三千有一百種アリ其中凡ソ八百種ハ既ニ亡族シ自餘ノ二千有三百種ハ今尙ホ生存セリ之ヲ分類スルニ胎盤ノ有無齒質ノ異同四肢ノ形狀及ヒ其有無等ヲ以テシ大別シテ十四目トス其標表左ノ如シ

哺乳動物

無胎盤動物

口部鳥ノ嘴ニ似テ齒ヲ有セズ鎖骨ニ對ナル者 一穴類

腹ノク腹部ニ皮袋ヲ有スル者 有袋類

腹ノク皮袋ナク其狀魚ニ似テ後肢ヲ闕如セル者 游水類

胎盤動物

四肢

齒ニ珫瑯質ナク且齒根ナキ者 貧齒類

四肢共ニ二趾ヲ

ヲ具
備セ
ル者

齒ニ
珫瑯
質ヲ
具ヒ
齒根
ヲ有
スル
者

有蹄獸

具ヒ上顎ニ前齒
ヲ有セザル者 雙蹄類

四肢共ニ一趾ヲ
具ヒ兩顎ニ前齒
ヲ有スル者 單蹄類

四肢共ニ三箇以
上ノ趾ヲ具ヒ多
クハ兩顎ニ前齒
ヲ備フル者 多蹄類

犬齒ナキ者 齧齒類
四肢矮短ニシテ魚ノ鰭ニ似タル者 鰭脚類

無蹄類

犬齒者

指間ニ飛膜 アル者	者 フル者	足 起ナ具	骨 鋭キ隆	端 白齒ニ	ノ 者	肢 六七 前齒	四 齒ヲ具	ナ テ食肉	飛 大ニシ	犬齒強
異手類			食蟲類				猛獸類			

甲 胎盤動物

Mammalia Placentalia.

此門ニ屬スル動物ハ皆十胎盤ヲ賦有シ以テ胎兒ヲ養育ス故ニ其服部ニ皮袋ナシ又我骨ナシ陰囊ハ陰莖ノ後ニ在リ腦重複セシ

第一目 二手類

Binana.

後肢ノ端ハ足ニシテ前肢ノ端ニ手ヲ具ヒ至蹠ヲ以テ地ヲ踏ミ行ニ直立ス故ニ又直立類ノ名アリ爪ハ扁平ニシテ胸部ニ二箇ノ乳房ヲ有シ顔面ノ角度ハ七十五度ヨリ九十度ニ至ル下條ヲ參照スヘシ齒列ハ各齒其長サテ齊クシ密ニ排列セリ知識アリテ能ク言語ヲ通ス此目ニ屬スル者一種アリ人是レナリ故ニ又人類ト云フ

四肢皆ナ手ナル者

四手類

二手二足ナル者

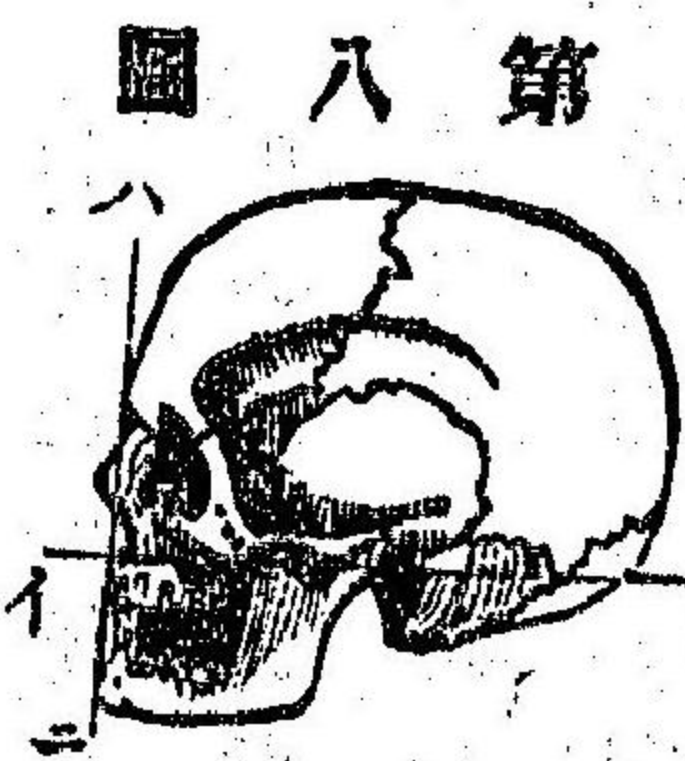
二手類

人 Homo sapiens, L.

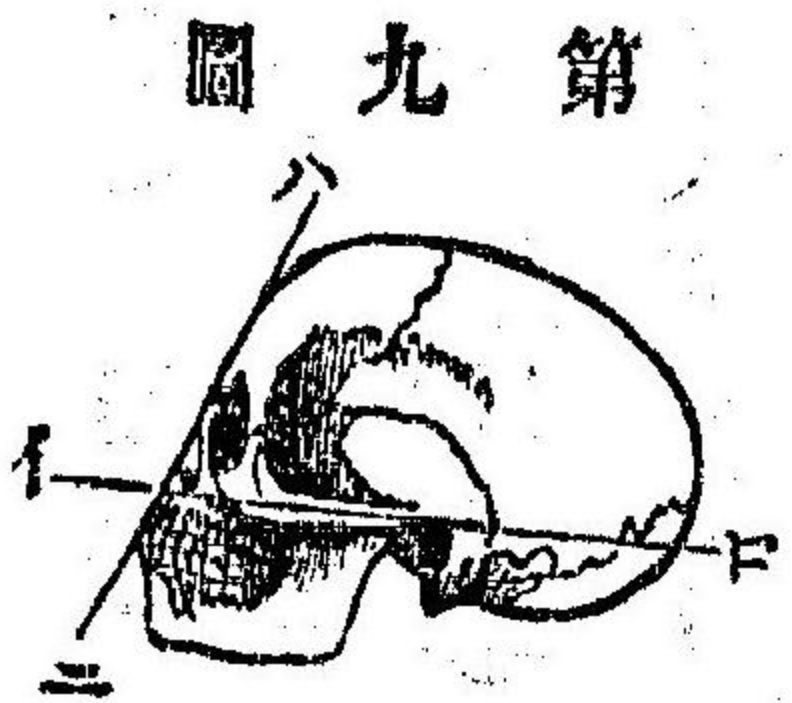
夫レ人ハ素一種ナリト雖モ其產地風土ノ異ナルニ從ヒ自カラ其容貌
 言語等亦異同ナキ能ハス例ヘハ本邦人ト歐羅巴人トノ如シ故ニ其相
 類似セル者ヲ合一シテ一種ト爲シ以テ彼是人種ノ異ナル者ヲ區別ス
 蓋シ人種ヲ分ツニ數法アリ諸家各々考證スル所ヲ異ニス或ハ体中諸
 器官ノ異同ヲ以テスル者アリ或ハ產地ニ據ル者アリ或ハ言語ニ基ク
 者アリ又知識開達ノ度及ヒ風習病症等ノ差異ニ因ル者アリ今左ニ其
 分種法ノ最モ善長ナル者ヲ掲ケテ之ヲ例セシ

(一) Retzius 氏ハ髑髏ノ形狀ニ因リテ之ヲ二種ニ分テリ長頭及ヒ短頭
 人種是ナリ但シ其副長ノ比例七ト九ナル者ヲ長頭人種トシ七ト八ナ
 ル者ヲ短頭人種トス例ヘハ蒙古人ハ短頭人種ニシテ黒奴ハ長頭人種
 ナルガ如シ或云長頭人種ハ其幅長ノ比例七二弱ト一〇〇ニシテ短頭
 人種ハ八〇強ト一〇〇ニ居レリト

(二) Camper 氏ハ之ヲ分種スルニ第八及ヒ第九圖ノ如ク先ツ其上顎ノ



圖八第



圖九第

齒縁ト耳門トノ間ニ一直線イロシテ劃シ又同齒
 縁ヨリ前額ニ向ケテ一直線ハニニテ施シ此兩線
 ノ間ニ成レル角度ヲ量リテ其直否ヲ檢シ甲圖
 ノ如ク其九十度ニ近キ者ヲ直齒ト爲シ乙圖ノ
 如ク七十度強ナル者ヲ斜齒ト爲セリ例ヘハ歐
 羅巴人ハ其角度八十五度アリ乃チ之ヲ直齒人
 種トシ黒奴ハ七十度強アリ乃チ之ヲ斜齒人種
 ト爲スカ如シ

但シ如今ハ此二法ヲ合用シ分種スルヲ常トス即チ日耳曼人ハ長頭
 直齒ニシテスレトフ人ハ短頭直齒蒙古人ハ短頭斜齒ニシテ黒奴ハ
 長頭斜齒ナルカ如シ

(三) 毛髮ノ形狀亦一ナラヌ或ハ帶狀扁平ニシテ螺旋狀ニ卷縮シ其横

断面多クハ楕圓罕ニハ腎臟形若クハ三隅形ヲ成シテ髓質ヲ有セザル者アリ或ハ直ニシテ卷縮セズ其横断面眞圓ニシテ往々髓質ヲ充容セル者アリ故ニ Hackel 氏ハ其毛質ヲ以テ人類分種ノ標徴ト爲シ甲ノ如キ毛髮ヲ有セル者ヲ卷縮毛髮人種トシ乙ノ如キヲ單純毛髮人種ト爲セリ卷縮毛髮中或ハ点々發生セル者アリ疇丁得人ノ如キ是ナリ或ハ莖々分生セル者アリ亞弗利加人ノ如キ是ナリ故ニ又之ヲ二分シテ發生毛髮及ビ散生毛髮人種ト爲ス單純毛髮中或ハ硬強ニシテ眞直ナル者アリ本邦ノ人ノ如キ是ナリ或ハ軟柔ニシテ多少卷縮セル者アリ歐洲人ノ如キ是ナリ故ニ又之ヲ二分シテ直生毛髮及ビ軟柔毛髮人種ト爲セリ但レ頭髮ノ軟柔ナル者ハ其鬚髯常ニ多シトス

(四) Blumenbach 氏ハ皮膚ノ呈色髓體ノ形狀及ビ其毛質ニ因リ之ヲ大別シテ五種ト爲セリ即チ高加索人種蒙古人種亞弗利加人種亞米利加人種及ビ馬來人種是ナリ

高加索人種 皮膚白色ニシテ微紅ヲ帶フルアリ或ハ淡黒ナルアリ毛髮軟柔ニシテ少ク卷縮シ其色多クハ褐色ニシテ鬚髯多シ顔面楕圓形ニシテ隆鼻額部穹隆セリ全歐羅巴亞細亞ノ西部及ビ亞弗利加北部ノ人種皆ナ之レニ屬ス

蒙古人種 皮膚ニ橙黃黃褐ノ別アリ毛髮硬直ニシテ其色黒ク卷縮セル者ハ稀ナリ鬚髯或ハ少ク或ハ多シ鼻形低小眼目多クハ細小ナリ顔面平カニシテ頰骨凸起ス中央亞細亞ノ人民之ニ屬ス

亞弗利加人種 其皮膚多少暗黒毛髮亦暗黒ニシテ頗ル卷縮シ鼻形低闊ニシテ額部突出シ巨口厚唇額額甚ダ低シ亞弗利加大洋洲及ビ印度諸島ノ黒奴皆ナ之レニ屬ス

亞米利加人種 皮膚銅色ニシテ鬚髯薄ク毛髮黑色ニシテ直生シ眼目深窄ニシテ額額天ニ朝シ鼻高クシテ頰骨凸起ス亞米利加ノ土人之ニ屬ス

馬來人種 皮膚褐色ニシテ黒毛少シ捲曲シ鼻低廣口巨大ニシテ
反唇顎頰纒ニ突出ス南海諸島及ヒ馬來國ノ人民之ニ屬ス

第二目 四手類

Quadrumania.

四肢ノ端ハ皆ナ手ニシテ後肢ノ手根ニ踵ヲ具ヒ纒ニ立行ス多クハ扁
爪ヲ有シ列齒頗ル人類ニ似タリト雖モ犬齒強大ニシテ上顎ノ門齒ト
犬齒トノ間ニ差隙ヲ存シ口ヲ閉ルルハ以下顎ノ犬齒ヲ受容ス腦大
ニシテ眼目前向シ額面ノ角度ハ三十度ヨリ六十五度ニ至ル事理ヲ解ス
ルノ能アリト雖モ言語ヲ通スルヲ能ハズ菓實野菜及ヒ羽族ノ卵
ヲ以テ食料ト爲シ好シクテ蟲類ヲ食ス故ニ圓面ノ暴害ヲ爲ス少カラズ
トス胃中ニ石アリ未開國ノ人以テ藥用ニ供スト云フ此類ハ亞細亞亞
弗利加及ヒ亞米利加ニ産シ歐羅巴並ニ大洋洲ニハ之ヲ産セズ彼ノ「ギ
アラタル」ニ異種ノ猴ト云フ無尾猴ノ義ナリアリト雖モ決シテ歐洲
固有ノ産ニ非ス蓋シ亞弗利加ヨリ移轉セシ者ナラン

甲 眞猴類

Simiae.

此類ハ其頭部皆ナ圓形ニシテ口部多クハ突出セズ面部ニ毛ナシ四肢
ノ門齒アリ密ニ排比ス臼齒ハ鈍頭ニシテ眼窩閉鎖シ鼻障ニ廣狹ノ差
アリ爪ニ扁曲ノ別アリ以テ分族ノ徴トス

第一 狹鼻猴族

Catarrhinae.

鼻障狹隘ニシテ鼻孔下向シ臼齒五ニシテ各指扁爪ヲ有シ尾ヲ具フ
ル者アレモ物ヲ纏持スル能ハス多クハ臂疣アリ亞細亞及ヒ亞弗利加
ニ産シ好シクテ山林ニ棲息ス故ニ又此族ヲ稱シテ古世界ノ猴ト云フ

(一) 猩々屬

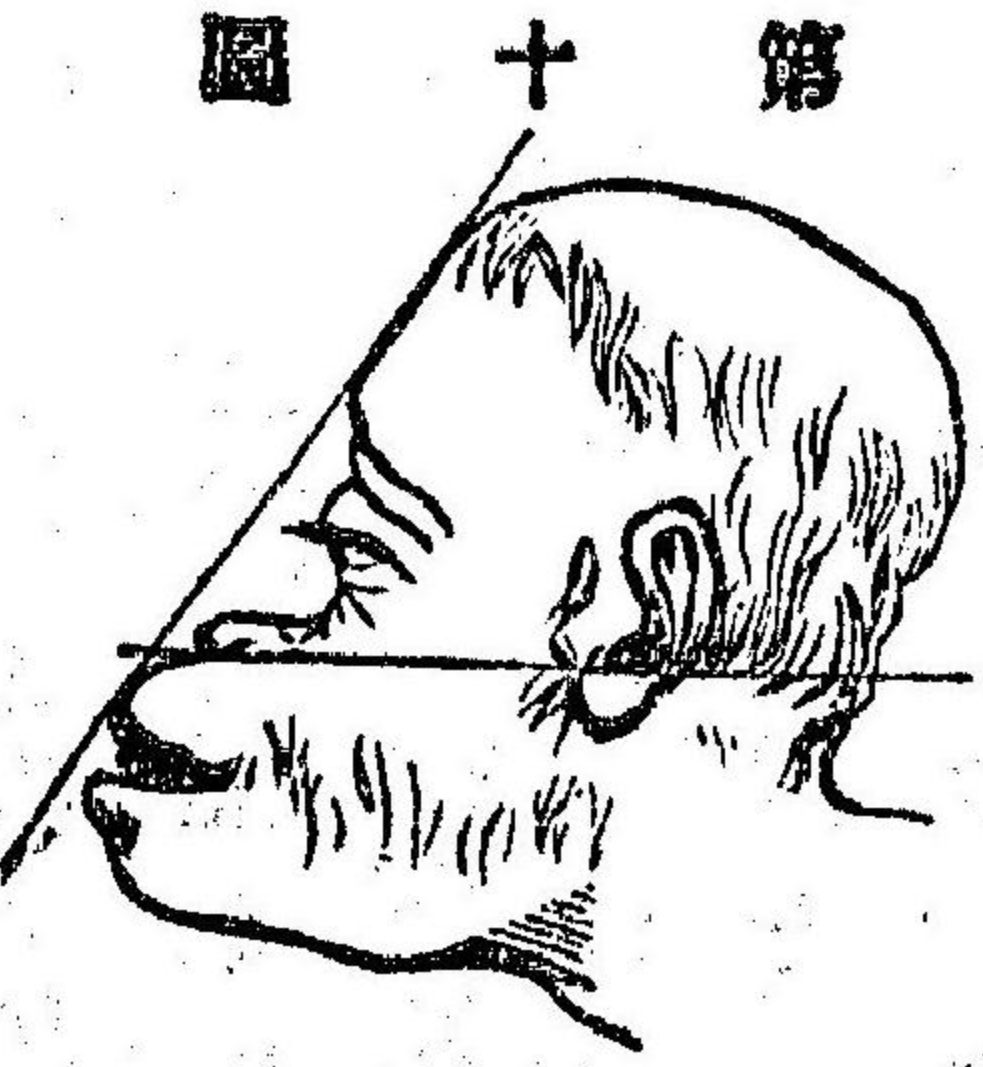
Simia, L.

無尾長臂ニシテ頰瘰及ヒ臂疣ヲ有セズ顔面ノ角度ハ三十度ヨリ六十
五ニ至ル亞細亞ニ一種亞弗利加ニ二種アリ

猩々

S. satyrus, L. (第十圖)

顔面濶大ニシテ稍ヤ皮膚ヲ裸出シ而モ鉛色ヲ帶フ幼者ハ其角度六十



五度アリト雖も成長ノ後ハ漸ク減シテ三十度ニ至リ其丈四尺ニ達ス全身鐵鍔ノ如ク褐色ニシテ臂毛逆生シ手ヲ垂レハ踝ニ達ス下肢矮短ナルヲ以テ立行甚ク工ミナラズ牡ハ顎部ニ鬚鬚ヲ生シ犬齒強大ナリ平素林中ニ棲居ス蘇門答臘及ヒ婆羅ノ産ナリ馬來人バ之ヲ呼ブ「チーラン、ウータン」ト云フ蓋シ森人ノ義ナリ

(二) 猿猴屬 *Hylodactylus*, Jil.

臂疣小ニシテ尾共ニ缺如シ臂長大ニシテ殆ソト地ニ達ス顔面ノ角度ハ六十度アリ之ニ属スル者渾テ七種皆ナ印度ニ産シ木處ニテ善ク鳴ク殊ニ「スマンダ」島ノ無花果樹林ニ多ク

○ 白猿猴 *H. agilis*, L.

明治八年我國ニ舶齋セル者即チ是レナリ全身灰褐色ニシテ顔面黒シ

(三) 果然屬 *Colobus*, Jil.

頬嚙ナシ口部纒ニ突出シテ顔面ノ角度ハ六十度ニ至ル下顎ノ末臼齒ニ五箇ノ突起アリ尾細弱ニシテ身幹ヨリ長ク末ニ長毛ヲ生ス前肢ニ拇指ナク胃ハ數齧ヨリ合成セリ此属十種アリ亞弗利加ニ産ス

果然 *O. Polycemos*, Schrb.

其身黒シシテ尾白ク頭部及ヒ顔面ノ周圍ニ黄色ノ長毛アリ鬚々トシテ亂垂シ阿肩ヲ蓋フ「グイチヤ」ニ産ス黒奴稱シテ猴王トナセリ

狻 *O. Guereza*, Rippel.

其体黒色ニシテ顔面ノ周圍及ヒ尾端白ク背部亦白色ノ長毛ヲ生ス其質軟鬆ニシテ兩脇ニ下垂シ恰モ絹縷ノ如ク曼々タリ全身光澤アリテ頗ル美麗ナリ「アビシニヤ」ニ産ス

(四) 獼猴屬 *Inuus*, Cuv.

頬嚙アリ口部突出シ顔面ノ角度ハ四十五度ニ至ル犬齒強大ニシテ下

顎ノ末臼齒ニ五尖ヲ具ヒ眼窩ノ上縁頗ル隆起セリ尾ノ有無長短ニ由
リテ種ヲ分ツ澤テ十一種アリ

獼猴 *I. speciosus*, Temm.

本邦ニ産スル者皆是ナリ面部赤クシテ尾ナキガ如シ

處 *I. silenus*, L.

黒色ニシテ灰色ノ長髭アリ「セーロン」ニ産ス

〔五〕 拂々属 *Cynocephalus*, Briss.

口吻突出シテ犬頭ニ似タリ頬嚙アリ犬齒強大ニシテ下顎ノ末臼齒ニ
五尖ヲ有シ頬嚙最モ潤大ナリ四肢強壯ニシテ身ノ丈狸々ニ亞ク九種
アリ皆亞弗利加ニ産ス其兇暴ナル實ニ猴中ノ冠タリ

拂々 *O. normon*, L.

其体橄欖色ニシテ黒褐色ノ毛ヲ雜ヘ顔面藍色ニシテ皺アリ鼻頭紅ニ
シテ黄色ノ鬚鬚ヲ生ズ容貌頗ル醜惡ナリ

第二 潤鼻猴族

Platyrrhinae.

鼻障扁闊ナルガ爲ニ鼻孔側向シ胎齒ハ六アリ後肢ノ拇指ハ前肢ノ拇指
ニ比スレバ稍ヤ大ナリト雖モ罕クハ無キ者アリ尾長大ニシテ頬嚙及
ビ嚙疣ナシ皆亞米利加ニ産ス故ニ又新世界ノ猴ト云フ

〔一〕 吼猴屬 *Myceetes*, Jil.

尾端ノ下側裸出シ自在ニ卷曲シテ能ク他物ヲ纏持ス前肢ニ拇指アリ
滿頬髭鬚ヲ生シ頭部ハ殆ロ三角錐ノ如クニシテ顔面ノ角度ハ三十
度アリ舌骨ニ一箇ノ骨胞ヲ存ス啼聲頗ル大ナリ牝牡老幼皆ナ其毛色
ヲ異ニスルヲ以テ未ダ其種類ヲ一定スル能ハス或ハ云フ三種ヨリ九
種ニ至ルト

赤吼猴 *M. seniculus*, L.

全身鐵鏽色ニシテ尾及ヒ四肢ノ毛栗褐色ヲ呈ス其肉美ニシテ食フベ
シ毛皮ハ裘袴ニ可ナリ「ガイチヤ」及ヒ「ブラヨリヤ」ニ産ス

二二 卷尾猴屬

Cedus, Geoffr.

尾根ヨリ尾端ニ至ルマデ悉ク長毛ヲ生ツカアリテ能ク物ヲ纏持ス頭部ハ圓形ニシテ口吻纒ニ突起セリ各種一定ノ毛色ナキカ故ニ未タ其種數ヲ詳カニスル能ハザル一尙ホ吼猴屬ト一般ナリ皆ナ南亞米利加ニ産ス其性活潑ニシテ怒リ易シ肉ハ以テ食料ニ供スベク毛皮ハ以テ裘褥ト爲スベシ

戴帽猴

C. capucinus, L.

其体褐色ニシテ顔面ノ周圍ト肩部トハ白ク頂上黒褐色ニシテ額ニ黒褐ノ線アリ其容態恰モ人ノ玄帽ヲ冠戴セル者ニ彷彿タリ故ニ戴帽ノ名アリ「グイチャ」ニ産ス。

三三 跳猴屬

Calithrix, Erxl

尾細長ニシテカナンク犬齒ニ大小ノ別アリ南亞米利加ノ暖地ニ棲息シ大ヒニ寒ト雨トヲ怖ル其性温和ニシテ人ニ馴易ク好ンテ小蟲ヲ食ス

其肉食フニ佳ナリ

跳猴

C. scintea, L.

其体黄灰色ニシテ口吻黒ク犬齒長大ニシテ四手黄赤色ナリ「グイチャ」ニ産ス

第三 鈎爪族

Arctopithecii

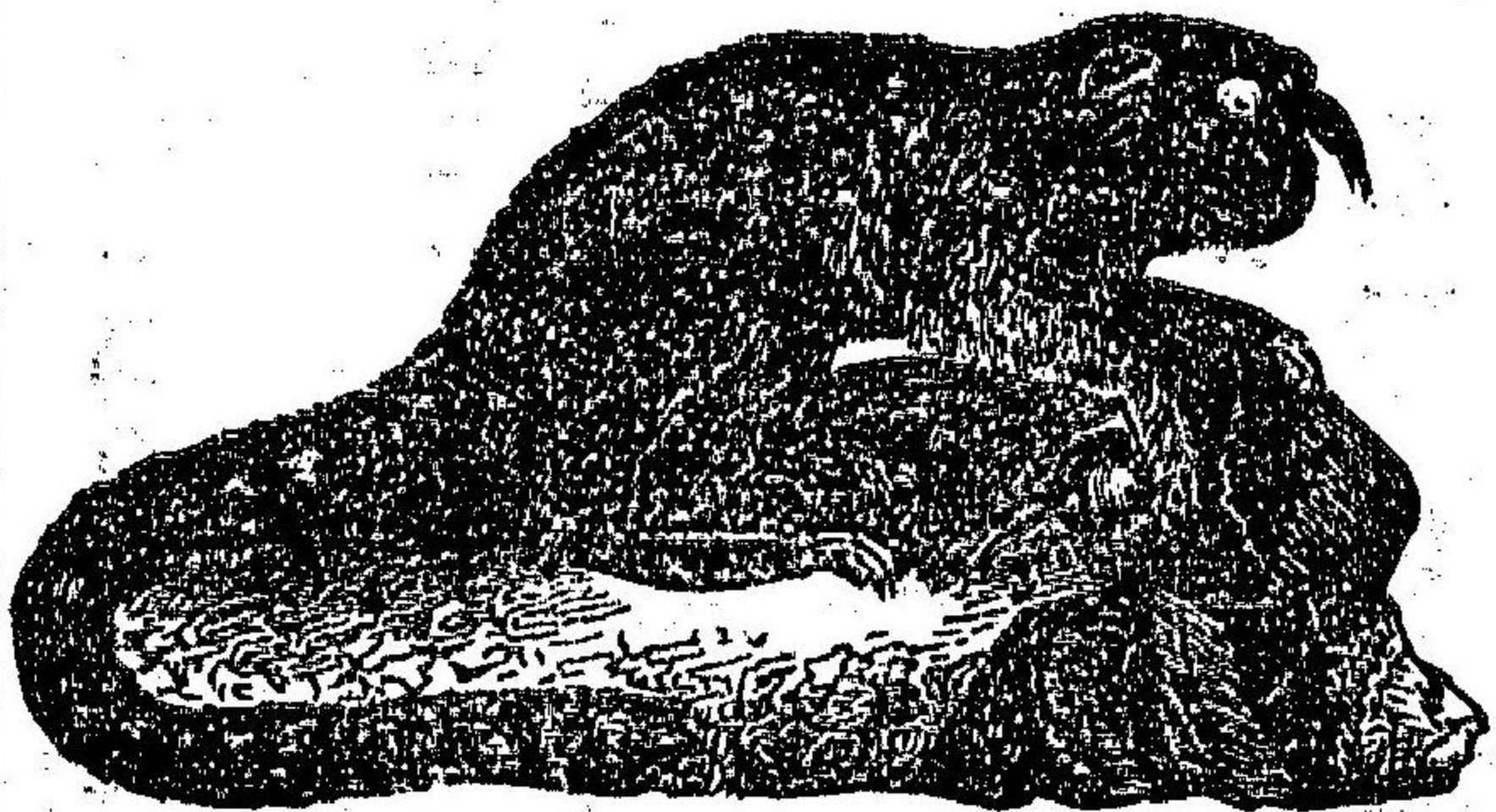
此族皆矮小ニシテ其大サ本邦ノ栗鼠ニ過キス前肢ニ拇指ナク後肢ノ拇指ヲ除ク他ハ各指皆鈎爪ヲ有ス故ニ此名アリ臼齒^五ニシテ尾ニカナク其身輕捷ニシテ善ク樹上ニ戯レ好ンテ果實昆蟲ノ類ヲ食シ南亞米利加ノ深林中ニ群居ス其肉食用ニ宜シ

一 絹毛猴屬

Hapale, Jll

門齒ト犬齒トハ其長サ相齊ク耳邊ノ長毛蒙

第十圖



背より尾ニ黒白ノ輪斑アリ各互ニ錯交ス此属總テ四種アリ

絹毛猴 義

H. jacchus, L. (第十一圖)

頭部褐色ニシテ顎部ノ斑文及ヒ耳毛ハ白色ナリ「ラシリヤ」ニ産ス

乙 擬猴類

Prosimii.

口吻長シ突出シテ狐頭ニ類シ面部ニ毛茸ヲ生ス前齒 $\frac{2}{6}$ $\frac{2}{6}$ 或ハ $\frac{2}{4}$ $\frac{2}{2}$

ニシテ上顎ノ中央ニ並列アリ爪ハ扁平ニシテ後肢ノ示指ノミ鈎爪ヲ

具ヒ多クハ夜獸ニシテ亞細亞及ヒ亞弗利加ノ熱帶地方ニ産シ常ニ樹

上ニ棲息ス此類都テ五族アリ今其二ヲ揭ク

第一 狐猴族

Lemurini.

口吻殊ニ長クシテ前齒 $\frac{2}{10}$ アリ耳殼短小ニシテ尾ハ其軀幹ヨリ長シ馬

達加斯留島ニ産ス

(二) 狐猴屬

Lemur, L.

齒列 $\frac{2}{10}$ $\frac{2}{2}$ ニシテ下顎ノ前齒前方ニ傾キ群居シテ果實昆蟲ノ類ヲ食ス

毛色灰白ニシテ尾ニ黒白ノ環斑アリ「メナゲリエ」ニ産シ睡ルトハ則

狐猴 義

L. catta, L.

ヲ尾ヲ以テ其頸ヲ纏繞ス

第二 肉翅族 義

Del-

inoptera.

四肢及ヒ頭尾ノ間ニ毛皮ヲ綴張シ

各指皆鈎爪ヲ有ス其狀頗ル蝙蝠ニ

似タリ

(一) 猫猴属

Galteopi-

theus, Pall.

口吻長クシテ前齒 $\frac{3}{6}$ アリ其下顎ニ

生スル者ハ皆縱裂シテ殆ント櫛ノ齒ニ類シ下顎ノ犬齒ハ短小ニシテ

二根ヲ有セリ性夜獸ニシテ果實昆蟲ノ類ヲ食ス南海ノ諸嶋ニ産シ樹

第 十 二 圖



猫猴 又 蝙蝠猴 譯

G. rufus, Geoff.

赤褐色ニシテ其大サ一尺五寸アリ「マヤ」島ニ産ス〔第十二圖〕

第三目 翼手類 又 蝙蝠類

Chiroptera s. Voltantia.

此類ノ獸ハ其軀幹皆ナ矮小ニシテ其形鼯鼠ニ似タリト雖也第十三圖ノ如ク前肢頗ル長大ニシテ指骨ノ長サ往々軀幹ニ過グル者アリ而シテ多クハ唯其姆指ニミ鉤爪ヲ有セリ飛膜アリ四肢及ビ頸尾ノ間ヲ聯綴ス其翼ツヤ前肢ヲ以テシ頗頗輕捷氣中ヲ飛翔スルヲ恰モ小鳥ノ如シ故ニ其骨格ノ遺構亦鳥類ニ似テ肋軟骨骨質ニ化シ胸骨濶大ニシテ中央ニ櫛狀部ヲ有シ鎖骨重複セリ後肢ハ短小ニシテ五指皆ナ鉤爪ヲ具ヒ足根ニ一條ノ長骨ヲ有スル者アリ之ヲ距骨ト云フ以テ飛膜ヲ支張シ飛行ヲ便ニス三種ノ齒悉ク具ハリ耳殼ハ濶大膜質ニシテ耳門ニ膜質ヲ具フル者多シ鼻ニ膜質ノ附部アリ此附部ト飛膜トハ頗ル脂腺

ニ富ミ常ニ脂ヲ分泌シテ以テ雨露ヲ遮避ス而シテ其耳殼及ビ飛膜ト

鼻ノ附部トハ共ニ觸神經ニ

富メリ或曰ク仮令其目ヲ盲

ニシテ之ヲ放ツモ決シテ衝

突スルコトナシト以テ其觸神

經ノ鋭敏ナルヲ徵スベシ

此類ハ亞米利加最北部ノ地

ヲ除クノ他闔世界中所トシ

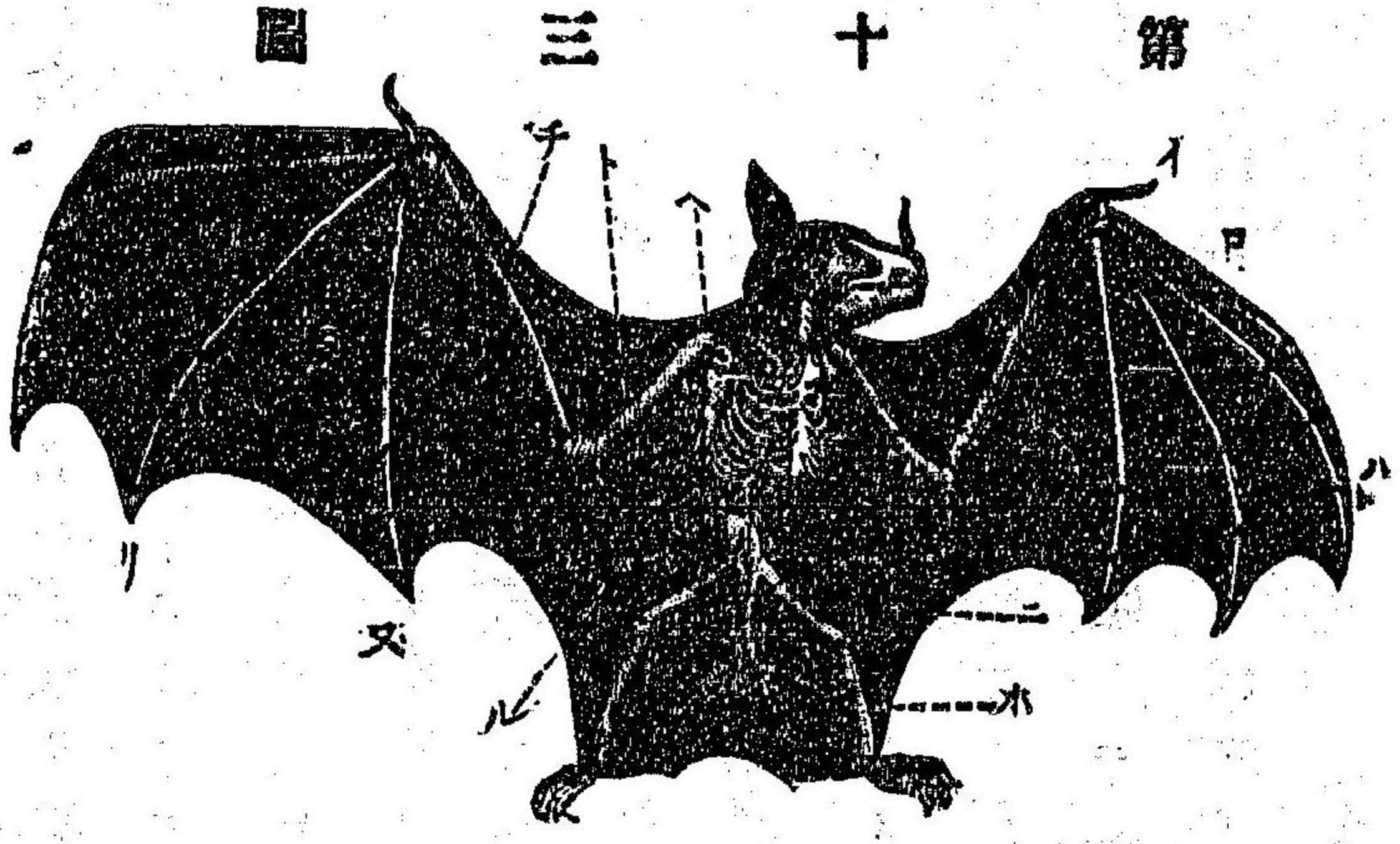
テ産セザルノ地ナシ性夜獸

ニシテ支體臭氣ヲ帯ビ晝間

ハ好ンテ暗所ニ隱伏シ黄昏

ヨリ奮飛シテ食ヲ求ム其菓

實ヲ竊喰スル者ハ大ヒニ圖



〔イ〕第一指

〔ロ〕第二指

〔ハ〕第三指

〔ニ〕大腿骨

〔ホ〕下腿骨

〔ヘ〕鎖骨

〔ト〕上膊骨

〔チ〕下膊骨

〔リ〕第四指

〔ヌ〕第五指

〔ル〕肩胛骨

圖ニ害アリト雖也昆蟲ヲ以テ食料トスル者ハ害蟲ヲ驅除スルノ功アリ本邦ニ産スル者概テ是ナリ其尿ヲ天鼠尿トス漢藥ニ夜明沙ト稱フル者即チ是ナリ其質頗ル窒素ニ富メルヲ以テ之ヲ肥料ニ用ユレバ其効グアノニ讓ラズ既ニ「ヤマイカ」島ニ於テハ之ヲ英吉利「グアノ」ト稱シ以テ「グアノ」ニ代用シ専ラ恭菜ノ肥料ト爲スト聞ク昔年石川縣下越前國和田郡宇御所山中ニ巖洞アリ中ニ數千ノ蝙蝠群棲シテ其遺矢堆積山ヲ成シ臭氣四散シテ人鼻ヲ撲ツ俚人之ヲ採リテ肥料ニ用ヒシニ其功驗ノ著明ナルヲ人皆ナ歎稱セリト今猶ホ之ヲ山地ニ探搜セバ必ラズ此般ノ者アラシ農家宜シク注意スベキノ一事ナリ又亞弗利加及ヒ印度地方ニ於テハ其大ナル者ヲ捕撿シテ之ヲ喰フニ其味最モ佳ナリト云フ其性甚ダ寒感ヲ怖レ嚴冬伏蟄シ倒懸シテ動カズ飛膜ヲ以テ其體ヲ蔽ス

第一 食菓族

譯義

Frugivora.

頭形犬ニ似テ口部突出シ臼齒ハ鈍形ニシテ拇指ト示指トハ概テ鈎瓜ヲ具ヒ熱帶地方ニ産ス三屬アリ

(一) 犬頭蝙蝠屬

譯義

Pteropus, Briss.

門齒四ニシテ口吻突出シ拇示ノ兩指ニ鈎瓜ヲ具フ其尾甚ダ短小或ハ之ヲ闕ク者アリ南亞細亞大洋洲及ヒ亞弗利加ニ産シ好メテ菓實ヲ食シ又小鳥ヲ害ス故ニ瓜哇國ニ於テハ羅栗ヲ連張シ以テ其害ヲ防クト云フ此屬都テ十種アリ

大蝙蝠

P. pselaphon, Temm.

其大々尺許全身黑褐色ニシテ尾ナシ琉球ノ屬島八重山ニ多シ故ニ又八重カハホリノ浴稱アリ小笠原島亦之ヲ産ス

第二 食蟲族

譯義

Insectivora.

其臼齒銳利ニシテW狀ニ隆起シ前肢ハ拇指ニ鈎爪ヲ有ス鼻ニ瓣狀ノ附部ヲ存スル者アリ或ハ之ヲ闕ク者アリ故ニ又該族ヲ内別シテ

其附部ヲ有スル者ヲ葉鼻族ト爲シ否ヤル者ヲ裸鼻族ト成セリ其甲ニ
屬スル者十一乙ハ六屬アリ多クハ昆蟲ヲ食ス

甲 葉鼻族

譯義 Istiophora.

(一) 蹄鐵鼻屬

Rhinolophus

門齒三四或ハ二四ニシテ鼻上ノ附部蹄鐵狀ヲナシ耳殼ハ大ニシテ別ニ蓋
瓣ヲ有セスト雖也其一部延長シテ瓣狀ヲナシ隨意ニ耳門ヲ開閉ス此
屬都テ十種アリ東半球ノ諸國ニ産シ皆ナ長尾ヲ有ス

山蝙蝠

Rh. nippon, Temm.

乙 裸鼻族

譯義

Gymnorhina.

(一) 蝙蝠屬

Vesperugo, L.

鼻ニ附部ヲ有セズ門齒二三ニシテ白齒ニナリ兩耳ノ起部連接セズ蓋瓣
ノ尖端或ハ直立シ或ハ外方ニ傾曲ス此屬諸大洲中産セサルノ地ナシ

赤蝙蝠

V. akakomori, Temm.

第四目 食蟲類

Insectivora.

此類亦小獸ニシテ鎖骨アリ鼻喙ハ各々其長短ヲ異ニスト雖也概テ尖
リテ一管狀ヲナシ其屈伸ノ自在ナルヲ恰モ象鼻ノ如シ胸部ニ乳房ア
リ至跛地ヲ踏ミ各趾鈎爪ヲ有ス其行ヤ疾歩スル能ハザル者多シ門齒
ハ上下其數ヲ異ニシ中央ヲ二齒殊ニ大ナリトス臼齒ハ銳利ナル隆起
部ヲ具ヒ犬齒或ハ門齒ヨリ長キ者アリ或ハ短クシテ纒カニ其形迹ノ
ミヲ存スル者アリ多クハ地中ニ棲息シ夜間出テ鼠及ビ昆蟲ノ類ヲ喰
フ嚴冬盤伏シ其狀蓋爾トシテ熟睡セルモノ、如シ

第一 猬族

Erinacei.

此族皆夜獸ニシテ尖刺若クハ硬毛ヲ生シ脚尾俱ニ細短或ハ無尾ノ者
アリ背部ノ筋頗ル硬韌ニシテ自在ニ其體ヲ屈伸シ猛獸ヲ見レハ忽チ
縮縮シテ一團刺球ヲ成ス其狀恰モ栗糞ノ如シ以テ弱肉ノ難チ免カル
人ニ逢フモ亦是ノ如シ故ニ之ヲ捕獲セント欲スル者ハ豫メ一布囊ヲ

携へ其蜷縮スルヲ待テ急ニ之ヲ其中ニ轉投スト所聞蟻蝶特牢不知其
烹ト一般ナリ淺略笑フヘシ

一 猬族 *Erinaceus, L.*

其狀第十四圖ノ如ク背部ニ刺アリ尾短小白齒七コシテ門齒六中央ノ
二齒殊ニ大ナリ其性好シテ鼠蛙蛇蚯蚓及ヒ昆虫ノ類ヲ喰スルヲ以テ
農家ニハ有益無害ノ獸トス七八月ノ交四頭乃至八頭ノ子ヲ乳ス狐鳥

鷓ハ其子ヲ餌食シ癡兒ハ之ヲ捕弄スルヲ以テ
該獸ノ仇讐アリ此屬總テ十三種アリ嘗テ古世
界ニ産ス

△ 猬 *E. auritus, Gm.* [第十四圖]

其身矮小背部褐色ニシテ刺尖チ白フシ耳殼稍
ヤ長大コシテ腹部ニ軟毛ヲ生ズ西北亞細亞及
亞弗利加ノ北部ニ産スル者是ナリ宗爽曰乾猬

第十四圖



皮並刺作刺治絨帛絕佳甚ト其脂チ一名狂虎脂ト云フ本草綱目ニ曰ク
其刺毛ヲ燒末シテ他藥ニ和シ以テ痔ヲ治スルノ藥ト爲スト其歐洲ニ
産スル者ハ之ヲ *E. europaeus, L.* ト云フ腹部ニ硬毛ヲ生シ耳殼稍ヤ短小
コシテ尾ハ本種ヨリ大ナリト雖ヒ其長サ頭部ノ半徑ニ過キス羅馬人
始テ其刺皮ヲ羅紗ノ製造ニ用ヒ以テ摩擦器ト爲セリト今猶之ヲ用ニ
ル者アリ 接スルル摩擦器ハ羅紗ノ竣工ニ際シ之ヲシテ平滑ナラシム
用ユ

第二 齧齧族 *Soricina.*

此屬亦皆夜獸ニシテ其形態恰モ鼠ノ如シ剪絨様ノ毛皮ヲ被リ鼻喙長
尖コシテ頬骨ナク脚細小コシテ尾稍長シ常ニ地下ヲ潛行シ昆蟲及ヒ
蠕虫ノ類ヲ餌食スルヲ以テ農家ニ益アリトス

〔二〕 齧齧屬 *Sorex, L.*

前齒ニニコシテ上顎ノ前齒ハ二尖ヲ有シ下顎ノ前齒ハ鏢齒ヲ具ヒテ

前向セリ耳殼小ニシテ耳門ニ膜瓣アリ以テ水底ヲ潛行スルノ便具ト爲ス長尾多毛常ニ穴居シ昆蟲蠕虫及ヒ死鼠ヲ食シ植物ヲ害セサルヲ以テ農家ニ有益ノ獸トス脇部ニ腺アリ常ニ惡臭液ヲ分泌ス故ニ猫犬ノ害ヲ受クルコトナシ性健啖ニシテ一日食スル所其體ノ斤兩ニ下ラズ大洋洲ヲ除クノ外全地球上産セサルノ地ナシ

鼯鼠

S. dzinezumi, Sieb.

足ニ游泳毛ナシ尾毛毳生ス此類田野ニ多シ

水鼠

S. [Crossopus] foliens, Pall.

足ニ游泳毛アリ尾ノ下側ニ長毛ヲ生ス谿淵溝瀆石岸ノ間ニ穴居シ水中ヲ潛行シテ小魚ヲ捕餌ス故ニ養魚家ニ害アリ

香鼠

S. indiens, Geoff.

下顎ノ門齒四枚アリ毛色黒褐若クハ赤褐ニシテ腹下白ク尾下ニ七八箇ノ香腺アリ二行ニ列ス其液氣ノ濃郁スル麝香ニ似タルヲ以テ此名

ヲ得テ水邊ニ生棲シ昆虫及ヒ水蛭ヲ食ス鹿兒嶋及ヒ長崎亦之ヲ産ス

三山鼯鼠屬

Urotrichus, Temm.

山鼯鼠

U. Talpoides Temm.

形態鼯鼠ニ似テ毛皮黒剪絨ノ如ク尾毛毳然アリ

第三鼯鼠族

Talpina.

體毛軟鬆ニシテ剪絨ノ如ク短頸小眼耳ニ殼ナク鼻喙尖長ニシテ中ニ管狀ノ一骨ヲ包藏ス後肢ハ短小前肢ハ強大ニシテ多力其狀飯ヒニ似テ外向シ鉤爪亦強大以テ穿孔ノ要具ト爲ス此族四屬アリ

△(一)鼯鼠屬

Talpa, L.

上顎ノ門齒六箇アリ犬齒強大ニシテ二白齒ハ此屬四種アリ穴居スレニ冬眠如キヲ云フ以下倣之ヲ爲サス其捕餌スル所ハ蚯蚓蝸牛六脚虫蛙鼠等ニシテ植物ヲ食害セス然レニ地下ヲ潛行シ園中ノ草根ヲ乱

傷スルヲ以テ農家ヨハ其利害相半セリ而シテ其害タル早年最モ甚シ構
 巢奇巧其狀ヲ窪凸スルヲ以テ人之ヲ認視シ易シ性日光ヲ忌ム和名鈔
 ニ曰ク三光ヲ見レハ即チ死スト體毛黑色ナルアリ白色ナルアリ又黃
 灰色ナルアリ支那人ハ其毛皮ヲ愛玩シテ之ヲ魯西亞ニ買輸シ以テ裘
 裏ト爲ス歐人ハ之ヲ以テ烟草囊ヲ製シ或ハ温手器ヲ作ル又刀劍ヲ淨
 拭スルニ妙ナリ其孽スルヤ一歳ニ回毎回四五頭ニ及ヘリ其腸ヲ去リ
 テ黑燒セシ者ヲ土龍霜又土猪灰ト謂フ和方多シ特ニ拂林狗ノ疾ニ用
 ヒテ奇効アリト云フ

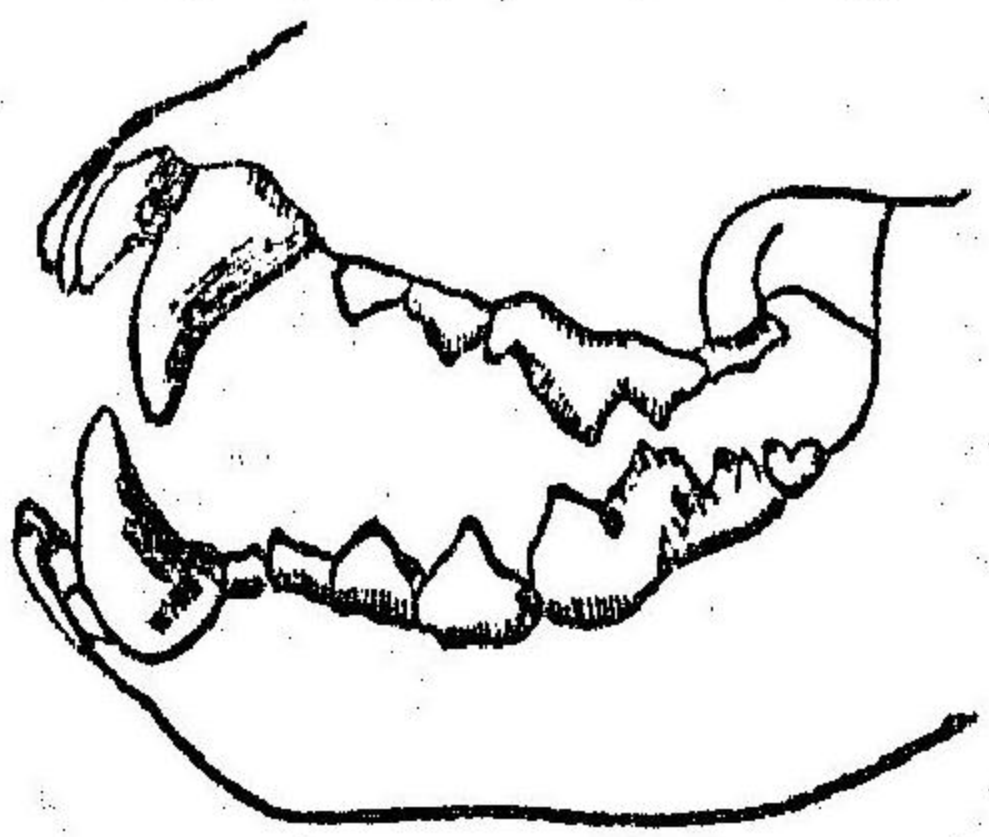
鼯鼠

F. europaea, L.

毛色紫黒ニシテ鼻喙四肢俱ニ淡紅ナリ亞細亞中部及ヒ歐羅巴北部ニ
 産ス本邦産ハ盲目ニシテ下顎ノ門齒六箇アリ故ニ之レヲ F. moogana,
 Temm.ト稱シ以テ本種ト區別ス

第五目 猛獸類 Carnivora.

第十圖



此類ノ目數ハ主トシテ其齒形ト齒數トニ取ル即チ第十五圖ノ如ク前
 齒ハ犬齒極メテ強大ニシテ臼齒ニ三種ノ別アリ假臼齒食肉齒鈍頭齒
 是ナリ甲ハ尖小ニシテ犬齒ト食肉齒トノ間ニ生シ乙ハ假臼齒及ヒ鈍
 頭齒ノ間ニ位シテ強大且鋭利ナル隆起ヲ有シ以テ嚼肉ヲ便ニス丙ハ
 食肉齒ノ後ニ在リ隆起アレハ鋭利ナラズ其種屬ノ異ナルニ隨ヒ其數
 亦同ヱカラズ蓋シ食肉齒ノ多キ者ハ其性兇殘ニシテ温血動物ノ肉ヲ
 嗜シ假臼齒及ヒ鈍頭齒ノ多キ者ハ差々温和ニシ
 テ其食ヲ攪マズ或ハ魚蟲ノ類ヲ食シ又好シテ
 植物ヲ喰フ例ハ虎ト熊トノ如シ五官頗ル鋭
 敏顛顛關節窩ハ横向シテ下顎ハ上下ノニ運動
 セリ鎖骨ナキ者アリ或ハ之ヲ有スル者アルモ
 細小ニシテ纒ニ其形迹ヲ存スルニ過ズ行クニ
 全蹠ヲ以テスル者アリ第十六圖甲ノ如シ之ヲ蹠行獸(Platigrada.)ト云フ



第十 第六 圖 乙 甲

例ハハ熊ノ如シ或ハ趾立シテ歩スル者アリ同圖
乙ノ如シ之ヲ趾行獸 [Digitigrada.] ト云フ例ハハ犬猫
ノ如シ大洋洲ヲ除クノ外全地球上所トシテ産セザ
ルノ地ナシ就中亞細亞ノ中央ヲ以テ多シトス此類
ノ既ニ亡族セシ者凡ソ一百有五十種今猶ホ生存ス
ル者三百有餘種アリ其毛皮ハ皆良品ナルヲ以テ魯
西亞ノ國民之ヲ獵捕シ生業トナス者多シ其價ノ連城ナル者ハ黑狐皮
ヲ以テ最トス

第一熊族

Ursina.

口。尖。リ。テ。食。肉。齒。ノ。發。育。至。カ。ラ。ズ。小。齒。夙。ニ。脫。落。ス。ル。者。アリ。耳。目。小。ニ
シ。テ。四。肢。共。ニ。五。趾。ヲ。具。ヒ。踏。ム。ニ。全。蹠。ヲ。以。テ。ス。此。族。渾。テ。夜。獸。ニ。シ。テ。其
體。肥。大。ナ。リ。ト。雖。モ。其。奔。馳。最。モ。巧。健。ニ。シ。テ。樹。木。ニ。攀。ル。亦。輕。捷。ナ。リ。力。能
ク。大。樹。ヲ。拔。ク。若。シ。其。敵。視。ス。ル。者。ニ。逢。ヘ。或。ハ。之。レ。ヲ。擊。攪。シ。或。ハ。之。ヲ。搏

擊シ或ハ之ヲ折傷ス各地多クハ之ヲ産スト雖モ其氣候ノ異ナルニ隨
ヒ自カラ一定ノ種屬アリ

(二) 熊屬

Ursus, L.

筋骨魁岸長。毛體ヲ覆ヒ尾短小ニシテ白。齒六ニアリ。率テ熱帶地方ノ高山
ニ産ス其寒帶ニ産スル者ハ冬眠ヲ爲シ好シテ家畜及ヒ菓實ヲ食害ス
其肉ト脂肪トハ食用ト爲スベク毛皮ハ奇賞セラル、ヲ以テ人多ク之
ヲ爭獲セリ

熊

U. japonicus, Schleg.

本邦ニ産スル者はナリ深山幽谷ニ住ス全身黒色ニシテ鉤爪亦黒ク喉
下ニ白色ノ輪斑アリ所謂月ノ輪是ナリ其膽ヲ熊膽ト曰フ夏膽冬膽ノ
二種アリ捕時ヲ以テ之ヲ名ク夏膽ハ其色黃赤ニシテ佳品トス甚ク稀
少ナリ

熊

U. arctos, L.

其丈大ナル者ハ五尺餘毛色淡褐或ハ暗褐ニシテ幼者ハ頸部ニ白輪ヲ具フ性悍猛ナリト雖ヒ人ニ馴易シ蹠底平潤ニシテ能ク人立ヲ爲シ之ニ踏舞ヲ教示スレハ乃チ演技シ巧ニ樹幹ニ攀チ菓實蜜汁及ヒ昆蟲ノ類ヲ食ス八月ノ頃莖尾シ凡ソ三週間ヲ經テ二三頭ヲ乳ス其子在胎ノ日子淺少ナルヲ以テ其發育全カラス老獸ハ二月ノ頃蹠皮更ニ亞細亞、亞米利加、及ヒ歐羅巴ノ寒温兩帶ノ地方ニ多シ本邦北海道ニ産スル者亦是ナリ其膽ヲ島膽ト曰フ腥氣アリ服シ難キヲ以テ下品ト爲セリ蓋シ魚肉ヲ食スルノ故ナリ此種英國ニ於テハ既ニ一千〇五十有七年ニ亡族シ獨乙國ニハ一千六百八十有六年ニ於テ殆ント絶種セリ北亞米利加及ヒ北亞細亞ニ産スル者ハ毛皮ノ良品ナルヲ以テ貿易上之ヲ珍貴ト爲シ毛裘及ヒ覆鞍、氈毯、温手器等ニ用フ其肉ハ之ヲ薰製スル羊股肉ノ如クスレハ其味美ニシテ食フヘシ漢土ニ熊掌ト稱シ其味ノ美ヲ貴フ者ハ即チ該熊ノ掌ナリ

△白熊

D. maritimus, L.

其長ケ六尺ヨリ八尺ニ至リ高サ四尺ニ及ヘリ北極地方ニ産ス能ク海寒ニ耐ヘ泳潛陸行共ニ巧ナリ其性猛傲多力好シテ人畜ヲ害シ積氷ヲ穿テ之ニ伏居シ海獸及ヒ魚類ヲ喰フ其皮ハ以テ護寒ノ具ト爲スヘク其肉喰スヘシト雖ヒ肝臟ハ人身ニ害アリ喰フヘカラス熊脂ハ總テ流動性ニシテ調饌ニ宜シ亦燈油ト爲スヘシ醫家之ヲ以テ瘡痕及ヒ諸腫潰膿ノ藥ト爲ス又粧髪ニ可ナリ

第二 鼬鼠族

Mustelina.

其體細長脚矮小ニシテ五趾ヲ具ヒ蹠立スル猶熊ノ如シ嗅聽ノ兩感敏穎體毛軟鬆ニシテ絹糸ノ如シ夏冬其呈色ヲ異ニスル者アリ毛皮ニ良品多シ狀貌峻嚴其性悍急ニシテ怒リ易ク冥頑不靈ニシテ人ニ馴レズ

〔一〕鼬鼠屬

Mustela, L.

白齒^{四五}若^ハ五^六アリ自在^ニ項背^ヲ彎曲^シ脚矮^短鉤爪^{細小}ニシテ蹠底
茸毛^ヲ生^シ踏^ムニ半^〇蹠^ヲ以^テス尾長^六ニシテ其長^サ幾^ノト半身^ニ及
ブ者^{アリ}或^ハ之^ト相均^シキ者^{アリ}大洋洲^ヲ除^クノ外至地球^ニ産^ス皆
夜獸^ニシテ譬^ニ遊^ニニ^〇二^〇腺^ヲ有^シ常^ニ惡臭^ヲ分泌^{スル}カ爲^メニ滿身臭
氣^{アリ}其働^作輕快^ニシテ身體柔順^{竹筒中}ト雖^モ能^ク反轉^{シテ}之^ニ出
入^シ樹木^ヲ攀^テ屋壁^ニ上^ル亦頗^ル巧^{ナリ}性狡猾^ニシテ殘忍^{猜且}ツ怯
ナリ温血動物^ノ血液^ヲ嗜^ミ羽族^{小獸}鳥卵^及ヒ家禽^ヲ害^ス然^モ黠鼠^ヲ
捕^{フル}ノ能^{アル}ヲ以^テ益^{ナシ}トモス之^ヲ捕獲^{スル}ノ具各種^{アリ}ト雖
モ雞卵^子ニ一^孔ヲ穿^テ番^木籠^粉少許^ヲ其中^ニ填入^{シテ}之^ニ與^{フル}ヲ
以^テ最^トス此屬^ノ毛皮^中最^モ高價^{ナル}者^{アリ}

鼬鼠

M. itatsi, Temm.

身細長^ニシテ短頭^{脩尾}毛色赤褐^ニシテ口邊^{黒色}ナリ人家^ニ多^シ好^ム
テ雞鼠^ヲ食^フ

圖七十第



鼬鼠^ニ似^テ肥大^{體毛}稍^々長^クシテ黃色^ヲ帶^ヒ四肢^ノ下部^ハ暗色^ヲ呈^ス
ツ^{ナー}ベル *M. zibellina*, L.

黃鼬

M. melampus, Temm.

白齒^五六^ニシテ尾^ノ長^サ脛^幹ニ半^ス體毛^褐色^ニシテ軟鬆^綿ノ如^ク喉
共^ニ灰色^ヲ帶^フ中央^{亞細亞}及^ヒシベリヤ^ニ産^ス其稍^々長毛^ニシテ銀光
ヲ發射^{スル}者^ヲ銀^{ツナー}ベル^ト曰^ヒ金光^{アル}者^ヲ金^{ツナー}
ベル^ト曰^フ北海道^ニ黃^貂ナル者^{アリ}蓋^シ之^ナヲ
紫色^若クハ黑褐^色ヲ帶^{フル}者^ハ其價^極メテ貴^シ然^レ
モ往々^{偽造}品^{アリ}注意^{セサル}ヘカラス

ヘルメリン *M. erminea*, L. (第十七圖)

白齒^五六^ニシテ尾^尖常^ニ黒色^ヲ呈^シ冬時^ハ全體^{白色}
ニシテ鶴^々タルモ夏季^ハ褐色^ニ變^シ唯腹部^ヲ剩^{セリ}頰
飾^ニ宜^シ其價^頗ル高^額ヲ占^ム然^レモ其純^白ナル者^或

ハ變シテ黄色トナリ或ハ疥癩スルヲアルヲ以テ當時ハ大ヒニ其價格
ヲ落セリ魯西亞人ハ之ヲ支那ニ輸出シテ射利ス白兔皮ヲ以テ偽製セ
ル者アリ宜シク注意スヘシ

エーデル。マルデル M. martes, L.

白齒^{五六}ニシテ尾ハ其體ノ半徑ヨリ長シ體毛栗褐色ニシテ喉胸ノ兩部
卵黄色ヲ呈シ頗ル艶麗ナリ其毛皮ハ之ヲ襟裝ニ用ヒ背部ハ殊ニ之ヲ
衣領ト爲ス其他渾ヲ裁皮ノ工ニ使用セリ北半球ニ産ス漢土ニ貂^〇便^〇鐵^〇
ト稱スル者恐クハ之ナラン

(二) 獾屬 Meles, L.

白齒^{五六}下顎關節頭ノ顛顛關節窩ニ嵌入スル頗ル緊切ニシテ其骨ヲ挫
折スルニ非サレハ之ヲ離脱スル能ハス口喙尖リ脚矮短ニシテ前脚^〇
鈎爪長大以テ穿穴ヲ便ニス尾ハ短大ニシテ起部ニ一腺^〇ヲ有シ惡臭液
ヲ分泌ス常ニ菓實草根ノ類ヲ食シ動物ヲ喰フヲ稀ナリ其毛皮ハ世用

ニ宜シ

獾 M. anakuma, Temm.

本邦ノ山地ニ産シ常ニ穴居ス其大サ凡ソ三尺許ニシテ毛皮黑黃其性
甚ク敏捷ナリ

(三) 水獺屬 Lutra, Ray.

白齒^{五五}ニシテ耳殼短ク耳門ニ膜辨ヲ有シ以テ水底ヲ潜行スルニ便ス
趾間ニ蹼アリ尾端扁平ナリ岸崖ニ坎ヲ穿テ晝伏スルヲ常トス夜間ハ
水中ニ潜入シテ魚蟹ノ類ヲ食シ其水ヲ渉ル甚ク捷躡ナリ或ル一地方
ニ於テハ之ヲ使役シテ魚ヲ捉ヘシムト氈毛厚密且毳毼ニシテ艶麗毳
衣領飾及ヒ冬帽ニ良シ其硬毛ハ以テ畫筆ト爲スヘシ然レモ養魚家ニ
大害アリ籜邊ニ木芙蓉ヲ栽レハ其患ナシト秘傳花鏡ニ見ヘタリ

水獺 L. vulgaris, Erxl.

其体暗褐腹部稍淡薄ニシテ口喉白シ歐羅巴及ヒ亞細亞ニ産ス本邦ニ

産スル者亦是ナリ北亞米利加ニ産スル者ヲ *L. canadensis*. ト曰フ其形本種ト相似タリト雖ヒ稍大ニシテ毛色差々暗黒ナリ

〔四〕 海獺屬 *Enhydris, Flem.*

前齒ノ數幼時ハ六ナリト雖ヒ下顎ハ夙ニ其二枚ヲ脱ス曰齒ハ四ニ耳殼卷縮セリ前肢矮小趾亦細短ニシテ五趾皆ナ連接ス後肢ハ大ニシテ趾間ニ有毛ノ蹠ヲ具ヒ其後向スル膺臍ノ如シ故ニ其行動至拙ニシテ常ニ海中ニ生活シ陸地ニ在ルヲ殆ント罕ナリ北亞細亞及ヒ北亞米利加ノ間ニ産ス海岸ヲ距ルコト凡ソ一百里外ニ至ルコト往々之レアリ

△ 海獺 *E. lutris, L.*

其大ク犬ノ如ク體毛軟鬆ニシテ黒剪絨ニ類シ頸部ハ白色ヲ帶フ其毛皮ハ綿々光澤アリ毛彩年所ヲ經ルト雖ヒ會テ退色スルコトナキヲ以テ其價ツヘル及ヒヘルメリノヨリ貴シトス腹頸ノ兩部ハ銀光毛ヲ混生スルヲ以テ殊ニ佳品トス然ヒ稀品ニソ得易カラズ魯西亞人ハ毛尖ニ

金粉ヲ泥抹シテ之ヲ支那ニ輸出ス其價毛皮中ニ冠タリ其肉食フベシ

第三 犬族 *Canina.*

前肢ハ五趾ヲ具ヒ鉤爪反攀セス舌平滑ニシテ鈍頭齒ハ二尖ヲ有セリ樹木ニ攀緣スル能ハスト雖ヒ趾能ク履ニ其馳騁頗ル輕快ナリ此屬強罕ハ並米利加ニ産ス

△〔一〕 犬屬 *Canis, L.*

四肢其長サヲ同フス故ニ其高サ頭背齊一ニシテ曰齒ハ七アリ羣居ヲ好ニ生肉及ヒ魚肉ヲ食ス此屬渾テ五十種内二十種ハ既ニ亡族セリ其瞳子ノ形狀ニ據リテ之ヲ内別シ以テ二屬ト爲ス

甲 圓瞳屬

瞳子正圓ニシテ口喙鈍短ナリ尾腺ヲ有セス

犬 *C. familiaris, L.*

性忠實ニシテ剛驍馳騁頗ル健快馬モ三舍ヲ避ク臭神經亦銳敏ナリ其

主ニ事フルヤ終始思ヲ忘ル、ナク尾ヲ搖シ耳ヲ帖レテ媚ヲ獻スルノ狀アリ一旦其生命ヲ奉シ之ニ從事スルヤ勉勵刻苦莫モ苟且スルヲナク能ク主家ヲ守リ異事アレハ必ス報シ危難アレハ必ス助ケ死ニ至ルモ敢テ辭スルコトナシ此類數種アリ或ハ羈旅ニ伴フ者アリ或ハ軍旅ニ率ヒ或ハ獵取ヲ共ニスル者アリ雪國ニテハ之ヲ用ヒテ鄉導ト爲シ往々雪ニ凍仆セル者ヲ救護シテ能ク無恙ナラシメ又北極地方及ヒ北亞細亞ニ於テハ橈ヲ行ルニ之ヲ使役スル馬車ノ如クシ「イストラッド」ハ以テ鳥ヲ捕ヘ亞米利加人ハ魚ヲ捕フルニ用テ其他世用ヲ爲スト枚舉ニ遑アラヌ動植ノ二物ヲ食ヒ盛夏炎日ニハ熱喘舌ヲ吐キ殆ント暑ニ耐ザルモノ、如シ疾走スルキモ亦然リ生期凡ソ十五年乃至二十年ナリ其孕スルヤ六十有三日ニシテ四頭乃至八頭ヲ乳ス体中ニ一種ノ條虫アリ其害傳播シテ人ニ及フ眞ニ懼ルヘキナリ此他尙ホ之ニ寄生スル者五種アリ該種中往々野生ノ者アリト雖モ皆ナ家犬ノ變性ニシテ

素ヨリ然ルニ非ス全地球上産セサルノ地ナシ其產地大小毛質等ノ異ナルニ從ヒ尨狎洋犬等ノ名アリ皮ノ需用甚タ多シノルウエーケソニ於テハ毛裘ヲ製スル爲メニ該獸ヲ飼牧シ獨乙國ニテハ此毛皮ヲ以テ帽子或ハ温手器ヲ製シ革ハ以テ鞞トナシ韋ハ以テ手籠トナス其毛ハ褥心ニ填塞シ又筆ヲ製スルニ可ナリ筋骨ハ以テ阿膠ヲ製スベク脂油ハ以テ器械ニ注クヘシ昔時ハ此脂油ヲ勞瘁ノ藥ニ用ヒ其糞モ亦 *Crine-anna albuma* ト稱シテ醫藥ニ供セシコアリ

狼 *C. lupus, L.*

其體黃灰色ニシテ黒毛ヲ雜生シ腹部ハ黃白色ニテ垢汚セリ前脚ニ黒線ヲ有シ耳殼ノ周縁亦黒色ナリ其尾長大下垂シテ踵ニ達ス性怯懦ナリト雖モ剛愎貪食飢レハ則チ同類ヲ食ミ又人ヲ害ス家畜及ヒ家禽ヲ嗜ミ人畜ノ屍肉ヲ啖ヒ罕ニ菓實ニ及フ平素猖然ノ聲ヲナサスト雖モ其一吼スルヤ人ヲシテ凄然寒膽セシム其放任セル者ハ眞ニ懼ルヘシ亞

細亞、亞米利加、亞弗利加、及ヒ歐羅巴ニ産ス其毛皮佳品ナリ夏皮ハ以テ
 草及ヒ羊紙ヲ製スヘシ其產地ト毛色トニ由テ之ヲ區別シ更ニ分テ數
 種ト爲ス歐洲及ヒ亞細亞ニ産スル者ヲ *Lupus orientalis*. ト曰フ其中白色
 ノ者アリ之ヲ白狼ト曰フ北國ニ産ス黑色ノ者アリ之ヲ黑狼ト曰ヒ共
 ニ其學名ヲ *C. Iyaon*. ト稱ス蓋シ黑狼ハ白狼ノ變生ナレバナリ亞米利
 加ニ産スル者ヲ *L. occidentalis*. ト曰フ其色ニ灰、白、班、煤、褐ノ數種アリ
 キ。ヨ。ニ産スル者ヲ *C. mexicanus*. ト曰フ蓋シ亦前種ノ變生ナリ其背部
 ハ黑灰相雜リ兩脇蒼黃色ニシテ口喙腹部共ニ白色ナリ本草綱目ニ曰
 フ此獸ヲ蜂煙ニ用フレハ直上斜ナラスト和産未ダ詳ナラス

豺

C. hodophylax, Temm.

本邦ニ産ス常ニ山中ニ住シ獸ヲ獵獲シテ食用ト爲ス飢ニレハ人ニ及
 ラシ猶ホ狼ノ如シ其體家犬ヨリ稍大且ツ細瘦ニシテ猛獍ナリ毛色一
 ナラス

其體肥豐脚矮短口喙尖長尾長大ニシテ流蘇ノ如シ體毛黃褐色ニシテ
 背部ニ黑褐色ノ雜斑ヲ具ヒ兩頰眼緣尾端共ニ黑褐色ニシテ四肢及ヒ
 耳殼ノ周緣ハ灰褐色ナリ其性狡猾常ニ村間ニ至接シ穴居晝伏シテ家
 禽ヲ盜食ス肢體臭氣アリ鍛工其皮ヲ以テ風箱ニ用フ世ニ傳フ四國ニ
 狐ヲ産セズ狸能ク人ヲ魅スト

乙 長瞳屬

狐

C. vulpes, L.

其體淡栗赤色ニシテ腹部白ク耳背ハ黒シ尾長大ニシテ流蘇ノ如ク其
 端白色ナル者多シ亞細亞及ヒ歐羅巴ニ産シ山林ニ穴居ス其窩繸巢ニ
 似テ中ニ數室ヲ分テ各所ニ坎口ヲ設ケテ出入ヲ便ニス每歲四月ノ比
 三頭乃至七頭ヲ乳ス其子初生ハ盲ナリ尾根ノ上部ニ一腺アリ名ケテ
 「*ウイオール*」腺ト曰フ蓋シ薺菜花ノ香アルヲ以テナリ其性多疑審應善ク

鼠ヲ捉フルノ効アリト雖モ亦好シテ禽畜ヲ盜食スルノ害アリ冬捕ノ
毛皮ハ裘衣ニ宜シク夏獲ノ毳毛ハ帽子ヲ製スルニ良シ昔時其肝臟及
ヒ脂肪ヲ藥用ニ供セシマアリ該種中毛色ヲ異ニスル者多シ例之白狐
Vulpes alba. 黑狐 V. nigra. ノ如シ

第五 猫族 Felina.

前肢ニ五趾ヲ具ヒテ趾立シ鉤爪反。擘。ス小臼齒ニ。舌頭銳尖ニシテ箭根
ニ似タリ唇邊ニ腺ヲ有セズ温血動物ヲ喰フ大洋洲ヲ除ク外全地球上
産セザルノ地ナシ此族唯一屬アルノミ

(一) 猫屬 Felis, L.

頭部口喙共ニ圓短ニシテ其齒銳尖臼齒ニアリ容貌猙獰コノ聽官敏穎
其性警誦ニシテ人ニ馴レズ汚穢ヲ惡ミ清潔ヲ好シテ群居セズ動作徑
捷頗ル攀緣ヲ巧ニス其食ヲ捕フルヤ注視良久フシテ飛躍以テ之ヲ攫ル
其疾キク恰モ奔電ノ如シ生肉生血ヲ嗜ミ鱧鰂セル者ヲ食ハズ各國其

毛皮ヲ愛玩シ之ヲ捕獲スル多キヲ以テ大且ツ細ナル者ハ漸ク滅種セ
リ毛商ハ其輪斑アル者ヲ豹皮ト曰ヒ波紋アル者ヲ虎皮ト曰フ二者頗
ル重價ヲ占斷セリ今猶ホ生存スル者四十餘種僅ニ七族セル者三十九
種アリ

獅 F. leo, L. 亞弗利加產ハ殊ニLeo. Barbans, Leuch. 一云フ

大頭細腰鼻尖ヨリ尾根ニ至マテ五尺乃至八尺高サ三尺餘尾ノ長サ三
四尺全身黃褐。色ニシテ尾端ニ毛球アリ牡ハ鬃鬣。鬣然トシテ項頸ヲ圍
繞ス其狀古來畫ケルモノト異ナリ其孕スルヤ一百有八日ヲ以テ三頭
ヲ乳ス其子寤生シ稍長スルコ及ンテ尾端毛球ヲナシ鬃鬣亂生ス西亞
細亞及ヒ全亞弗利加ニ産ス各種ノ變生アリ其力一羣以テ能ク牛馬ノ
脊骨ヲ折挫ス其飛躍スルヤ凡ソ三丈吼聲雷ノ如ク百獸懾伏ス然レ其
人ヲシテ悚然ヲラシムル猛虎ノ一叫ニ如カス人獸ノ之ニ遭フ者其啖
噬ヲ免ル、蓋シ幸ナリトス狀貌傑魁猙獰世人以テ百獸ノ王トナス名

物方言ニ之ヲ獸王ト曰フ蓋シ隱言ニ非ルナリ羅馬人ハ之ヲ闘角セシメ以テ壯觀トナセリ一日六百頭ヲ驅苑シテ闘ハシメタルヲアリト其毛皮ハ覆鞍、頭飾等ニ用フメテ其肉ハ亞弗利加人ノ好食スル所トナル

クガール *F. concolor, L.*

獅ノ一種ニシテ米國北緯五十度ヨリ南緯五十四度ノ間ニ産ス按スルニクガールハ方言ナリ其大サ鼻端ヨリ尾根ニ至ルマテ三四尺尾ハ二尺許アリ全體黃赤色ノ者アリ又暗斑ヲ具フル者アリ頭小ニシテ鬚鬚ナク尾ニ毛球ナシ其性殘忍弱獸其羊ノ如キハ一夜ニシテ三四十頭ヲ食害セテレシトアリ然レ至怯ニシテ人馬ヲ害スルコトナシ鬚縁頗ル巧健幼時ハ人ニ馴レ易シ其毛皮佳品ナリ

虎 *F. tigris, L.*

其體鼻頭ヨリ尾根ニ至ル五尺乃至八尺尾ハ凡ソ二尺五寸高サ亦之ト同シ全身栗黃色ニシテ黒色ノ横斑アリ肉食獸中ノ尤物ニシテ獅ヨリ

モ雄豪ナリトス其多カナル一輩以テ人ヲ傷クル五寸其瘡概テ瘰癧ニ難シ人ヲ啣負シテ疾走スルニ巧ナリ南亞細亞ニ産シ深林陰藪中ニ棲居ス殊ニ東印度ニ多シ土人ノ之カ腹中ニ葬ラル、者迦カラス故ニ封侯之ヲ患ヒ兵士數十人ヲ帥ヒテ數々之ヲ大驅セルヲ以テ「セイロン」島ノ如キハ終ニ其跡ヲ絶セリト云フ其毛皮ハ頗ル壯麗ニシテ其價亦頗ル貴ク覆鞍、遊氈ニ良シ昔時骨肉等ヲ以テ藥品トナセシト本草綱目ニ見ヘタリ

豹 *F. pardus, L.*

其體前種ニ比スレハ稍ヤ矮小毛色黃赤ニシテ黒褐ノ斑ヲ具ヒ腸部ヲ白クス但斑ノ排列六七條ナル者ヲ *F. pardus, L.* ト稱シ其十條ニ排列セル者ヲ *F. leopardus, L.* ト名ク亞弗利加及ヒ西南亞細亞ニ産ス此他尙ハ漢土ニ同名ナリ以テ稱セラル、者數種アリト雖モ今之ヲ畧ス其毛皮ノ必需タル虎皮ト異ナルナシ其肉食フニ可ナリ

家猫

F. domestica, Briss.

毛色一ナヲス尾ノ長サ體ノ半徑ニ過ク但本邦ニ産スル者ハ概テ縮縮
シテ無カ如シ故ニ之ヲF. domestica japonicaト名ケ以テ他猫ト區別ス嘗
時ハ全地球上所トシテ之ヲ家養セザルノ地ナシト雖ト昔時希臘羅馬
ノ頃ニハ會テ之ヲ家飼セシマアルヲ聽カス爾後千一二百年代ニ至ル
モ歐洲ニ於テハ猶ホ之ヲ飼養セルヲ希ナリキ亞米利加ニ産スル者ハ
西班牙ノ種類ニ係レリ其性能ク家ニ馴ルト雖ト其主ニ馴レズ二三
月ノ交單尾シ約ソハ週半ニシテ三頭乃至六頭ヲ乳ス之ニ寄生スル者
四種アリ毛皮ハ越歴ヲ含有ス酉陽雜俎ニモ鼠者暗中逆循其毛即如火
星ト云ヘリ以テ三絃及ヒ越歴ノ器械ニ用ヒ又關節痠痛寧斯ニ用ヒテ
効アリ其毛色異種及ヒ暗禍ナルヲ上品トス腸管ハ以テ樂器ノ絲ヲ製
スヘシ腹ハ以テ俗藥ニ供スヘシ昔者埃及人ハ之ヲ神ノ如ク尊敬シ其
死體ハ之ヲ「パルサム」ニ浸シテ保存セリト好シテ鼠ヲ捕食スルヲ以テ

人家ニ功アリ船中ニハ殊ニ有益ノ獸トス世ニ傳フ晝眠スル者ハ能ク
鼠ヲ捉ヘ否ヲスシテ食ヲ覓ムル者ハ捕鼠ノ功ナシト俗ニ之ヲ「猫」
ト曰フ徐氏筆精ニ曰ク猫不捕鼠者名麒麟猫ト蓋シ是ナリ

第五 靈猫族

Viverrinae

Insensu

其體細長コシテ臀部ニ香囊ヲ有シ小齧齒ニニシテ五趾ヲ有スル者ア
リ成ハ四趾ヲ具フル者アリ鈎爪反掣スル者多シ或ハ猫ノ如ク趾立ス
ル者アリ或ハ熊ノ如ク趾立スル者アリ此族四屬亞細亞及ヒ亞弗利加
ニ産ス今其有功ノ者ニ屬ヲ掲ク

(一) 靈猫屬

Viverra, L.

Insensuの猫

尾ノ長サ軀幹ニ齊シク四肢共ニ五趾ヲ具ヒテ趾立ス鈎爪半ハ反掣シ
齧齒ニテア、縁縁頗ル巧ニシテ小獸羽族ヲ残食スルヲ猶ホ蝕鼠ノ如シ
牝牡共ニ臀部ニ四囊ヲ有ス其ニテ香囊ト曰フ鳩卵大ニシテ肛門ト生
殖器トノ間ニ一縱口ヲ開キ内壁中ニ許多ノ小囊ヲ藏シテ常ニ稠厚白

人比々
其體細長
無齒切
也
大
也

色ノ液ヲ貯ヒ漸ク大囊中ニ分泌ス此小囊ノ大ヲ殆ソト胡椒ノ如シ其分泌液ヲ靈猫香ト曰フ遠ク之ヲ聞ケハ其香殆ソト麝ニ類セリト雖ヒ歐洲人ハ却テ不愉快トセリ此香液大囊中ニ滿ル時ハ則チ其臂部ヲ樹根巖石等ニ壓擦シ以テ之ヲ淘汰ス故ニ亞細亞地方ニ於テハ專ラ之ヲ飼養シ毎週兩三回竹匕若クハ牙匙ヲ以テ其囊口ニ溢出スル者ヲ掬挹シ黑奴ハ其樹石ニ粘著セル者ヲ抓取シテ之ヲ亞鉛若クハ角製ノ器中ニ貯ヒ以テ藥用ニ供セリ其功用麝香及ヒ海狸香ニ似テ能ク精神ヲ勵シ又能ク情火ヲ盛ニス故ニ東國ニ於テハ今猶ホ多ク之ヲ閨房ニ用フト云フ亞拉非亞ニ於テハ殊ニ女子ノ盛粧ト爲シ以テ佩香ノ具トセリ男子ハ之ヲ頭巾ニ點入ス又發汗ヲ促シ燥急ヲ治スルノ効アルヲ以テ昔時ハ盛ニ之ヲ歐洲ニ輸出セリト雖ヒ現今ハ之ヲ用フル者ナキニ由テ塞々跡ヲ歐境ニ絶セリ他ノ二囊ハ其狀香囊ニ似タリト雖ヒ差々小ニシテ脂肪様ノ惡臭粘液ヲ藏容シ口ヲ肛門ノ左右ニ開ケリ故ニ之ヲ肛門

腺ト稱ス該屬ノ既ニ亡族セル者八種今猶ホ存スル者亦八種アリ皆古世界ノ暖帶地方ニ産ス

亞細亞靈猫 *V. zibetha, L.*

其體灰色ニシテ黑褐色ノ斑點ヲ具ヒ頸部ハ白クシテ勾斑ヲ有ス鬃短クシテ無カ如ク尾ニ九箇乃至十箇ノ半環紋アリ南亞細亞及ヒ其近島ニ産ス

亞弗利加靈猫 *V. civetta, Raf.*

體色及ヒ斑紋ハ殆ソト前種ニ似タリト雖ヒ其鬃鬣皆々トシテ生シ項門ヨリ尾半ニ及フ故ニ其狀前種ニ比スレハ頗ル傑魁ナリトス尾ハ黑褐色ニシテ前半ノ兩側ニ四箇ノ灰斑ヲ具フ亞弗利加ノ中部ニ産ス

印度靈猫 *V. indica, Geoff.*

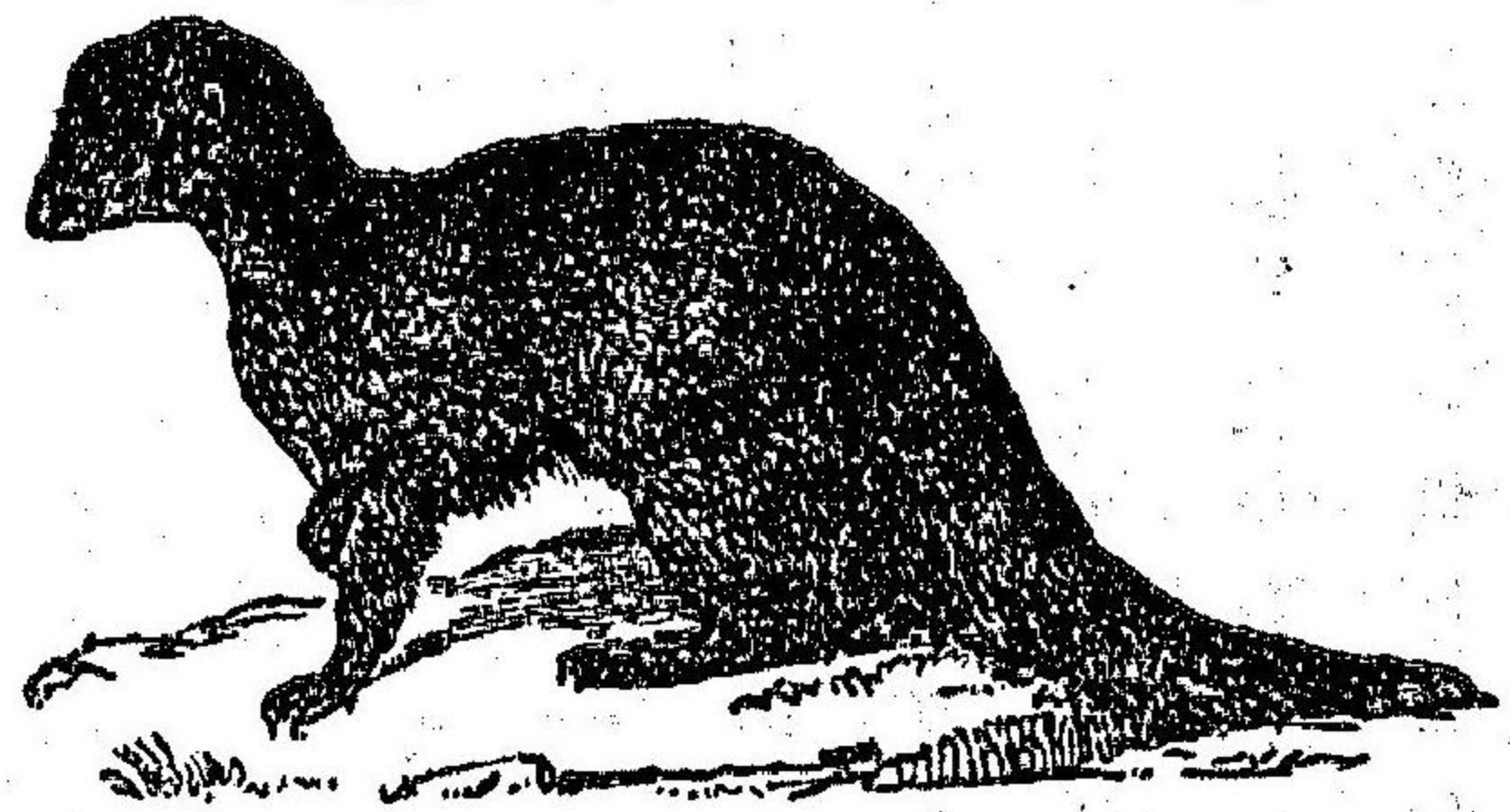
其體前二種ニ比スレハ頗ル矮小ニシテ大サ家猫ニ過キス尾ハ軀幹ト其長サヲ同シ尾根ニ長毛アリ毛色黃灰ニシテ暗色ノ正斑ヲ具ヒ鉤爪反

攀。ス。印度及ヒ其近嶋ニ産ス香。靈。甚。タ。小。ニシテ靈猫香ヲ出サスト雖ヒ
 其態殊麗可憐ニシテ其走ルヤ蜿蜒紆曲スルヲ以テ日光ノ之ヲ射映ス
 ル時ハ燦々乎トシテ人目ヲ奪ヒ頗ル美觀ナリ之ヲシテ遊園ニシテ在シ
 メハ其聲觀スル者綿々屬集ス故ニ人皆之ヲ愛玩シ以テ家畜ト爲セリ
 ゲネット靈猫 *V. Genetta, L.*
 其體前者ヨリ大ニシテ鉤爪反攀シ尾ノ長サ體半ニ過ク毛色黃灰ニシ
 テ兩脇ニ黒斑ヲ列スルイ三四行香靈小ニシテ靈猫香ヲ出サバルヲ猶
 ホ前種ノ如シ全亞弗利加西佛蘭西及ヒ西班牙ニ産ス其毛皮華麗ニシ
 テ鼠ヲ促ルノ功アリ以上四種共ニ毛皮頗ル佳品ナリ

二二イヒノイモン屬 *Herpestes, F.*

其形色前屬ニ似タリト雖ヒ腎邊ニ香靈ヲ有セス唯肛門ノ周圍ニ扁腺
 ナ環繞シ常ニ惡臭液ヲ分泌スルノニ尾根大ニシテ漸ク尖リ鉤爪反攀
 セス南亞細亞及ヒ亞弗利加ニ産ス總テ二十一種アリ穴居シテ小獸、羽

第十八圖



族爬虫及ヒ昆虫ノ類ヲ食シ殊ニ鼠ヲ嗜ム人ニ
 馴レ易シ

ヒノイモン *H. ichneumon, L.* (第十八圖)

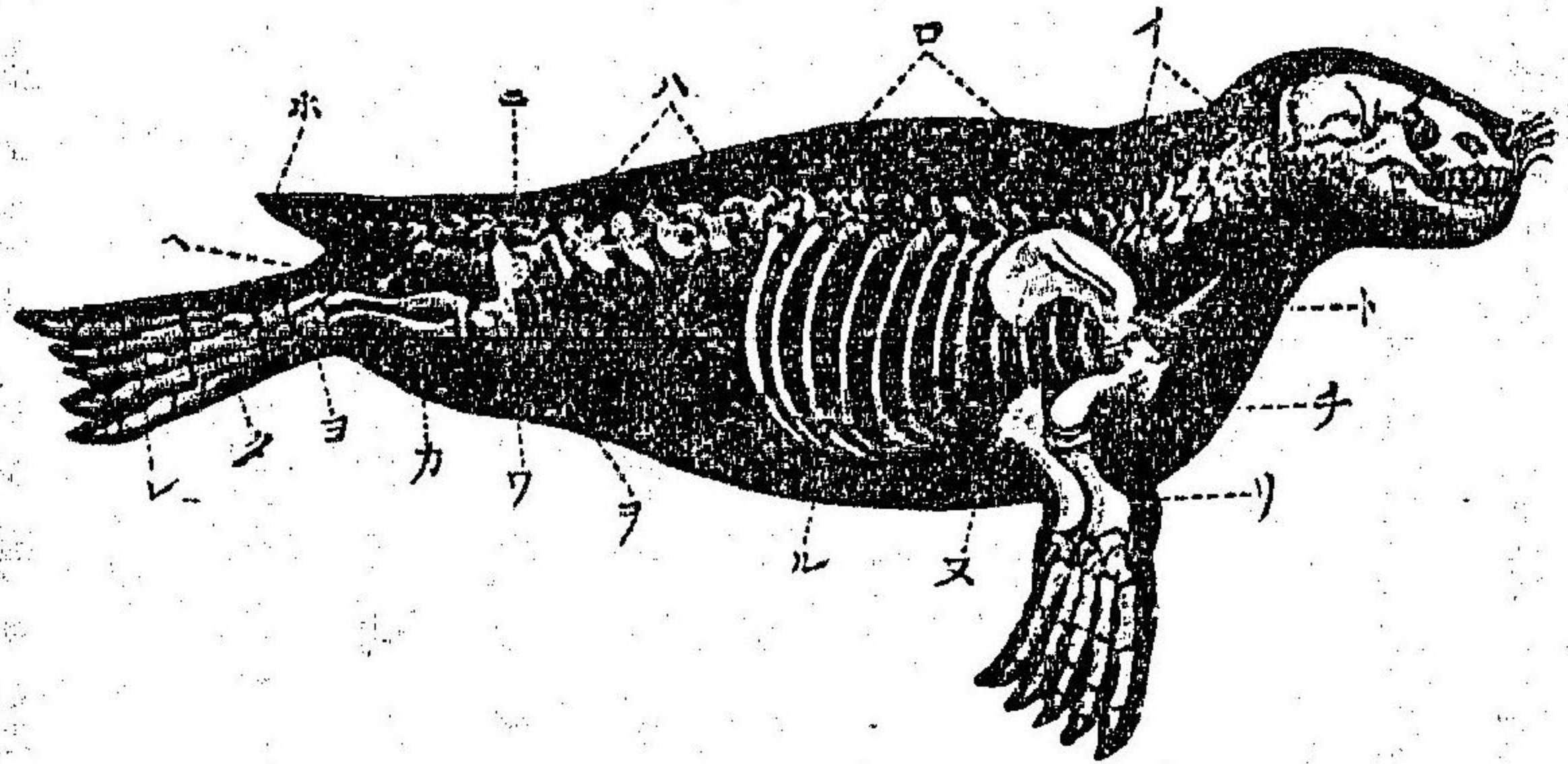
其體黃灰色ニシテ小黑斑ヲ星列シ其尾軀幹ヨ
 リモ長クシテ白色ノ輪斑ヲ環ラシ尖端黒色ニ
 シテ流蘇狀ヲ成ス北亞弗利加ノ産ニシテ特ニ
 埃及ニ多シ其飼養ニ係ル者ハ家禽ヲ攫スルノ
 害アリト雖ヒ能ク狡鼠ヲ捕ヘ野ニ在ル者ハ好
 ヲテ鱈卵ヲ食シ毒蛇ヲ屠ルノ功アルヲ以テ古
 代ノ埃及人ハ之ニ尊事スル猶ホ神ノ如クセリト

第六目 鱒脚類 *Pinnipedia.*

其體扁長第十九圖ノ如ク殆ント紡錘ノ形ニ似テ短毛偃生セリ頭頂鈍
 圓ニシテ眼目前向シ鼻孔ヲ關閉スル意ノ如クス口角ニ疎鬣アリ列齒

頗ル猛獸ニ似テ前齒ハ六乃至二枚。齧齒皆ナ同形ニシテ犬齒強大ナリ。腰部漸ク細ク四肢矮短ニシテ躡狀ヲナシ趾間ニ連蹠アリ。後肢ハ後向シ左右相比接ス尾ハ短小ニシテ其間ニ夾在セリ。此類皆ナ海獸ニシテ游泳頗ル巧ナリト雖也。陸行極テ拙シ常ニ海濱ニ生活シ往々河流ニ浜遊スルヲアリ其上陸スルヤ或ハ憩息シ或ハ曬晴シ或ハ乳産スルガ爲メナリ。性好シテ鱗甲及ビ海藻ヲ食フ肉油、毛皮、脂肪等ハ世用ニ益アルヲ以

第九十圖



- [イ] 頸椎骨
- [ロ] 胸椎骨
- [ハ] 腰椎骨
- [ニ] 薦骨
- [ホ] 尾骶骨
- [ヘ] 髖骨
- [ト] 胸骨
- [チ] 上膊骨
- [リ] 下膊骨
- [ヌ] 肩胛骨
- [ル] 肋骨
- [ナ] ト髌骨
- [ワ] 膝蓋骨
- [カ] 下髌骨
- [ヨ] 跗骨
- [タ] 跗前骨
- [レ] 趾節骨

テ之ヲ捕フル者多シ天賦溫柔ニシテ群居ヲ好ミ人ニ馴レ易シ

第一 海象族

Trichechus

上。頸ノ犬齒頗ル強大ニシテ象牙ノ如ク長ク口外ニ突出シ門齒六。六齧齒五。四ニシテ脱シ易シ其體肥大ニシテ皮膚厚ク胸部ニ四箇ノ乳房ヲ具ヒ耳殼ヲ有セズ性群居ヲ好ミ簇々トシテ湖氷山積ノ上ニ睡ル其陸ニ在ルヤ怯懦ニシテ行歩巧ナラズ蹠々トシテ醉人ノ歩ムニ似タリ人ヲ見レバ則チ蒼黄シテ逃竄ス然レモ水中ニ在テハ其動作輕捷ニシテ毫モ懼色ナク害者アレバ之ニ抗シ牙力能ク小舟ヲ覆スニ足ル此族一屬三種アリト雖モ其二種ハ既ニ亡族セリ

海象

Trichechus rosmarus, L.

北氷洋ニ産シ甲介ノ類ヲ食ス全體黃錫色ニシテ軟絲ノ短毛ヲ生シ尾ヲ有セズ其大サ一丈八尺ヨリ二丈ニ至リ重サ千五百磅ヨリ二千磅ニ至ル牙ノ長サ凡ソ二尺許以テ海岸ニ縁上シ氷上ヲ徘徊スルニ便ス世

ニ之ヲ海象牙ト云フ其質堅硬ニシテ重サ二十磅ニ至ル者アリ百工之ヲ實用ス殊ニ義齒ヲ製スルニ妙ナリ肝臟脂肪及ビ油ヲ出ス北地ノ民ハ其皮ヲ以テ裘革紐等ヲ製シ或ハ構屋ニ用フ又之ヲ喰フ者アリ肉ハ食料ニ可ナリ

第二 海豹族 Phocina.

其頭部或ハ犬ニ似タル者アリ又水獺ニ類セル者アリ鼻孔ニ膜辨アリ開閉意ノ如シ以テ水底ヲ潜行スルニ便ス犬齒口外ニ挺出セズ胸部ニ二箇ノ乳房アリ晝ハ水ヲ出テ石上ニ群睡スト雖ヒ性嚴警一獸ノ眠ラズシテ變輒ヲ司ルアリ人ヲ見テ一鳴スレバ群獸之ニ應ジ蹴起シテ海中ニ逃投ス其游泳スルヤ或ハ俯シ或ハ仰ギ其潜行スルヤ泡ヲ嘘テ聲ヲ放ツ叫聲恰モ犬吠嗔咽スルニ似タリ老幼牝牡及ビ氣候ニ由テ毛色ヲ異ニスル者アリ南北兩洋ニ産ス之ヲ獵捕スル最モ盛ナリ此族總テ二十八種アリ其三種ハ東洋ニ産ス既ニ亡族スル者五種アリ其毛皮ノ

佳ナル者ハ以テ衣服ヲ製シ粗ナル者ハ以テ櫃烟草囊等ヲ製ス特ニ濕氣ヲ感受セザルノ能アルヲ以テ兵士ノ負櫃ヲ製スルニ妙ナリ其革ハ以テ靴鞞等ヲ製シ軟毛ハ以テ帽子ヲ製ス一頭ヨリ得ル所ノ脂肪ハ凡ソ五六十磅アリ調饌ニ宜シ油ハ以テ革ノ製造ニ用ヒ又飲料及燈油ト爲スヘシ其肉ハ不消化ナリト雖ヒ北方ノ人民ハ以テ食用ト爲シ鞞帶ハ以テ糸、橋、繒等ニ用ヒ骨ハ諸諸ヲ製スルニ良シ

(一) 海豹屬 Phoca, L.

耳〇〇〇門齒六四臼齒五五犬齒ハ三角若クハ四角形ヲ成シ後肢ノ蹠趾尖ヲ超ニス該屬中種名未ク一定セサル者多シ大ナル者ハ二丈五尺ニ達シ重サ八千磅ニ至ル其効用多キヲ以テ之ヲ捕獲スル者年ニ多ク如今大ニ其數ヲ減セリ

海豹 *Ph. namularia, Temm.*

其大サ三四尺黃灰色ニシテ黑褐色ノ斑紋ヲ具フ昔者本邦ノ諸侯該獸

ノ毛皮ヲ以テ靴靴ト爲セリ北奥ノ名産ナリ

二 海驢屬 Otaria, Peron.

門齒六四ニシテ上顎ノ四齒ハ其咀嚼面ニ一條ノ横溝ヲ有シ臼齒六一五後脚ノ蹠ハ趾尖ヲ超過シ耳殼アリト雖尾甚々小ナリ此屬十七種アリ南洋及ヒ北平洋ノ寒温兩帶ニ産シ或ハ短毛ノミテ生スル者アリ又長短參差ナル者アリ幼獸ノ毛皮ハ殊ニ貴トシトス

臙肭獸 Otoria ursina, L.

其大サ六尺五寸許面貌矮犬ニ似テ大長尾短毛ヲ密生ス幼者ハ黑色ナレハ老者ハ蒼褐ニシテ深青黑色ノ斑点ヲ具ヒ腹脇白色ナリ鬚鬚ヲ生セス皮膚厚韌ニシテ牛皮ノ如シ以テ靴靴ニ用フヘシ本草綱目曰入藥用其臍似麝香黃赤色治腹臍積冷寒脾腎勞極有功外腎而曰臍者連臍取之也北海道ニチチツブト稱スル者即チ是ナリ

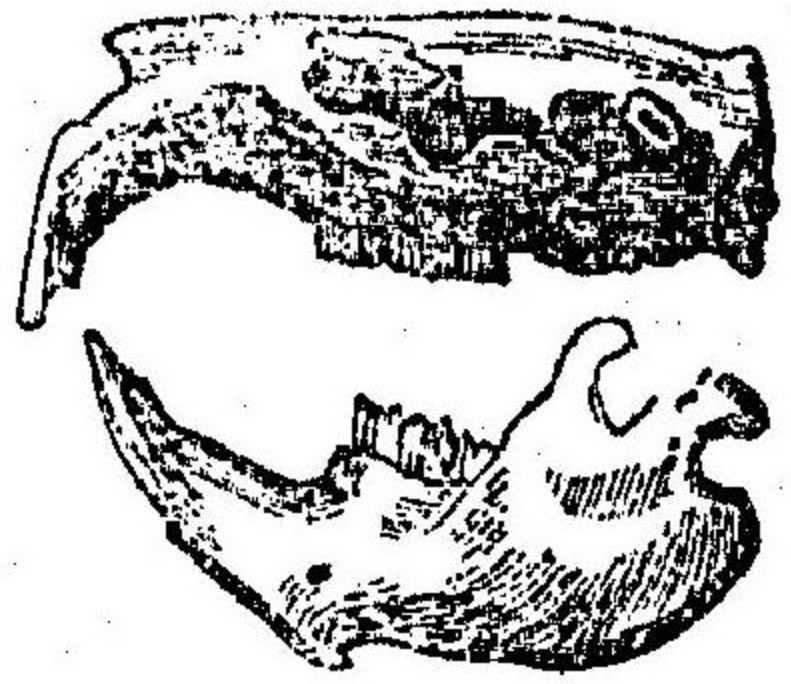
海驢 O. stelleri, Less.

北海道ニ産スル者亦是ナリ全身黃褐色ニシテ海豹ヨリモ大ナリ

第七目 齧齒類 Rodentia.

此類ノ門齒ハ其數ニ三弓曲シテ深ク齒槽中ニ嵌入シ齒根ハ管狀咀嚼面銳利ニシテ第二十圖ノ如ク鑿狀ヲ成シ唯々其前面ニノミテ珞瑯質ヲ被フリテ成長不斷ノ質アリ故ニ若シ硬物ヲ齧噬シテ漸ク其齒尖ヲ磨鈍

第十二圖



スルニ非サレバ上下ノ門齒愈々長シテ愈々向ヒ齧然相親ミテ開閉スル能ハス終ニ餓死ニ至ルヘシ彼ノ狡鼠ノ器具襍襦等ヲ齧害スルヤ翅ニ其食ヲ覓メント欲シテ之ヲ爲ニ非ス蓋シ此理アレハナリ臼齒ハ其數ニ三ヨリ六ニ至リ咀嚼面ニ珞瑯質ノ横理ヲ具ヒ物

ヲ喰ムトハ下顎ヲ前後ニ運用シテ之ヲ細小スルニ便ス是レ顯顯關節窩ノ造構他獸ニ異ナリ縱向セルヲ以テナリ鼻端尖リテ上唇ニ髭ヲ生シ毛質及ヒ耳尾肢ノ形狀種其屬ノ異ナルニ從ヒ自ラ差異アリト雖モ

多クハ五趾ヲ具ヒテ鉤爪ヲ有シ腹部ニ胝多ノ乳房アリ其胎スルヤ每
歲數回數兒ヲ乳ス其兒始ハ盲ニシテ裸生セリ種物質ヲ以テ常食トナ
シ好シテ羽族ヲ食害ス故ニ其功少クシテ其害多シト云々全地球上所ト
シテ棲息セサルノ地ナク一万六千尺ニ達スルノ高山ト雖モ尙ホ之ヲ
産ス

第一 栗鼠族

Sciurina.

四肢共ニ五趾ヲ具フレモ前肢ノ拇趾ハ其發育不全ニシテ瘡狀ヲ成シ
尾脚共ニ毛茸ヲ生セリ

(一) 栗鼠屬

Sciurus, L.

其齧齒初生ハ五回アリト雖モ上顎ノ第一齧齒ハ夙ニ脱落シ成長ノ後ハ
四回ト成ル頰部ニ嚙ヲ有セズ尾ハ長大ニシテ滿毛左右ニ分生シ鬣然ト
シテ恰モ流蘇ノ如シ其性怯懦其身輕捷ニシテ巧ニ樹木ニ攀緣ス此屬
七十種アリト雖モ其中二種ハ既ニ亡族セリ大洋洲ヲ除クノ他全地球

上ニ産ス殊ニ北亞米利加ニ多シ

栗鼠

S. his, Temm.

毛色一ナラス或ハ赤褐色ニシテ腹部ノ白キアリ又黒キ者アリ或ハ黒
色ニシテ腹部ノ白キアリ或ハ全身純白ナル者アリ夏冬多クハ其呈色
ヲ異ニシ亞細亞及ヒ歐羅巴ニ産ス不者ノ巴旦杏ヲ食ヒ青酸毒ニ中リ
テ斃ル、ト往々之アリ 齧齒類ニ屬ス好シテ小鳥ノ卵及ヒ其雛ヲ餌食
シ又用材植物 殊ニ松ノ種子及ヒ其嫩芽ヲ食害スルヲ以テ之ヲ多産ス
ルモハ培樹家ニ害アリトス然モ之ヲ幼生ニ畜養スレバ善ク人ニ馴レ
其舉動輕躁ニシテ戲技多キヲ以テ世人ノ愛玩スル所トナル冬獲ノ毛
皮ハ以テ領飾ト爲スベク夏收ノ白色ナル者及ヒ黒色ナル者ハ其價頗
ル貴シトス其尾ハ襟巾ニ長シク尾毛ハ以テ筆ヲ製スルニ宜シ

(二) 鼯鼠屬

Pteromys, Jll.

此屬夜獸ニシテ耳殼短ク齧齒五回ニシテ咀嚼面ニ珞瑯質ノ環狀紋理アリ

リ。兩脇ノ皮膚延長シテ四肢ヲ連続シ以テ飛下ヲ便ニス此属二十種アリ

鼯鼠

P. leucogenys, Temm.

尾細長ニシテ頰部ニ白斑アリ日光山ニ多シ

モ、ンガ *P. monoga*, Temm.

其体前種ニ比スレハ稍小ニシテ尾短大頰部ニ白斑ナシ亦日光山ニ産ス

三 花金鼠属

Tamias, Jll.

耳短クシテ頰部ニ嚙アリ齧齒五ニシテ前肢ノ第四趾最モ長シ此属四種アリ攀縁巧ミナラス

花金鼠

T. striatus, L.

体毛赤褐色ニシテ黒黄ノ縦線相ヒ互錯シ甚タ美麗ナリ好シテ穴居群生ス北海道ニ産スル者是ナリ毛皮ハ珍貴トナス

第二 睡鼠族

義 *Myoxina*.

其形ナ家鼠ニ類シ尾ハ栗鼠ニ似テ滿毛左右ニ分生セリ耳殼短小ニシテ皮膚裸出シ頰嚙ヲ有セス齧齒四ニシテ拇趾ニ爪ナシ性夜獸ニシテ樹上ニ棲生シ重巢中ニ冬眠ス今猶生存スル者十一種既ニ亡族セル者五種アリ

ミヤマ子ツミ 又ヤマ子 *Myoxus elegans*, Temm.

体毛赤褐色ニシテ背上ニ一黒線ヲ有シ高山ニ産ス一名フシノ子ツミト曰フ蓋シ富士山ニ多キヲ以テ此名ヲ得シナラン

第三 海狸族

Castorina.

齧齒四ニシテ後肢ハ第二十一圖ノ如ク趾間ニ蹼ヲ有シ第二趾ノ鉤爪重複セリ尾ハ扁平楯圓形ニシテ大鱗ヲ被フリ牝牡共ニ香囊ヲ有セリ北半球ニ産ス既ニ亡族セル者一種今猶生存スル者二種アリ之ヲ實用シ獵獲スルヲ多キヲ以テ現今大ヒニ其數ヲ減セリ

二 海狸屬

Castor, L.

古世界海狸

O. fiber, L. (第二十一圖)

其大サ二三尺尾ノ長サ一尺許アリ体毛褐色ニシテ或ハ黄色ヲ帯ビ或ハ赤色ヲ帯フ氈毛灰色ニシテ銀光アリ歌羅巴北亞細亞ニ産ス湖岸河



第十二圖

崖ニ穴居シ木葉樹皮及ビ樹根ヲ食フ游泳潛行頗ル巧ナレド敢テ魚類ヲ捕食スルヲナク陸行極メテ拙ナリ其巢ハ木片枯枝等ヲ以テ之ヲ經營シ粘土ヲ以テ之ヲ網纏ス冬時頼テ以テ群居セリ冬獲ノ毛皮ハ其價頗ル貴ク夏收ノ軟毛ハ以テ帽子手囊鞞等ヲ製スルニ宜シ世人以テ珍賞トナス其肉食フニ可ナリ昔時ハ頗ル之ヲ貴玩セリ牝牡共ニ其生殖器ノ邊ニ二囊ヲ有ス之ヲ海狸膠ト曰フ牝ニ

ハ。臙。牡。ニ。ハ。前。皮。中。ニ。開。口。シ。劇。臭。揮。發。性。ノ。液。ヲ。含。蓄。ス。在。昔。此。囊。ヲ。收。メ。テ。風。乾。シ。海。狸。膠。*(Castoreum)*ト稱シ以テ醫藥ニ供セリ其價頗ル貴ク其功辟香ニ亞ク此他猶ニ二囊アリ惡臭ノ脂肪ヲ包藏シ口ヲ肛門ノ左右ニ開ケリ之ヲ肛門線ト曰フ

新世界海狸

C. canadensis, Kuhl.

亞米利加中殊ニカナダニ産ス其毛皮前種ニ比スレハ稍美麗ニシテ膠囊及ビ肛門腺ヲ有スルヲ猶ホ前種ノ如シ蓋シ變生ノミ

第四 鼠族

Murina, L.

鼯鼠ニニシテ齒根ヲ有シ咀嚼面ニ突起ヲ具フ耳殼四肢尾共ニ軟毛ヲ疎生シ殆ソト裸出セル者ノ如シ滿尾小鱗ヲ生スル者アリ前肢ハ四趾後趾ハ五趾ヲ有ス

二 鼠屬

Mus, L.

尾ノ長サ多クハ軀幹ニ齊シク或ハ之ニ過長シテ鱗ヲ被フリ鱗間軟毛

ナ粗生ス北半球ニ産セリ既ニ亡族セル者十六種今猶存スル者五十餘種アリ

鼯鼠 ツラネ 又七郎チツ

M. decumanus, Pall.

其体亦灰色ニシテ腹部ハ灰白色ヲ呈シ黑色ノ長硬毛其間ニ雜生ス尾ハ軀幹ヨリ短シ北極地方及ヒ大洋洲ヲ除クノ外ハ全地球上産セサル所ナシト雖ハ原亞細亞印度ニ産ムテ初メ伯西亞ニ移轉シ「ウラル」ナ歴テ魯西亞ニ移レリ其獨乙國ニ入リシハ一千七百七十年ニシテ北亞米利加ニ播種セシハ一千七百七十五年ナリ草木子ニ曰ク群鼠擁集如山尾々相啣度江過東江東湖廣群鼠數十方度洞庭湖望四川而去夜行晝伏路皆成蹊不依人行正道皆遵道側其羸弱者走不及多道斃ト蓋シ是ナラノ常ニ人家ニ巢居シテ大害ヲ爲シ又能ク水ヲ渉ル本邦ニ産スル者多クハ是ナリ

家鼠

M. rattus, L.

其體黑褐色ニシテ腹部ハ灰白色ヲ呈シ硬毛ヲ雜生セルヲ猶鼯鼠ノ如ク尾ノ長サ身幹ニ過ク現今ハ歐米ノ諸國亦之ヲ産スト雖ハ元亞細亞ノ産ニシテ鼯鼠ニ比スレハ稍稀少ナリトス其害亦之ニ亞ク亞弗利加人ハ好シテ其肉ヲ食フト云フ

鼯鼠 ハシカネ

M. musculus, L.

其體灰黑色ニシテ腹部稍淡薄ナリ尾ハ軀幹ト其長サチ齊フシ全蹠裸出セリ全地球上人ノ聚居スル所尙モ棲生セザルナシ性輕捷ニシテ能ク飛躍シ攀緣頗ル巧ナリト雖ハ游泳甚ク拙ナリ其孕スルヤ每歲四五回四頭乃至七頭ヲ乳ス其子始メハ盲ニシテ裸生セリ

白鼠

M. minutus, Pall

其體白色ニシテ眼球赤色ナリ尾ハ軀幹ト其長サチ同フス又斑紋ヲ有スル者アリ世之ヲ玩養ス

第五 啮鼠族

Dipoda

前肢短クシテ後肢頗ル強大尾細長ニシテ尖端長毛ヲ叢生ス其狀恰モ
流蘇ノ如シ此族十六種アリ

〔一〕 蹶鼠屬 *Dipus*, Gm.

耳殼短クシテ裸出シ齧齒ハ四若クハ三ニアリ前肢ハ五趾ヲ具ヒ後肢ハ
三趾若クハ五趾ヲ有ス

蹶鼠 *D. jaculus*, Gm.

耳殼ハ頭部ヨリ長クシテ其尖ヲ白クシテ全体黃灰色ニシテ後脚ニ黑色
ノ縦線アリ尾ノ長サ身幹ニ一倍有半セリ魯西亞ノ南部ニ産ス

〔二〕 跳兔屬 *Petales*, Jll.

耳長クシテ毛茸ヲ生シ齧齒ニ四アリ前肢ハ五趾ヲ具ヒテ大ナル鉤爪ヲ
有シ後肢ハ四趾ニシテ其爪蹄ニ似タリ此屬一種アリ

跳兔 *P. caffer*, Pall.

體毛煤褐色ニシテ尾尖黑褐色ヲ呈セリ喜望峯ニ産ス夜獸ニシテ常ニ

穴居シ一躍スレハ二三丈ノ距離ニ達ス其肉喰フヘシ

第六 豪猪族 *Acanleata*.

滿身豪刺ヲ生シ齧齒ニ四アリ尾趾ノ形狀均一ナラス熱帶地方ニ産ス性
夜獸ニシテ根果ヲ好ム四属アリ鎖骨全カラズ

〔一〕 豪猪屬 *Hystrix*, L.

前肢ニ四箇ノ強大ナル鉤爪ヲ具ヒ以テ穿壤ニ便ス後肢ニ五趾アリ尾
短ク刺長ク化粧常ニ一穴中ニ雙棲ス此属五種アリ今其一種ヲ掲ク

豪猪 *H. cristata*, L.

頰部ニ硬直ナル長毛アリ項背ノ棘鬃筆管ノ如ク細長ニシテ白色及ヒ
黑褐色ノ輪斑各互ニ交錯ス其長サ一尺ニ近ク中空棘端ニ貫ケリ激怒
スレハ則チ森立シテ憂々ノ聲アリ南歐羅巴及ヒ亞弗利加ニ産ス其棘
ハ以テ筆管ヲ製シ又以テ楊枝ト爲ヘシ肉ハ食フニ可ナリ羅馬人ハ之
ヲ調理シテ他國ニ輸出ス

第七 兔族

Leporina.

門齒ハ下顎ニ二枚上顎ニ四枚アリ其中一枚ハ潤大ニシテ前ニ位シニ一枚ハ細小ニシテ其後ニ在リ齧齒ニ耳長クシテ短尾ノ者アリ或ハ無尾ノ者アリ前肢ハ短小ニシテ五趾ヲ具ヒ後肢ハ長大ニシテ四趾ヲ有ス性怯懦ニシテ單ニ植物ノ類ヲ喰フ多クハ夜獸ナリ大洋洲ヲ除クノ他全地球上ニ産ス

(一) 兔屬 Lepus, L.

後肢ハ前肢ニ二倍シ上唇ノ中央缺裂シテ口腔ノ内壁ニ茸毛アリ鎖骨全クカラム尾ハ短小ニシテ流蘇ノ如ク長毛毳生シテ上反セリ該屬中既ニ亡族セル者四種今猶ホ存スル者三十一種アリ

山兔 *L. timidus, L.*

其牡ハ牝ヨリ大ナリ耳殼ハ頭首ヨリ長クシテ其尖ヲ黒フシ尾ノ上側亦黒色眼大臉小ナルヲ以テ睡著スルモ猶ホ魚眼ヲ成セリ視感鈍シト雖

其鼻聽ノ兩感頗ル敏聰ナリ行走趨々山ニ上ル快速ニシテ其下ル甚ク遲拙怒レバ則チ地ヲ搏ツ古世界ノ温帶地方ニ産ス山野林牧ノ間ニ棲息シ冬時樹皮ヲ嚙食スルヲ以テ養樹家ニ害アリ其肉頗ル美味ニシテ毛皮亦佳品ナリ冬獲ノ毛ハ以テ毛帽ヲ製スルニ良シク其皮ハ以テ膠ト成スベシ昔時其脂肪及ビ後脚ヲ以テ藥用ニ供セシヲアリ又其糞ヲ明月沙或ハ望月沙ト稱シ藥科ニ用ヒシヲ本草綱目ニ見ヒタリ本邦ニ産スル者ハ之ヲ *L. brachyurus*, Temm. ト稱シ以テ本種ト區別セリ

熟兔 *L. cuniculus, L.*

耳ハ頭ヨリ短クシテ殼背其尖ヲ黒フシ頂門煤黃色ニシテ尾ノ上側黒色ナリ其家養ニ係ル者ハ變種多シ其胎スルヤ一歲四五回凡ソ一月ニシテ四頭乃至八頭ヲ乳ス之ヲ推算スルコト一牝ノ産スル所四年ニシテ百二十頭ノ多キニ至ル其毛皮ノ黒色ナル者ハ以テ毛帽ヲ製スベク白色ナル者ハ以テ「ヘルメリ」皮ヲ偽製スルニ用フ

第八目 貧齒類

Edentata s. Bruta.

其齒根ノ形齒冠ニ等シシテ管狀ヲ成シ成長不斷ノ質アリ年ヲ閱ルモ

更脱スルヲナシ琺瑯質ヲ有セズ門齒及ヒ犬齒ハ全ク

闕如シ又齶齒ヲ有セザル者多シ故ニ此名アリ第二十

二圖ヲ見ヨ鉤爪區長ニシテ趾節骨ニ癒著シ其銳以テ

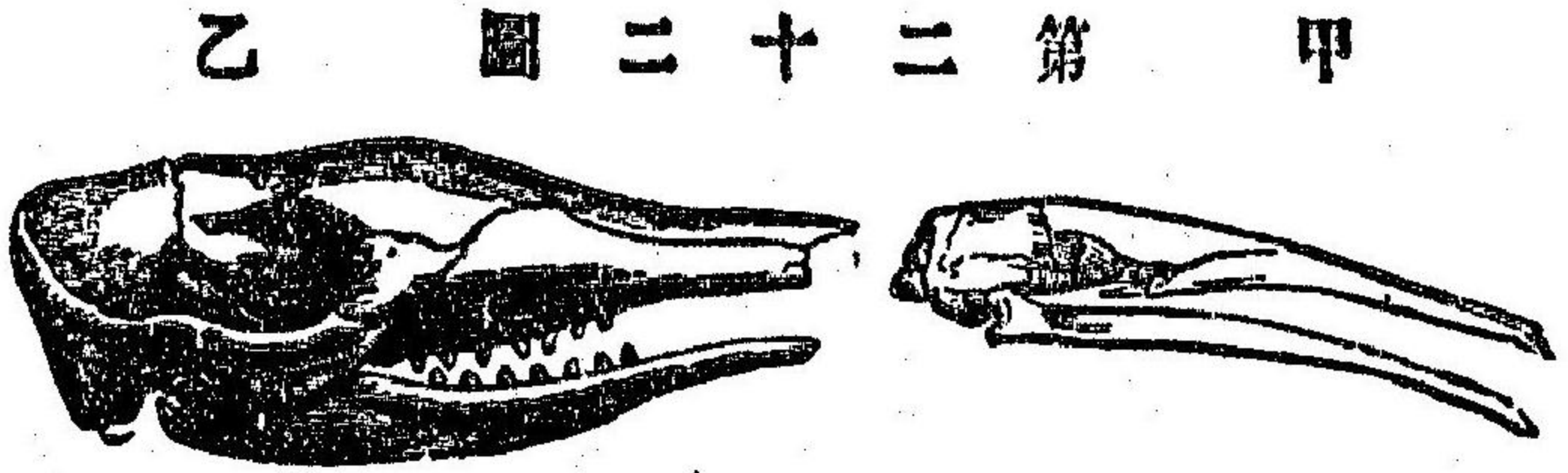
弱肉ノ難ヲ免カル、ニ足ル性痴懶植物ヲ以テ飼トス

ル者アリ或ハ虫類ヲ食スル者アリ或ハ之ヲ併食スル

者アリ

第一 樹懶族 *Bradyroda.*

圓顔短喙猴ニ似テ門齒ヲ有セス體格胖肥ニシテ硬直
ノ長毛ヲ生シ胸ニ二箇ノ乳房ヲ有ス前肢ハ長ク後肢
ハ短ク鉤爪長大ナリ閑散無爲ナレハ鉤爪ヲ内向ス北
亞米利加ノ熱帶地方ニ産ス性蠢愚ニシテカアリ概テ



甲 乙 第二十二圖

夜獸ニシテ常ニ樹梢ニ棲息シ晝日懸倒シテ俸色ヲシ進止輕快樹上ヲ
緣轉スルヲ恰モ地ヲ行クカ如ク常ニ樹葉ヲ食シ地ニ下ルヲ稀ナリ
其行歩ノ遅々タル動物中ニ最ク其乳スル一頭平時之ヲ負背セリ其
肉食フベク其革甚ク柔軟ナリ

(一) 樹懶屬 *Bradypus, L.*

齶齒ハ四ニシテ前齒ナク犬齒アリト雖モ細小ナリ尾短小ニシテ四肢
共ニ三箇ノ鉤爪ヲ具ヒ前肢長太ニシテ後肢ニ二倍ス其行ク緩々ナリ
常ニ樹上ニ生活シテ木葉ヲ食フ此屬四種アリ今其二種ヲ掲ク

B. tridactylus, L.

第二十三圖



其狀第二十三圖ノ如シ頸椎骨九
箇アリ(ブラシリヤ)ノ東岸ニ産ス
全體黃灰色ニシテ面部暗色ヲ帶
ヒ頸部ノ兩側ニ黑線アリ背上暗

色ニシテ左右淡斑ヲ具フ

B. torquatus, Jll.

頸椎骨八箇アリ頂門ニ長黒毛ヲ生ス「アラシリヤ」ノ東部ニ産ス

(二) 大樹懶屬 *Choloepus*, Jll.

齒數前屬ノ如クニシテ犬齒稍強大前肢ハ二爪ヲ有シテ長ク後肢ハ三爪ヲ具ヒテ短シ此屬唯一種アルノミ

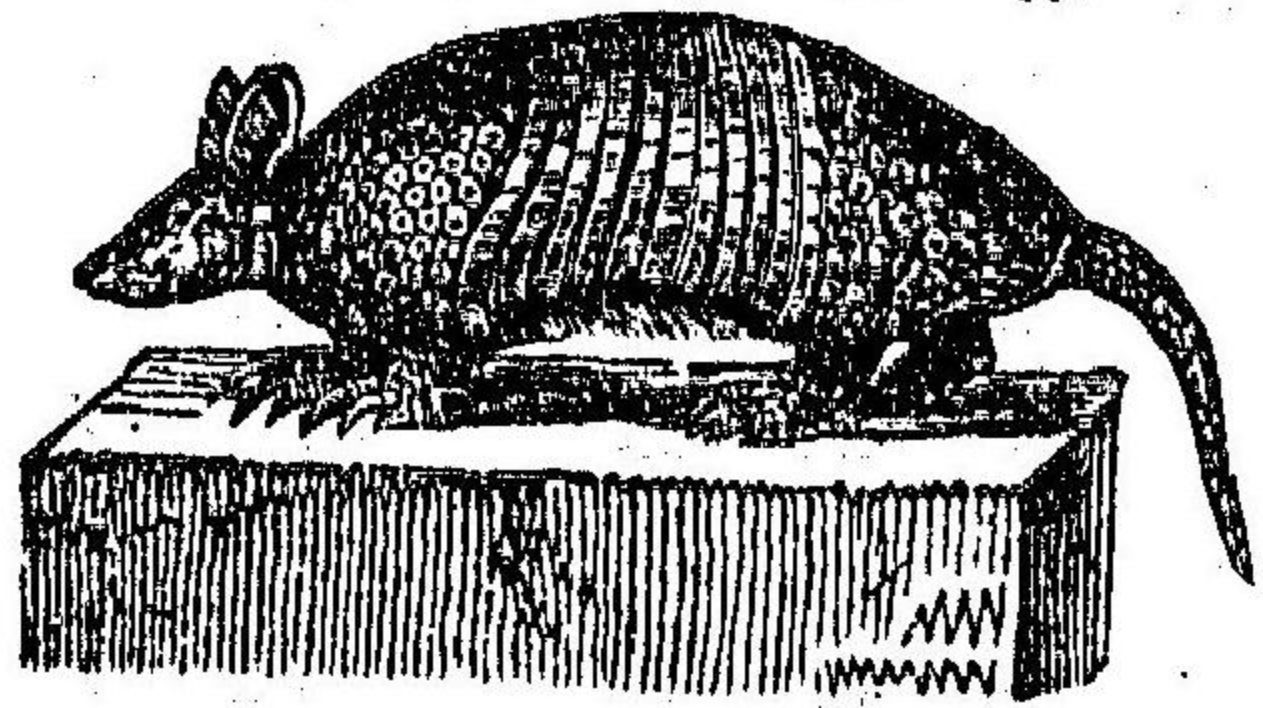
大樹懶 *Ch. didactylus*, L.

全身灰褐色ニシテ長毛ヲ生シ尾ヲ有セス北亞米利加ノ北部ニ産ス其行歩前種ニ比スレハ稍快速ナリ

第二 犰狳族 *Cingulata* s. *Dasyпода*.

其體形第二十四圖ノ如ク口喙長尖ニシテ胴部ニ角質若クハ革質ノ甲ヲ圍繞セル「恰モ帶鎧セル

第二十四圖



者ノ如シ前肢ノ鈎爪ハ特ニ強大ニシテ穿隧ニ便シ以テ穴巢ヲ營ム其齒第二十二圖乙ノ如クニシテ昆蟲及ヒ髓肉ヲ食シ南亞米利加ニ産ス殊ニ「ブラザノヤ」ニ多シ此族ニ屬十六種アリ其内二種ハ既ニ亡族セリ今其一屬一種ヲ掲ク

(一) 犰狳屬 *Dasypus*, L.

甲、齒及ヒ前肢ノ爪ハ其種ノ異ナルニ從ヒ其數ヲ異ニス性閑適ヲ愛シ樹懶ニ比スレハ稍小慧ナリ山樾野藪ノ間ニ住シ群居スルヲ好マス馬ヲ畏ル、ヲ以テ常ニ穴中ニ潜居シ黄昏ヨリ出テ、昆蟲ヲ食ス特ニ蟻ヲ好ム其甲ハ以テ提籃ト爲スベシ

犰狳 *D. bigas*, C.

齒ハ^{四十二}若クハ^{六十二}ニシテ前肢ニ五趾ヲ具ヒ其甲帶方ニシテ十三列ニ縹環シ尾ニ鱗アリ南亞米利加ノ熱帶地方ニ産ス希ナリ

第三 長舌族 *Vermilingua*.

其口喙延長シテ管狀ヲ成シ喙尖ニ小口アリ舌ヲ吐テ蟻ヲ誘ヒ一紙以テ數十頭ヲ食フ齧齒ヲ闕如スル者アリ偶々之ヲ具フル者アルモ其質纖維狀ヲ成ス其體或ハ毛茸ヲ生スル者アリ或ハ角質ノ鱗ヲ蒙ムル者アリ亞細亞亞弗利加及ヒ亞米利加ニ産ス既ニ亡族セル者二種猶存スル者三屬十三種アリ今其二屬二種ヲ掲ク

〔二〕 食蟻屬 *Myrmecophaga*, L.

全體長毛ヲ蒙リ耳短クシテ齒ヲ有セサルヲ第二十二圖甲ノ如シ南亞米利加ニ産ス既ニ亡族セル者二種今猶存スル者四種アリ其肉羹ニシテ毛皮ハ撥練ヲ製スルニ良シ

大食蟻 *M. jubata*, L.

其體矮小頭部灰褐色ニシテ全身黑白ノ斑ヲ具ヒ口喙長尖ニシテ舌ヲ吐ケハ一寸五分ニ至ル南亞米利加ノ東部ニ産ス性怯懦ニシテ魯鈍其行クヤ徐々ト好テ昆虫ノ類ヲ食ス故ニ農家ニ益アリ

〔三〕 蝮鯉屬 *Mania*, L.

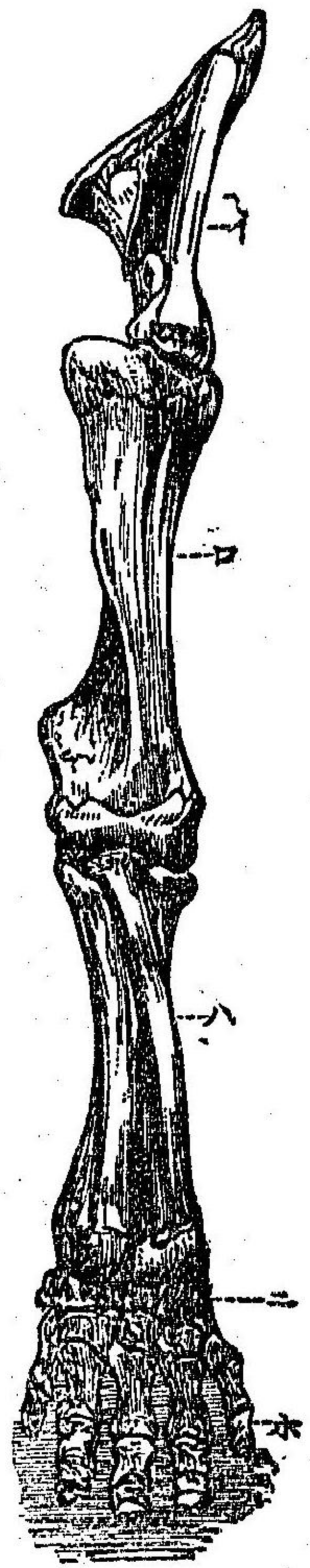
口ニ齒ヲ有セテ全體角質ノ甲ヲ鱗列ス故ニ歐洲ノ學士モ昔時ハ誤テ之ヲ石龍子ノ屬ト爲シ本草綱目ニハ之ヲ鱗虫ノ屬ニ列セリ其行緩徐穴居ス亞細亞及ヒ亞弗利加ニ産ス都テ七種アリ其肉食フ可シ

蝮鯉 *M. pentadactyla*, L.

印度ニ産ス稀ナリ其甲ヲ醫藥ニ供スルヲ本草綱目ニ見ヒタリ時珍曰其形肖鯉穴陵而居故曰蝮鯉俗稱爲穿山甲郭璞賦謂之龍鯉臨海記云尾刺有三角菱故謂石蝮蓋是ナリ

第九目 多蹄類 *Multungula* s. *Pachydermata*.

圖五十二第



(イ) 肩胛骨 (ロ) 大腿骨 (ハ) 下腿骨 (ニ) 跗前骨 (ホ) 趾節骨

其体概チ強大皮○膚○重○厚○ニシテ硬毛ヲ生シ大頭細眼頸項短大ニシテ幅
 幹肥滿セリ四肢矮短三趾○乃至五趾○第二十五圖ヲ見ヨヲ具ヒテ蹄ヲ有シ鎖骨ヲ
 缺如ス鬐髀ノ形狀及ヒ列齒共ニ均一ナラス好シテ濕澤ニ住シ概ムテ
 植物ヲ以テ食料トナス故ニ其齒ハ區大ニシテ咀嚼面ニ珞瑯質ノ紋
 理ヲ有セリ熱帶地方ニ産ス最モ古世界ニ多シ自北緯七十五度最大ナ
 半至南緯四十度ル者ハ南亞弗利加ニ産ス性魯鈍ニシテ多クハ人ニ馴レ易シト雖也之
 ナハ激スレハ頗ル狂乱ス陸生哺乳動物ノ大ナル者皆ナ之ニ屬ス

第一 象族 Proboscidea.

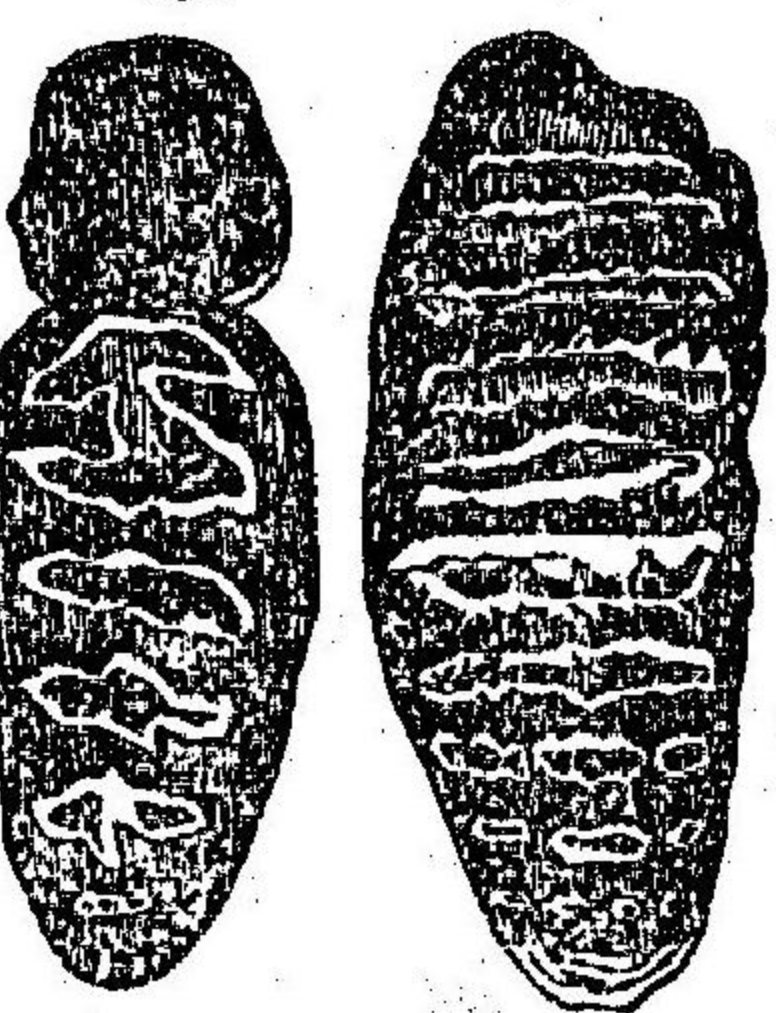
其鼻長大ニシテ管狀ヲ成シ門齒○吻外ニ挺出ス四肢共ニ五趾○具ヒ皮ア
 リ之ヲ包絡シ全蹄ヲ露出シテ地ヲ踏ノリ此族三屬十九種アリト雖也
 其二屬ハ既ニ亡族今猶生存スル者一屬アリ

(一) 象屬 Elephas, L.

其體擁腫其鼻長大五尺ヨリ八尺ニ至ル下垂シテ地ニ達シ嗅觸ノ二器

ヲ兼具ス飲食一ニ鼻ヲ以テシ彎卷シテ之ヲ口頭ニ送入ス其屈伸縱橫
 ナル恰モ人ノ臂ヲ使フガ如シ又以テ護身ノ具ト爲セリ一搏能ク猛獸

第二十圖 甲 乙



ナ瘡大鼻端ニ一小突起部アリ其作用ノ自
 在ナル恰モ人指ノ如ク能ク針芥ヲ拾フ犬
 齒及ヒ下顎ノ門齒ナク上顎ニ二門齒アリ
 長ク吻外ニ突出シテ鼻ヲ挾在大其長サ壯

ニ六七尺靴ニ尺餘アリ最大ナル者ハ重サ百八十磅ニ至ル齒齒ニ第二
 十圖ノ如ク交互ニ愈著シテ一片ヲ成シ咀嚼面ニ花紋ヲ有シ漸ク磨消
 スレハ漸ク更生ス其生期約チ二百有餘年其胎スルヤ凡ソ二十ヶ月乃至
 二十二ヶ月ヲ以テ一乳ス古訓曰五歲始産六十年骨方足ト此屬ハ獸中
 ノ至大ナル者ナリト雖也性溫柔ニシテ人ニ親馴レ易ク五官靈敏ナレ
 也犬ノ穎捷ナルニ如カス之ヲ飼フ久シケレハ則チ能ク人言ヲ解ス故
 ニ之ヲ産スル地方ニ於テハ養テ以テ服重セシメ貴人ハ之ヲ裝飾シテ

駱乘ト爲シ象奴ヲシテ之ヲ牧セシム之ヲ製スルコ前肢ヲ鉤スレハ命ノ如クナラサルナシ又之ヲ軍旅ニ用フ其力六馬ニ勝レリ故コ其能ク馴養セシ者ハ其價極メテ貴シ常コ群居ヲ好ミ林野ニ棲息ス一群五十頭乃至二百頭每群ニ長アリ之ヲ部督シ群象其後ニ擁隨シテ行止一ニ其命ニ遵服スル者ノ如シ離群セル者ハ狂暴ニ人ヲ害ス或曰ク一千八百四十三年ノ頃セーロン島ニ於テ之ニ死スル者十三人アリシト土人ノ之ヲ捕獲スルヤ或ハ机穿ヲ設ケテ之ヲ陷リ或ハ涼ヲ以テ之ヲ路ニ要シ其足ヲ縛ス又牝象ヲ以テ之ヲ誘獲スルコアリ樹葉及ビ五穀ノ類ヲ食スルカ爲コ農家往々此害ヲ受ルコアリ其家飼スル者ハ胎孕スルコ稀ナルト其食費スル所一日コシテ米一百磅果實枯葉ノ類一百磅ヲ要シ其飼費ノ多額ナルトヲ以テ爾來之ヲ飼養スル者漸ク減少シ亞弗利加ノ如キハ絶テ養用スル者ナキニ至レリ上昔ハ全地球上所トシテ之ヲ産セザルノ地ナカリシモ多クハ皆ナ亡滅シ現今ハ唯亞細亞及

ビ亞弗利加ノ兩大洲ニノミ生存セリ其既ニ亡族セル者十三種今猶存スル者二種アリ其體毛并ニ短且ツ疎コシテ無カ如シ前齒ハ之ヲ象牙ト稱ス以テ百般ノ器具ヲ製スヘシ世之ヲ實用スル者多シ其亞細亞産ニ係ル者ハ之ヲ亞弗利加産ニ比スレバ稍短小ナリト雖其質純白ナルヲ以テ上品トス往々地中ニ掘出スル者アリ之レ「マンムート」ノ牙ナリ其皮ノ革シタル者象皮ト謂フ其質頗ル柔軟ナリ「ホツアット」ト國ノ人民ハ其肉ヲ食フ

亞細亞象

E. indicus, L.

其體一丈二尺ヨリ一丈六尺ニ至リ高サ八尺ヨリ一丈二尺ニ達ス重サ七千磅アリ亞弗利加産ニ比スレバ其耳稍小ニシテ齧齒ニ横走波濤狀ノ玃椰紋理ヲ呈スルコ第二十六圖甲ノ如ク印度ニ産ス

亞弗利加象

E. africanus, Bihel.

其體多クハ一丈或ハ一丈八尺ニ達スル者アリ高サハ一丈ヨリ一丈二

尺ニ至ル其耳大ニシテ幾ノト前種ニ倍シ齶齒ノ咀嚼面ニ菱形ノ珐瑯紋理ヲ有スルヲ第二十六圓乙ノ如シ亞弗利加北緯十六度乃至十八度ニ産ス

マンムート *F. primigenius, Bibeh.*

其牙一丈ヨリ一丈五尺ニ至リ上向シテ鈎曲ス其最大ナル者ハ重サ四十八磅ニ至ル該種ハ既ニ亡族セリト雖俗傳ニ據レバ猶地下ニ生活スト云フ其說荒唐信スルニ足ラスシベリヤニ於テハ其齒ヲ掘出シテ盛ニ之ヲ貿易品ト爲セリ一千八百〇六年シベリヤ人「アダムス」ナル者「レナ」ノ河口ニ於テ該獸ノ冰海中ニ凍死セル者ヲ發見セヨリ始テ其全形ヲ知ルヲ得タリ今猶「ペーテルナルヒ」ノ博物館ニ在リ全體五寸餘ノ軟毛ヲ密生シ背上ノ硬毛鬃々トシテ乱生セリ按スルニ上古ハ本邦ニ於テモ亦之ヲ産セリ今ヲ距ルヲ十餘年前佛人「ドクトル」サハナー「氏」相州横須賀ニ於テ其下顎二枚ヲ掘得シ又五年前江州琵琶湖ニ於テ幾

ノト全體ノ骨格ヲ得タリ以テ證スヘシ

第二 海馬族 *Obesi.*

其體擁腫毛ヲ生セス脚短大ニシテ坦腹幾ノト地ニ貼ス口喙豐潤門齒ハ四圓柱形ニシテ其下顎ニアル者ハ前傾シ犬齒強大ニシテ二齶齒ニカアリ亞弗利加ニ産ス

河馬 *Hippopotamus amphibius, L.*

其體黒褐色ニシテ長サ一丈一二尺高サ六七尺重サ三千磅強アリ亞弗利加ノ高陸ニ産シ好シテ大湖洪河中ニ棲息ス昔時ハ「コール」河ニ多カリシカ現今ハ大ニ其數ヲ減シ唯其上流ニ於テノニ罕ニ之ヲ見ルヲアリ日中ハ好シテ水底ニ潜伏シ時々水泡ヲ嘘キ又鼻頭ヲ露出シテ牛鳴スルヲアリ植物質ヲ以テ食料ト爲シ夜間上陸シテ五穀ヲ害ス若シ之ヲ哄激スレハ反テ人ヲ害ス其肉量ハ四牛ノ肉ト均シク其味美ナリト雖尾唇舌ノ最美ナルニ如カス皮ノ厚サ二寸以テ鞭ヲ製スルニ良シ犬

齒純白コシテ長サ一二尺重サ六磅アリ最モ鋭。齒ヲ製スルコ宜シ

第三 猪族

Setigera.

其體肥大コシテ硬毛ヲ生シ頭部尖長コシテ鼻喙象鼻ニ類シ耳殼潤大
コシテ眼目細小ナリ犬齒強大コシテ左右ノ齶齒駢列シ中央ノ二趾ヲ
以テ地ヲ踏ミ第一及ビ第四趾ハ短小コシテ趾尖纒ニ地ニ踏ス之ヲ距
ト謂フ性頑愚コシテ爭氣アリ好メテ濕土ニ居リ飲食ヲ擇フコナシ其
性繁殖シ易ク其肉美味ナリ

〔一〕 猪属

Sus, L.

其列齒
コシテ犬齒ハ其基礎部三隅形ヲ成シ其上
顎コアル者亦逆向セリ尾ハ細短コシテ緩卷ス既ニ亡族セル者十一種
今猶存スル者六種アリ皆古世界ニ産ス

豕

S. scrofa domestica, L.

該種ハ歐羅巴産ノ野猪(S. scrofa)及ビ印土産野猪(S. indicus)ノ變生コシ

テ身幹ノ大小脚ノ高低及ビ毛色耳形等一ナラズト雖モ其體皆ナ肥大
コシテ往々不具ノ者アリ其脂肪コ富メル哺乳動物中ノ最モシテ肉甚
ダ美ナリ其胎スルヤ毎歳二回六頭乃至十二頭ヲ乳ス多キ者ハ往々二
十頭コ及ベリ五年コシテ骨方ニ足ル生期凡ソ二十年其食料ト爲ス者
ハ二歳ヲ以テ之ヲ屠ル之コ奇生スル者五種アリ其中人コ傳播シテ疾
病ヲ醸成シ甚シキハ往々人命ヲ殞スルニ至ル者アリ肉、脂肪、血液、腦、肝
臟、腸管等ハ最モ食用ニ宜シク其毛皮野猪コハ拭鞣鹿ヲ製シ皮ハ以テ革
コ毛ハ以テ刷子及ヒ筆ヲ製スベシ膨脹ハ以テ襪口ノ外絨ト爲シ犬齒
ハ物ヲ摩滑スルノ器ト爲スベシ其糞ハ肥料ニ用ヒテ効アリ

野猪

S. leucomystax, Temm.

山中コ多シ其形家猪ニ似テ全身黒褐色ナリ老ナル者ハ半ノ如ク其
牙銳利コシテ鎌刃ノ如シ怒レハ則チ人ヲ傷ツク春夏ノ交夜間出テ田
畝ヲ害シ冬時ハ深山コ入テ蟄穴ス其肉亦頗ル美ナリ其膽熊膽ニ似タ

ルヲ以テ之ヲ偽製スル者アリ

第四 對不趾族 Anisodactyla.

其趾奇數ニシテ中犬齒短ク或ハ之ヲ缺如セル者アリ

(一) 貊屬 Tapirus, L.

其鼻第二十七圖ノ如ク少シク延長シテ象鼻ニ類シ屈伸自在ナリ門齒
ニ六齒齒七ニ六犬齒ハ二ニコシテ小ナリ前肢ニ四爪ヲ具ヒ後肢ニ三爪ヲ具フ

既ニ亡族セル者六種今猶存スル者三種アリ亞細亞
及ヒ亞米利加ニ産ス池沼邊ノ深林中ニ群居シ夜間
出テ木葉果實ヲ食フ性温和ニシテ人ニ馴レ易ク游
泳潛行最モ巧ナリ

貊 F. indiens, L. (第二十七圖)

其大サ七八尺高サ三尺餘全身黒褐色ニシテ灰白色ノ斑アリ腹背ヲ環
クル「マラッカ」及ヒ「スマトラ」ノ深林中ニ産ス



第七十圖

(二) 犀屬 Rhinoceros, L.

鼻上ニ一乃至二箇第二十八圖ノ突起部アリ纖維質ヨリ成リテ硬毛ヲ
生ス其狀恰モ角ニ似テ其大サ及ヒ色形共ニ一様ナラサレモ牝ニハ細

長ニシテ牡ニハ短大ナルヲ常トス其長キ者ハ
三尺ニ至ル以テ善ク樹皮ヲ穿剝スト雖モ他獸
ノ角ノ如ク相格闘スル能ハス門齒ハ小ニシテ
四若クハ三ニナル者アリ或ハ之ヲ闕如スル者ア
リ前齒ハ七ニシテ犬齒ナシ皮膚緊厚ニシテ角
質ヲ帶ヒ幾ント裸出セル者ノ如ク四肢皆三趾

第八十二圖



ヲ具フ亞細亞及ヒ亞米利加ニ産ス六乃至十八頭一羣ヲ成シテ濕陰ノ
地ニ棲息シ木葉ヲ以テ食料トス其大サ象ニ亞シ性頑愚ニシテ馴レ難
ク人ヲ見レハ則チ倉皇逃竄ス然レモ之ヲ敵視スル者アレハ將ニ之ヲ
抗擊スルノ勢アリ其肉食フヘク其皮ノ堅厚ナル獸皮ノ巨擘ニシテ鐵

鞭杖等ヲ製スルニ宜シ角ハ以テ酒觥ヲ製スベシ土俗曰ク此觥酒中ニ
鴆毒アレハ忽チ沸沫濺溢シ以テ能ク其禍ヲ免カテシムルノ奇効アリ
ト故ニ愚民ハ千金ヲ抛テ之ヲ競購シ以テ至寶ト爲セリ妄誕笑フベ名
クシ既ニ亡族セル者九種今猶ホ存スル者七種アリ大率地名ヲ以テ之ヲ
今其二種ヲ掲ゲテ之ヲ例ス

印度犀 Rh. indicus, C.

其大サ一丈二尺高サ六七尺鼻頭ニ一角アリ長サ二三尺ニ至ル故ニ又
一角犀 [Rh. unicornis, L.] ト云フ其皮堅厚コシテ皺襞多ク全身ニ粟瘤ア
リ粟眼ヲ具フ其狀一ナラズ亞細亞ノ大陸ニ産ス殊ニ「ベンガル」ニ多
シ交尾ノ期コアラザレハ牝牡相偶居スルコトナク性温和コシテ争氣ナ
ク世之ヲ象ノ敵讐ナリト云フ者アレハ信ズルニ足ラズ

亞弗利加犀 Rh. africanus, Camp. [第二十八圖]

其大サ前種ニ似タリト雖モ高サ五尺ニ及ハス鼻頭ニ二角アリ故ニ又

二角犀 [Rh. bicornis, L.] ト云フ其長サ同カラズ其皮堅厚ニシテ皺襞甲
板ニ似タリ口喙僅ニ突出シテ其狀恰モ龜頭ノ如シ南亞弗利加ニ産ス
性兇暴コシテ往々人ヲ害スルコトアリ

第十目 單蹄類 Solidungula.

此類一族一属アリ其中趾頗ル發育シテ趾端ニ大蹄ヲ蒙リ以テ地ヲ踏
ムコト第二十九圖ノ如シ其
左右ノ二趾ハ發育不全ニ
シテ皮下ニ伏匿セリ性活
潑ニシテ植物ヲ食ス亞細亞及ヒ亞弗利加ノ温熱兩帶ニ産シ群居ス

第二十九圖



〔イ〕蹄前骨
〔ロ〕趾節骨

第一 單蹄族 Solidungula.

〔一〕 馬屬 Equus, L.

門齒六アリ犬齒ハ二小ニシテ牝ハ概テ之ヲ關知シ牡モ亦或ハ之ヲ關
知スル者アリ其形驍魁ニシテ鬣多ク其性勇悍多力ナリ原野ニ生息シ

怒レハ即チ鬮蹠ス既ニ亡族セル者八種今猶存スル者六種アリ

馬 *E. cadalus, L.*

全尾渾テ長毛ヲ生スルヲ以テ他ノ五種ト區別ス其生期約チ三十四年
 專ヲ任重致遠ノ勞ヲ負フ凡ソ十五年乃至二十五年トス壯馬ヲ騰ト
 曰ヒ牝馬ヲ陰ト曰フ其孕スルヤ凡ソ五十週間ニシテ分娩シ四箇月乃
 至六箇月ノ間之ヲ乳ス此間始メテ門齒ヲ生ス之ヲ乳齒ト曰フ其中
 ノ二齒ハ二年半兩鄰ノ二齒ハ三年半又其兩旁ノ二齒ハ四年半ニシテ
 交脱ス故ニ五歲マテハ之ニ由テ以テ其齡ヲ卜知スルヲ得ヘシ時珍曰
 一歲曰驥二歲曰駒三歲曰駢四歲曰駘說文ニハト門齒ノ咀嚼面ニ橢圓
 形ノ凹窠アリ黑褐色ヲ呈ス其緣漸ク鎖磨シ八九年ヲ閱テ其窠全ク消
 亡ス其鎖磨ノ度ヲ以テ亦其年ヲ卜知スルヲ得ベシ爾後其齡ヲ知ル甚
 タ難シトス故ニ伯樂ハ鑿ヲ用ヒテ老馬ノ齒窠ヲ穿テ以テ世人ヲ欺ク
 一アリ宜ク注意スヘシ全地球上所トシテ之ヲ産セサルノ地ナシ皆チ

欠

MISSING

隔膜アリ分レテ二管ヲ成ス胃腑ハ第三十二圖ノ如ク四○囊ヨリ成ル瘻○
 胃○蜂○窠○胃○重○瓣○胃○皺○胃○是ナリ甲ハ最大ニシテ其裏面ニ圓錐形ノ瘻ヲ比
 列シ乙ハ稍小ニシテ裏面ニ蜂窠狀ノ皺ヲ具ヒ丙ハ最小ニシテ瓣狀ノ
 皺ヲ具フ其瓣數羊ニ四十枚牛ニ百枚アリ丁ハ眞宰ノ胃ニシテ裏面ニ
 小皺ヲ具ヒ以テ腸管ニ通ス但驢獸、駱駝及ヒ羊駝ハ此重瓣胃ヲ闕如ス
 乳兒ハ唯其皺胃ヲ具フルノミニシテ他ノ三胃ハ之ヲ闕クモ其長スル
 ニ隨テ漸ク完具ス植物質ヲ以テ食料ト成ス反○芻○ノ○性○アリ其哺スルヤ
 一嚙シテ之ヲ嚥下シ以テ甲胃ニ送リ漸次之ヲ乙胃ニ移シ良久シテ食
 ヲ欲スレハ則チ反芻シテ細ク之ヲ哺嚼シ再ヒ嚥下シテ丙胃ニ達セシ
 メ其漸ク丁胃ニ至ルコ及ンテ全ク消化シ之ヲ腸管ニ送ル牛ニハ此作
 用ヲ齡又飼ト云ヒ羊ニハ雌又騾ト云ヒ麋鹿ニハ齒ト云フ但飲料ハ直
 ニ重瓣胃ニ達ス胃中ニ毛球石塊等ヲ有スル者徃々之レアリ漢土ニ牛
 黃○或○ハ○鮮○苔○ト稱スル者蓋之レナリ腸管ノ長キ全体ノ十二倍ヨリ廿八

倍ニ至ル羊膺其長キニ居レリ多クハ額上ニ角ヲ有ス牡ニハ大ニシテ
 牝ニハ小ナリ性魯怯ニシテ動スレハ怒リ易シ大洋洲ヲ除クノ外全球
 上ニ産ス亞弗利加ハ其三分ノ一強ニ居レリ多クハ群生シ一回一二頭
 ナ乳ス其多功ナル實ニ獸中ノ魁ナリ世人多クハ之ヲ家養シ或ハ騎乘
 ニ用ヒ或ハ負重ニ用フ其乳肉脂肪腸管角毛皮剪毛等ハ以テ醫藥食用
 及ヒ百工ニ用フ既ニ亡族セル者凡ソ一百有十九種今猶存スル者凡ソ
 一百有七十七種アリ角ノ有無及ヒ其質造構等ニ由リテ之ヲ分族スル
 一左ノ如シ

第一 駱駝族

Tylopoda.

疣足獸ノ
義ナリ

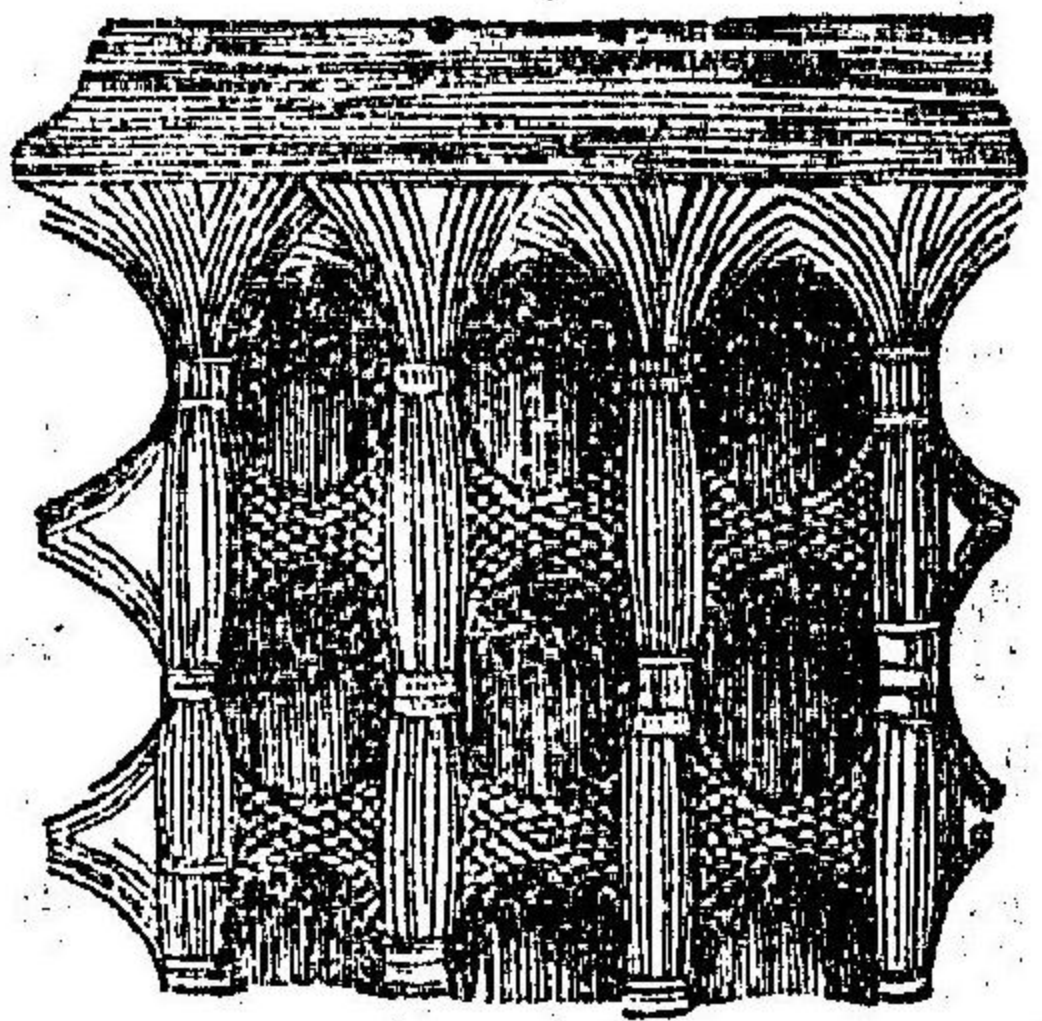
頭ニ角ナク足ニ距ナシ門齒ニ六犬齒ニニニシテ齧齒ハ各自其數ヲ異ニシ
 缺口ニシテ長頸重瓣胃ハ最小無カ如シ

〔二〕 駱駝屬

Camelus, L.

齧齒ニ六老駝ハ上下各一ヲ脱ス其足形人足ニ似テ小雙蹄ヲ具ヘ蹠甚タ

第三十三圖



厚ク背上ニ一乃至二箇ノ肉峯アリ隆起シテ封土ノ如ク又鞍形ノ如シ
 北亞弗利加及ヒ亞細亞ノ沙漠ニ産ス二種アリ性溫柔ニシテ能ク事ニ
 耐ヘ食少シト雖モ力能ク重ヲ負フ水ヲ飲サル數日乃至八日ニシテ猶モ能
 ク其歩程毎日二三十里ヲ致ス故ニ沙漠ノ人民ハ之ヲ役ニシテ或ハ駄ニシ

或ハ騎ニシテ或ハ巨砲ヲ駕スルヲ猶モ本邦ノ牛
 馬ニ於ルガ如シ之レ他ナシ唾腺ノ頗ル發
 育セルト第三十三圖ノ如ク胃中ニ大胞在
 リテ常ニ液汁ヲ分泌シ以テ能ク食餌ヲ濕
 泥スルトニ由ルナリ或ハ云フ一種ノ貯水
 胃アリ一飲會テ其味ヲ變スルヲナシ旅客

水盡レハ則チ屠リ之ヲ胃中ニ取リテ以テ渴ヲ治スト蓋シ附會ノ説ナ
 リ其肉ハ以テ食フヘク乳ハ頗ル滋養ノ功アリ皮ハ良草ヲ製シ毛ハ以
 テ賤衣襪帽等ヲ製スヘシ時珍曰其糞烟直上如狼烟ト泰西亦此説アリ

兩峰駝 *O. bactrianus, L.*

其大サ凡ソ一丈高サ約チ六尺背上ニ兩肉峰アリ鞍形ノ如シ亞細亞ノ中央及ヒ東部ニ産ス土人以テ家畜ト爲シ路チ沙漠ニ假リテ貿易スル者一ニ此獸ノカニ之レ由レリ

獨峯駝 *C. dromedarius, L.*

前種ヨリ稍小ニシテ背上一峰アリ隆起シテ封土ノ如シ時珍曰俗呼爲封牛ト亞喇非阿人ハ之ヲ役シテ負重セシム又亞弗利加ニ産ス土人呼ソテ沙漠ノ船ト云ヒリ

〔三〕 羊駝屬 *Auchenia, Jll*

足ニ蹠ナク長爪ヲ有ス齧齒ハ老ニ五幼ニ六アリ背上ニ肉峰ナシ性怯懦ニシテ魯頑行走頗ル健捷ナリ新世界ニ産シ殊ニ南亞米利加ノアンテス山ニ多シ土人以テ家畜ト爲シ之ヲ使役スル猶駝ノ如シ亦頗ル唾腺ニ富メリ此屬四種アリ今其一ヲ掲ク

羊駝 *A. lama, L.*

其大サ鹿ニ等シク高サ三尺ニ至ル体毛多クハ褐色儘白斑ヲ具フル者アリ專ラ鑛鐵ヲ負荷セシムルニ用フ南亞米利加ニ於テハ此肉ヲ以テ常食ト爲セリ其乳液ハ頗ル美味ナリ毛皮ハ以テ氈布ヲ製スヘク革ハ能ク久キニ耐ユ糞ハ以テ火藥ニ用フヘシ

第一 麒麟族 *Devexa.*

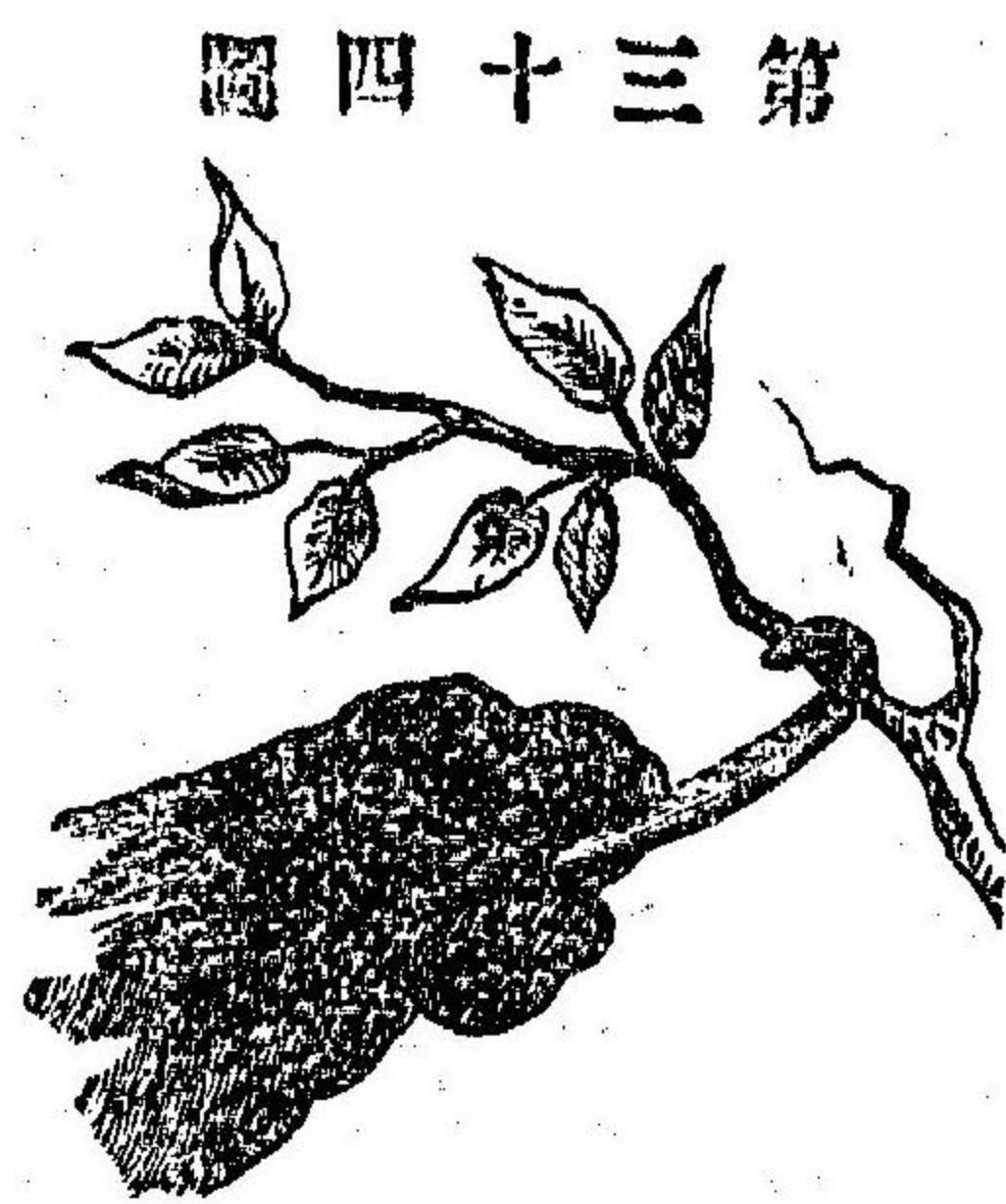
頤上ニ二箇ノ骨柱アリ毛皮之ヲ包ム牡ハ又其前頤ニ一小骨突ヲ添ヘタリ此族唯一屬アルノヨ

〔二〕 麒麟屬 *Camelopardalis, L.*

涙窩及ヒ犬齒ヲ缺如シ門齒ハ齧齒ニホニシテ頸甚ク長ク後肢ハ前肢ヨリモ短シ既ニ亡族セル者三種今尙存スル者一種アリ

麒麟 *C. giraffa, L.*

獸中ノ最高ナル者ニシテ其大サ七尺許高サ一丈八尺ヨリ二丈ニ至ル



第三十四圖

全身黃白色ニシテ鋪褐色ノ方斑ヲ具ヘ項頸ニ短鬣ヲ生ズ其狀古來畫
ケル者ト異ナリ性怯懦温和ニシテ常ニ小
群ヲナシ好シテ樹葉殊ニ合歡木ノ一種ヲ
喰フ其舌第三十四圖ノ如ク細長ニシテ形
蠕蟲ニ類シ以テ巧ニ樹葉ヲ鉤卷シテ之ヲ
口頭ニ送入ス其屈伸ノ自在ナルヲ恰モ人
手ノ如ク疾走趨々必ラス右眈左眈セリ亞
弗利加ノ中央及ヒ其南部ニ産ス毛皮極メテ貴シ

第三 麋鹿族

Cervina

門齒ハ八齒六ニシテ儘上顎ニ犬齒ヲ有スル者アリ其体多クハ美麗ニ
シテ懸蹄ヲ具フ牡ハ其額上ニ角ヲ有シ每歲解脫ス牝ハ儘之ヲ闕如ス
ル者アリ或ハ牝牡共ニ之ヲ闕ク者アリ麋是ナリ或ハ牝牡共ニ之ヲ具
ヒテ終始交脫セサル者アリ馴鹿是ナリ

〔一〕 麋鹿屬

Cervus, L.

其角骨質ナリト雖モ初生ハ軟柔ニシテ毛皮ヲ被ムリ血管ヲ通ス本草
綱目ニ鹿茸ト曰フ是ナリ一名冲天寶又九女春ト謂フ和名鈔ニカノワ
カヅノト謂ヒ俗ニ之ヲフロクヅクト謂フ其形圓ニシテ茄子ノ如ク紫
褐色ニシテ光澤アリ故ニ亦之ヲ茄子茸ト曰フ其長シテ角形ヲ成スニ
隨ヒ血液ノ循環漸ク止絶シ毛皮ハ樹木ニ觸テ漸ク脫去ス初年ハ單生
シ逐年岐チ成セリ眼下ニ竅アリ之ヲ涙竅ト曰フ中ニ物アリ其色黃褐
ニシテ光澤ヲ帶フ但ハ馴鹿ハ之ヲ有セズ亞弗利加及ヒ大洋洲ヲ除ノ外
宇内之ヲ産ス常ニ山林ニ在リ或ハ雙棲シ或ハ群居ス植物ヲ以テ餌料
ト爲シ好シテ果實花芽及ヒ五穀ヲ喰フ故ニ農家及ヒ造林家ニ害アリ既
ニ亡族セル者五十八種今猶存スル者五十種之ニ寄生スル者六種アリ
隄ハ以テ縫糸ト爲スベク又食用ニ供スベシ北海道ノ土人ハ之ヲ煎製
シテ喰フ毛皮ハ以テ百工ニ用ヒ毛ハ以テ褥枕ノ心ト爲スベク其草ハ

以テ鞭手囊等ヲ製スベシ能ク久ク保ツ肢骨ハ以テ彈撥及ヒ小刀ノ柄
 ナ製スルニ良シシ蹄ト角トハ諸般ノ器具ヲ製スルニ宜シ又角ハ之ヲ
 粉末煎熟シテ膠ト成シ鹿茸ハ之ヲ細截シテ灸食スレハ佳味ナリ角ノ
 燒末セシ者ハ金屬及ヒ大理石ヲ琢磨スルニ良シ又此角ヲ鹿角一名鎮
 山○威ト稱シ鹿茸鹿胎等ト共ニ製シテ藥ト爲ス一和漢ノ諸書ニ見ヘタ
 リ泰西ニ於テモ亦昔時ハ之ヲ削リテ鹿角屑〔Cornu cervi raspatum〕ト稱
 シ以テ鹿角搗〔Cal volatile cornu cervi〕鹿角油〔Oleum animale foetidum〕等ヲ
 製シ又之ヲ燒末シテ鹿角炭〔Cornu cervi nigrum〕及ヒ白鹿角炭〔Cornu
 cervi album〕ト成シ以テ藥用ニ供セリ脂肪ハ之ヲ鹿脂〔Sevum cervinum〕
 ト稱シ以テ軟膏及ヒ硬膏ヲ製スルニ用フレモ其効牛脂ノ善良ナルニ
 如カス該屬中殊ニ馴鹿ノ肉ハ至テ美味ナリ

鹿 *O. sika, Temm.*

牝ハ差小ニシテ白斑ナリ黃赤色ニシテ白毛ヲ雜生シ角ヲ有セス牡ハ

黃色微紅ニシテ白斑ヲ具ヒ角アリ每歲夏月ノ頃樹木ニ觸テ解脱ス其
 大ナル者ハ四枝ヲ分生セリ本邦ニ産スル者はナリ

馴鹿 *O. tarandus, L.*

其大サ六尺五寸高サ三尺五寸頸項ニ長鬣アリ鼻頭ニ毛茸ヲ生ス夏月
 ハ全身灰褐色ノ短毛ヲ生シ冬候ハ白色ノ長毛ニ變ス牝牡共ニ角アリ
 終始更脱スルヲナシ其基礎部圓大ニシテ前後ニ岐分シ每枝亦枝ヲ分
 タリ亞細亞及ヒ歐羅巴ノ北部ニ産ス其亞米利加ニ産スル者ハ前二洲
 ノ者ト小差アリ故ニ又之ヲ *O. hutchinsii* ト稱シ以テ本種ト區別セリ性
 温和ニシテ植物質ヲ食ヒ冬時ハ地衣ニ殊ニ *Cladonia rangiferina*〔獨逸
 フ北地ノ人民ハ之ヲ家養シテ負重セシメ又之ヲ糲ニ用フルヲ猶ホ温帶
 地方ニ於テ馬ヲ使役スルト一般ナリ其乳ハ以テ飲料トシ肉ハ以テ食
 料ト爲スヘシ蹄及ヒ腸ハ絲ヲ製シ骨ハ以テ匕匙ヲ製スルニ宜シ此獸
 ノ皮ヲ以テ製シタル革ハ頗ル鞏固ナリ

貴鹿

C. elaphus, L.

其大サ七八尺高サ三尺五寸ヨリ四尺ニ至ル其體毛夏ハ赤褐色ニシテ冬ハ赤灰色ニ變ズ上顎ニ犬齒アリ尾ハ短クシテ其長サ耳ニ半シ角端搭鐵ニ似タリ每歲二月ヲ以テ解脫ス唐山ニ所謂麋ト稱スル者蓋シ之ナラシメ九月ノ交季尾ヲ翌年五六月ノ交一二頭ヲ乳ス歐羅巴及ビ中央亞細亞ニ産シ常ニ群棲ス昔時泰西ニ於テ藥品ヲ製セシハ即チ此獸ノ角ナリ

麝屬

Moschus, L.

其形體麋鹿ニ似タリト雖モ矮小可憐ニシテ角及ビ淚竅ヲ有セズ上顎ノ犬齒ハ長ク吻外ニ突出セリ第三十五亞細亞ニ産シ好シテ有香ノ植物ヲ食フ本草集解ニ夏月食蛇蟲トアルハ非ナリ性怯懦巧ニ飛躍スト雖モ之ヲ追逐スル急ナレバ窘困シテ隱竄ス肉ハ以テ食フベク皮ハ以テ革ヲ製スベシ牡ハ臍邊ニ一箇ノ腺囊ヲ有シ中ニ香ヲ包滿ス其囊ヲ

香臍ト曰ヒ其香ヲ麝香(*Moschus*)ト曰フ時珍曰麝之香氣遠射故謂之麝

第三十五圖



ト麝香ニ三種アリ其囊小ニシテ短毛ナル者ヲ東京麝香(*M. tunguensis*)ト曰フ其香最モ佳ナリ大ニシテ長毛ナル者ヲシベリヤ麝香(*M. sibiricus*)ト曰フ其香前者ニ亞ギ其價亦二十倍ナ

落頓セリ香ノ囊ナキ者ヲ無囊麝香(*M. Vesicis*)ト曰フ臍製多シ此屬四種アリ今其香囊ヲ有スル者一種ヲ掲グ

麝

M. moschiferus, L. (第三十五圖)

其大サ三尺高サ二尺アリ全身灰褐色ニシテ長毛ヲ生ズ二條ノ白斑アリ頸ヨリ脚ニ及ベリトングーゼーランドノ高山ニ産ス

第四 洞角族

Cavicornia.

額上ニ圓錐形ノ骨柱アリ角質ノ鞘ニ之ヲ包被シ終始交脱スルヲナシハ罕ニ之ヲ缺如スルヲアリ列齒ハ麋鹿族ニ似タリト雖モ犬齒ナク或

ハ淚竅ヲ有スル者アリ又之ヲ闕如スル者アリ皆ナ懸蹄ヲ具フ此族概
子全地球上ニ産シ深林平野高山ニ群居ス

〔一〕 麋羊屬 Antelope, Pall.

其角圓銳ニシテ或ハ滑ナル者アリ或ハ多節ヲ有シ盛々圓繞スルヲ恰
モ人指ノ握痕ノ如ク又筍皮ヲ剝去セル者ニ似タリ其形或ハ蓋々ナル
アリ或ハ螺旋狀ヲ成ス者アリ或ハ單ニ鈎曲セルアリ唐山ニ之ヲ羚羊
角ト稱シ以テ藥用ニ供ス其體細瘦高脚ニシテ或ハ山羊ニ似タル者ア
リ或ハ麋鹿又牛馬ニ類セル者アリ乳房二乃至四箇其傍ニ腺アリ之ヲ
pori inguinales. ト曰フ常ニ臭液ヲ分泌ス性怯懦溫和ナリト雖其舉動
稍驚快ナリ亞細亞及ヒ亞弗利加ニ産ス歐羅巴及ヒ北亞米利加ニハ稀
ニ之ヲ出シ南亞米利加ニハ絶テ之ヲ産セズ今猶生存スル者六十五種
既ニ亡族セル者十一種アリ

カモシカ A. crispa, Temm.

本邦ニ産ス麋羊ノ一種ナリ南部邊ニテハ之ヲアナン、ト稱ス其体青
灰色ニシテ毛尖黒褐色ヲ呈シ眼下ニ淚竅アリ角ノ長サ凡ソ五寸甚礎
部ニ横皺アリ黒色ニシテ光澤ヲ帶フ之ヲ倭羚羊角ト稱ス

麋羊 A. gutturosa, Pall.

其大サ四尺高サ二尺五寸アリ黄褐色ニシテ腹部ヲ白フシ老牡ハ其喉
頭甚々大ナリ角ハ細長ニシテ幾ソトS狀ヲ成シ多節ヲ有ス蒙古及ヒ
支那ニ産セリ眞ノ羚羊角ヲ出ス

山驢 A. jorox, Pall.

郭璞注曰似驢而岐蹄馬尾角如羚羊一名山驢俗人亦用其角代羚羊ト蓋
シ是ナリ其大サ凡ソ六尺高四尺長鬣アリ全身灰色ニシテ頭脚根腰背
及ヒ脇腹ニ黒褐色ノ斑ヲ具フ角ノ長サ二三尺本半ニ節アリ螺旋狀ヲ
成ス羚羊中ノ雄快ナル者ナリ南亞弗利加ニ産ス

驢 A. quadricornis, Blainv

北山經云太行之山有獸名羴狀如麋羊而四角馬尾有距善旋其名自叫此亦山驢之類也ト蓋シ是ナリ其大サ凡ソ二尺九寸高サ一尺八寸アリ牡ハ其額上ニ二箇ノ長角ヲ具ヒ眼上ニ亦二箇ノ短角ヲ具フ其形鹿ニ似テ毛色黃褐ナリ「ベソガール」ニ産ス

三二 山羊属 Capra, L.

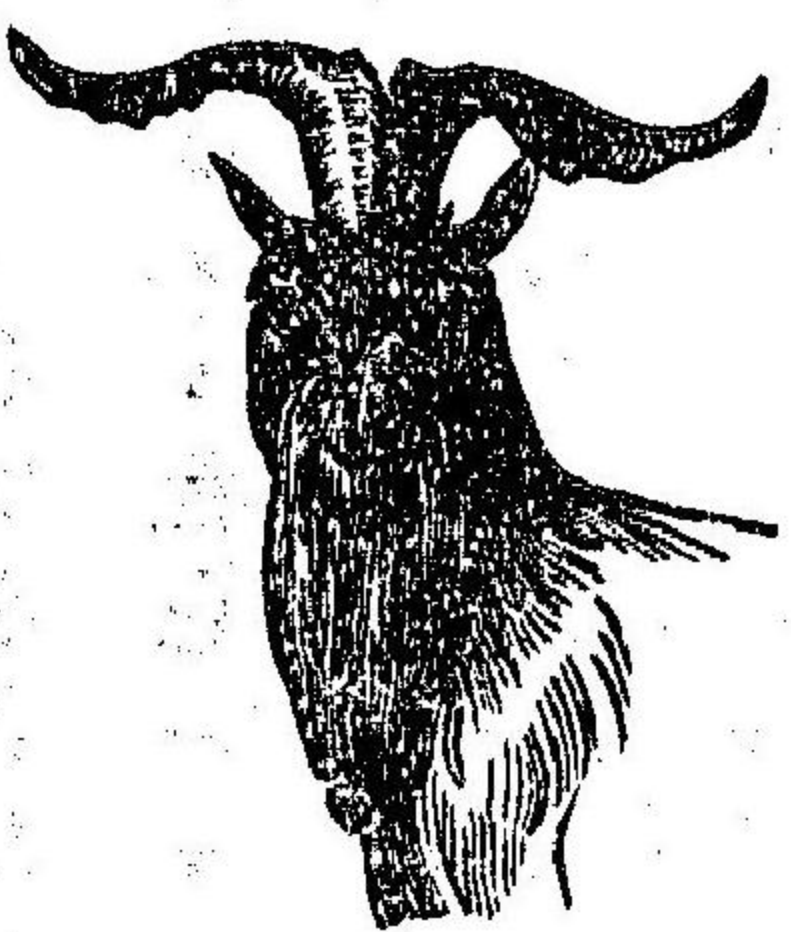
其角強大鎌狀ニシテ楕ノ前側ニ大節アリ以テ鞍橋ト爲スニ堪ユ上唇毛茸ヲ密生セリ牡ハ約子鬚ヲ具ヒ第三十六交期ニハ一種ノ臭ヲ放ツ

乳房四箇アリ後二房ハ其發育全カラズ性怯懦輕快ニシテ能ク峻坂ヲ陟リ巧ニ獻嶋ヲ走ル故ニ之ヲ獵獲スル最モ難シトス五種アリ

山羊 O. hircus, L. (第三十六圖)

北極地方ヲ除クノ外全地球上ニ産ス各種ノ變生アリ山邦最モ多シトス養ヲ以テ家畜ト成セリ性放恣ニシテ其心

第三十六圖



一定セズ動モスレバ則チ怒リ善ク鬭角シテ死ニ至ルヤアリ其乳肉及ビ生皮ハ以テ食用ニ宜ク毛皮ハ以テ毛工ニ用フ故ニ山地ノ貧民ニ益アル大ナリト雖ハ森林ニ入り檀マヽヽ樹木ノ外皮ヲ損傷スルヲ以テ其害亦甚ナシトセズ

羴羊 C. aegagrus, Gm.

羴羊ハ素山羊ノ異名ナレド彼ハ己ニ家畜ト成リ是ハ純然タル野生ナルヲ以テ姑ク愛ニ假用セリ其體前種ニ比スレバ差大其色赤灰若クハ灰白ニシテ前頭ト渾尾トハ黒色ヲ呈シ背上ニ一條ノ黒線アリ其角強大ニシテ背後ニ鈎曲シ長キ者ハ二尺ニ至ル伯西及ヒ高加索ノ山地ニ産シ群居ス蓋シ前種ノ原種ナリ陽中ニ石アリ東國ノ「ベツアル」ト稱ス昔時ハ以テ藥用ニ供セリ「ベツアル」ハ亞刺非亞語ヨリ出ツ蓋シ胃石ノ義ナリ

三三 羊綿 Ovis, L.

其角三隅形ニシテ不整ノ節ヲ具ヒ紆回シテ尖端前向セリ上唇ハ毛茸

寄生ノ四箇ノ孔房ヲ具フルヲ猶前屬ノ如クナリト雖モ下顎ニ鬚ヲ有セズ眼ノ下ニ淚竅アリ此屬六種今其家畜ニ係ル者一種ヲ掲ク

綿羊 *O. aries, L.*

牡羊ヲ殺又瓶ト曰ヒ其勢ヲ去シ者ヲ羯ト曰ヒ牝羊ヲ殺又牝ト曰フ牝ハ儘無角ノ者アリ之ヲ羶又羶ト曰フ尾ハ耳ヨリ長ク體毛軟柔ニシテ縋縮シ硬毛ヲ雜生セザルヲ以テ判然他種ト區別ス宇内所トシテ畜養セザルノ地ナシ其變種ノ多キ守犬ニ亞ク曾テ野生ノ者ナシ性怯恒温柔ニシテ能ク事ニ耐ユ其胎スルヤ五月ニシテ概テ一頭ヲ乳ス罕ク二三頭ニ及フアリ其子ヲ羔ト曰フ之ニ寄生スル者八種アリ其剪毛ハ之ヲ綿毛ト稱シ羅紗ニ製スル一世ノ普ク知ル所ナリ毛皮ハ氈袴ト爲シテ甚ク美麗ナリ乳乾酪肉及ヒ脂肪ヲ出ス

〔四〕 牛屬 *Bos, L.*

牝牡共ニ角アリ或ハ平滑ニシテ其横断面圓形ナルアリ或ハ其基部扁

潤ニシ許多ノ小突起ヲ有スル者アリ鼻喙多クハ毛茸ヲ生セズ頭皮緩弛ニシテ喉下ニ垂肉アリ尾ハ細長ニシテ過半ハ短毛ヲ疎生シ尾端ノ長毛絨然トシテ流蘇ノ如ク本綱釋名曰牛之牝者曰牝牝者曰犝去勢曰犝子曰犝ト牝ハ六箇ノ乳房ヲ有スルモ最後ノ二房ハ細小ニシテ其發育全カラス其體強壯性魯鈍ニシテ微ク快逸ノ氣アリ怒レバ則チ人畜ヲ擇マズ鼻喙ヲ以テ之ヲ衝擊投上シ角ヲ以テ之ヲ激刺傷殺ス其勢猛烈ニシテ當ルヘカラス既ニ亡族セル者十一種今猶生存スル者十種アリ山野及ヒ深林ノ中ニ群居ス北方ノ高陸ニ産スル者ハ角ヲ有セズ野生ノ者ハ肢體香ヲ帶フ其氣麝香ニ似タリ

牛 *B. taurus, L.*

前額平カニシテ滿身短毛ヲ生シ鼻頭裸出シテ喉下ニ垂肉アリ二十年乃至三十年ヲ以テ生期ト成スト雖モ凡ソ十二年ヲ閱ル者ハ已ニ需用ニ堪ヘ難シトス其産スルヤ既ニ四枚ノ前齒ヲ生シ十四日ヲ經テ其左

右ニ二枚ヲ生シ三箇月ニシテ又其左右ニ二枚ヲ生ス十箇月乃至十六箇月ニシテ中央ノ二齒更脱シ自後毎年其生時ノ如ク逐次更脱シテ大門齒ヲ生シ四年ニシテ止ム以テ其長幼ヲ察占スベシ本草綱目集解ニ察其齒而知其年三歳二齒四歳四齒五歳六齒トアルハ非ナリ牝牛ハ四歳ニシテ其角根ニ一節ヲ生シ爾來逐年一節ヲ増加ス亦其節ヲ數ヘテ其齡ヲ知ルベシ該獸ハ *B. primigenius*, *O.* 既ニ亡ノ遺種ナリ地球上所トシテ之ヲ産セザルノ地ナシ皆家畜ニシテ各種ノ變生アリ或ハ之ヲ役シテ負重セシメ或ハ耕農ニ用ヒ或ハ騎シ或ハ駕ス未タ曾テ野生ノ者アルヲ聞カス其肉 殊ニ犢牛、牝牛及ヒ 肝舌ヲ以テ最トスハ以テ食料ト爲スベク又越幾斯ヲ製シテ醫藥ニ供スベシ之ヲ牛肉越幾斯 (*Extractum m. carnis*) ト稱ス乳ハ以テ飲料ト爲シ又牛酪及ヒ乾酪ヲ製ス其滋養ノ効アル普ク世人ノ知ル所ナリ但シ其餌食ノ異ナルニ隨ヒ亦其色味ヲ異ニス宜ク注意スベシ其毛ハ以テ襪枕等ノ芯ト爲シ皮ハ以テ各種ノ革ヲ製シ其截片

ハ膠ヲ製ス之ヲ發明膠ト曰フ骨ハ以テ鍍工ニ用ヒ又扣紐ヲ製スベシ角ハ之ヲ蒸氣中ニ投シ或ハ煮熟ノ柔軟ナラシメ併テ細片ト爲シ之ヲ壓搾ノ角板ヲ製シ角屑ハ苛性石灰ヲ以テ之ヲ糞下シ模型ニ注入ノ各般ノ器具ヲ製ス鍍匠ハ角端ノ緻縝硬固ナル者ヲ取テ烟草管ノ吸口ヲ製シ棉匠ハ其下部ノ空洞ナル者ヲ取テ棉ヲ製ス脂肪ハ以テ燈油ト爲シ又石鹼及ヒ膏藥ヲ製スベシ髓脂 (*Axungia medullae Bovis*) ハ以テ香油ヲ製シ生蠟ノ藥ト爲ス膽ハ健胃劑ト爲シ血液ハ砂糖ノ製造ニ用ヒ或ハ伯林紫ヲ製シ或ハ木器ノ彩色ニ用フ昔人之ヲ以テ鴆毒アリト爲セシハ非ナリ唯不消化ナルノミ西班牙ノ醫師ハ鬮牛ヲ殺シ其鮮血ヲ取テ諸ノ藥ト爲セリ其糞ハ肥料ト爲スベシ之ニ寄生スル者七種アリ

水牛 *B. bubalus*, L.

其大サ八尺五寸高サ五尺アリ重サ八百磅ヨリ千磅ニ至ル前額穹隆シテ縷毛ヲ生シ角扁大ニシテ後向セリ南亞細亞及ヒ歐羅巴ノ諸國ニ畜

蒙ス原種ハ印土ノ野生ナリ其性剛復其力馬ニ倍シ能ク負重シテ迅行
ス故ニ世多ク輜車ヲ駕セシム其肉辟香ノ氣ヲ帶ヒ滋味ニ非スト雖也
伊太利亞ノ貧民ハ好マテ之ヲ食フ乳ハ其酪ト成スベク皮ハ鞣底ヲ製
スベシ

牦牛

R. Brunhens, Pall. (第三十七圖)



其體強大ニシテ全身長毛ヲ生ス胸部殊ニ長
シトス其光彩綽然トシテ絹縷ノ麤々タルガ
如ク以テ四垂セリ其角小且圓コシテ後向シ
眼目圓大ニシテ耳殼短小ナリ尾長大馬尾ニ
似テ起部ヨリ長毛ヲ生シ或ハ地ニ垂着ス前
背ニ隆肉アリ封土ノ如ク四肢細小コシテ大
蹄ヲ被ムル蒙古、甘肅等ノ高山ニ産ス歐洲亦
之ヲ養テ家畜ト爲セリ毛色褐、黑、赤等ノ數種

第三十七圖

アリ其黑色ニシテ前背ノ隆肉ニ白毛ヲ生セル者ハ殊ニ美ナリトス性
溫和ニシテ諸般ノ役ニ服スルヲ猶ホ牛馬ト一般ナリト雖モ野生ノ者ハ
強剛多力ニシテ向フ所前ナク之ニ觸レハ必ス投斥ス游泳甚タ巧ミナ
リ其肉ハ美味ニシテ食フ可シ故ニ呂氏春秋曰肉之美者牦象之肉也ト
乳ハ頗ル脂肪ニ富メリ土人以此常食トス毛皮ハ以テ毛裘ト爲スヘシ
時珍曰旌牛出甘肅臨洮及西南徼外野生也人多畜養之狀如牦牛體長多
力能載重迅行如飛性至粗梗脾膝尾背胡下皆有黑毛長尺許其尾最長大
如斗亦自愛護草木鉤之則止而不動古人取爲旌旄今人以爲纓帽毛雜白
色者以茜染紅色ト蓋シ之ナリ

第十二目

游水類

Cetacea.

其體魚ニ似テ前肢ハ鳍ニ類シ後肢ヲ闕如ス尾鱗アリ軟骨質ニシテ横
平シ魚尾ノ鉛直ナルト異ナリ眼目細小ニシテ耳殼ヲ有セス皮膚夙ニ
裸出シテ唇ニ疎毛ヲ生ス腹部ニ一回處アリ中ニ二箇ノ乳房ヲ具フ第三

十八圖及ヒ三十九圖ヲ見ヨ。氷獸コシテ波間ニ浮沈シ呼吸スルニ肺ヲ以テス。諸洋ニ産ル或ハ植物質ヲ食ヒ或ハ動物質ヲ以テ食料ト爲ス。既ニ亡族セル者五十五種今猶生存スル者七十餘種アリ。

第一 江豚族 Sirenia.

唇厚反上ヲ髯ヲ生シ唇上ニ噴水孔。鼻孔ナリ用テア。門齒ト犬齒トハ概テ夙ニ脱落シ齧齒ノ咀嚼面ハ坦平ナリ其胃多クハ四室ヨリ成ル。其体稍長大コシテ硬毛ヲ疎生シ熱帶地方ノ河口ニ羣生シテ海藻ヲ食フ。

(二) 海牛屬 義 Manatus, C.

頸椎骨六個アリ門齒ニ。コシテ夙ニ脱落シ犬齒。齧齒ハ六乃至十ナリ前肢乃チ前ハ四爪ヲ具ヒ尾。鰭ハ楕圓形ヲ成ス。亞弗利加及ヒ亞米利加ノ海岸ニ羣生シ翠ニ子ヲ牽ヒテ上陸スルコトアリ其肉食ヲベク皮ハ以テ革靴及ヒ草鞋ヲ製スルニ宜シ脂肪ハ以テ食用スベク又以テ燈油ト爲

スベシ既ニ亡族セル者三種今猶生存スル者一種アリ

海牛 M. australis, Tliesius.

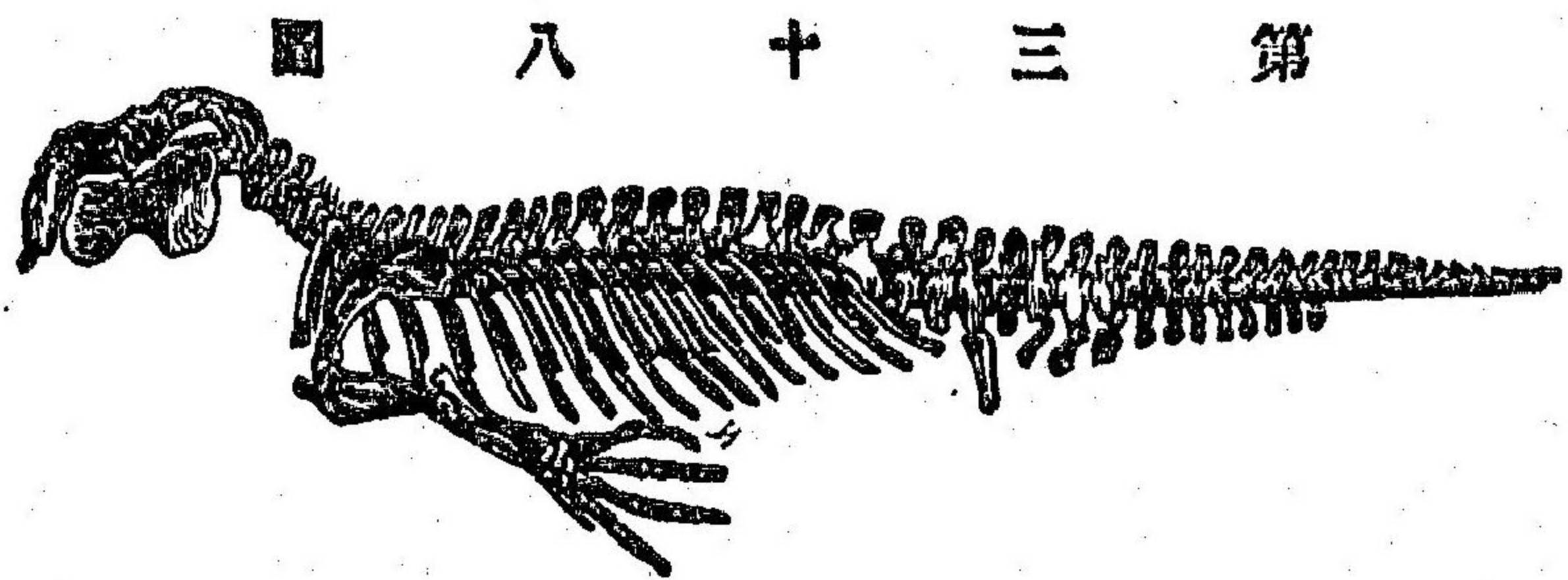
熱帶地方ノ諸洋ニ産ス其亞亞利加ニ産スル者〔M. senegalensis〕ハ頭部圓形コシテ其大サ八尺亞米利加ニ産スル者〔M. americanus〕ハ長頭コシテ其大サ一丈五尺ヨリ二丈ニ至リ重サ八千磅ニ達ス

(三) 儒艮族 Halicore, Jll.

其齒長スルニ隨ヒ其數漸ク減ス老獸ハ門齒三四ニシテ牡ハ其上齒吻外ニ突出シ犬齒ニ。コシテ齧齒ニ。アリ頭部圓形唇厚ニシテ上反シ尾。鰭ハ半月狀コシテ前肢ニ爪ヲ有セス。全身軟毛ヲ生ヌ海濱ニ住シ海藻ヲ食ヒ或ハ雙棲シ或ハ小羣ヲ爲ス此屬二種アリ印度ニ産ス今其一種ヲ獨ク

儒艮 H. cetacea, Jll.

其大サ八尺ヨリ一丈ニ至ル紫色コシテ黒斑ヲ具ヒ其肉軟柔白色ニシ



テ脂肪臭アリ他國ノ人之ヲ食ヘハ吐氣ヲ催スト
 雖ヒ土人ハ之ヲ好食ス第三十八圖ハ即チ該獸ノ
 骨骸ナリ

第二 海豚族 *Delphinida.*

其体細長其狀海鱈ニ似テ裸出シ皮下ニ脂肪ノ厚
 層ヲ有ス喙上ニ噴氷孔アリ以テ水ノ食ト共ニ混
 入セル者ヲ噴出スルニ便ス上下ノ顎面ニ圓錐形
 ノ齒ヲ生シ咽孔廣濶ナリ諸洋ニ産シ或ハ岸邊ニ
 近ツキ或ハ河流ニ泝ルヲアリ又生テ江上ニ終始
 スル者アリ性兇悍獯獵ニシテ多クハ羣ヲ爲シ貫
 ヲ相率ヒ一浮一沒好シテ軟體動物ヲ食フ既ニ亡
 族セル者十四種今猶存スル者四十餘種アリ

【一】 海豚屬 *Delphinus, L.*

其体以下二屬ニ比スレハ甚タ小ナリト雖ヒ頭部ノ大サ体形ニ稱ヒ噴
 氷孔或ハ半月形ヲ成ス者アリ又横ニ隆起セル者アリ兩顎ニ齒アリ九
 枚ヨリ五十枚ニ至ル細小ニシテ圓錐形ヲ成セリ性極メテ兇悍往々河
 流ニ泝ルヲアリ本邦ノ近海ニ於テ漁捕スル者約子四種アリ左ニ掲ク

海豚 *D. longirostris, Gray.*

其体細長ニシテ體ノト八尺ニ至ル口喙長ク突出シテ密ニ鈎狀ノ細齒
 ナ列シ中背ニ鱗ヲ有セリ

スナメリ *D. melas, Temm.*

其体前種ニ比スレハ稍々豊肥ナリト雖ヒ其大サ七尺ニ充タズ口喙鈍圓
 齒形前種ヨリ差々大ニシテ背鱗ナシ

サカマタ *D. (Phocaena) orca, Gm.*

其大サ二丈五尺餘眼上ニ半月形ノ白斑アリ雪眉ノ如シ腹部ニ亦一箇
 ノ黒斑ヲ具ヒ前背ニ鱗ヲ有ス四種中ノ最大ナル者ナリ北海ニ多シ海

船ノ大敵手ナリト云フ

ゴトウクシラ D. (Ph.) globiceps, C.

其体豊肥ニシテ其狀「スナメリ」ニ似タリト雖モ大ニシテ前背ニ鱗ヲ有セリ北海及ヒ太平洋ノ北部ニ産ス其大サ二丈ヨリ二丈五尺ニ至ル

(二) 一角屬 Monodon, L.

噴水孔半月狀ニシテ上顎ニ二齒ヲ有ス左齒ハ長大ニシテ吻外ニ突出シ幾ント体長ニ半ス其質象牙ニ似テ左ニ螺旋シ其形絢繩ノ如シ右齒ハ頗ル短小ニシテ準チ顎骨中ニ隱生ス或ハ之ヲ闕如スル者アリ此屬唯一種アルノミ

一角 M. monoceros, L.

其体黄白色ニシテ褐色ノ斑文ヲ呈列シ背鱗甚ダ小ナリ北氷海ニ産ス其大サ概チ一丈二尺ヨリ一丈六尺ニ至ル最モ大ナル者ハ二丈ニ達セリ齒ノ種メテ長キ者ハ一丈ニ至リ其短キ者モ亦六尺ニ下ラズ昔時ハ

此齒ヲ以テ藥品ト爲セリ其價頗ル貴シ「グリーンランド」人ハ此肉ヲ以テ美ナリトセリ其脂純白ナリ

(三) 眞甲鯨屬 Physeter, L.

其頭部第三十九圖ノ如ク巨大ニシテ全体三分ノ一ニ居リ噴水孔圓形ニシテ下顎ニ尖齒アリ上顎ノ凹骨ト相向ヒ口ヲ緘スレハ則チ凹凸嵌著ス或ハ背鱗ヲ有スルアリ或ハ之ヲ闕如スル者アリ体中ノ諸部ニ脂肪アリ生時ハ無色透明油楪ノ半流動体ナリ其頭部ニ在ル者ハ其質善良ニシテ其量最モ多シトス硬腱ヲ以テ一房ヲ成シ之ヲ貯フ房中ニ四分シ畫界之ヲ縱横セリ其之ヲ縱畫スル者ハ數孔ヲ具ヒ左右相互通ス其横畫ノ下層ニアルモノハ極メテ良品ナリトス死後体温ヲ失スレハ乃チ分レテ固澆ノ二体ト成ル甲ヲ鯨腦 (Sperma ceti. s. cetaceum.)

第三十九圖



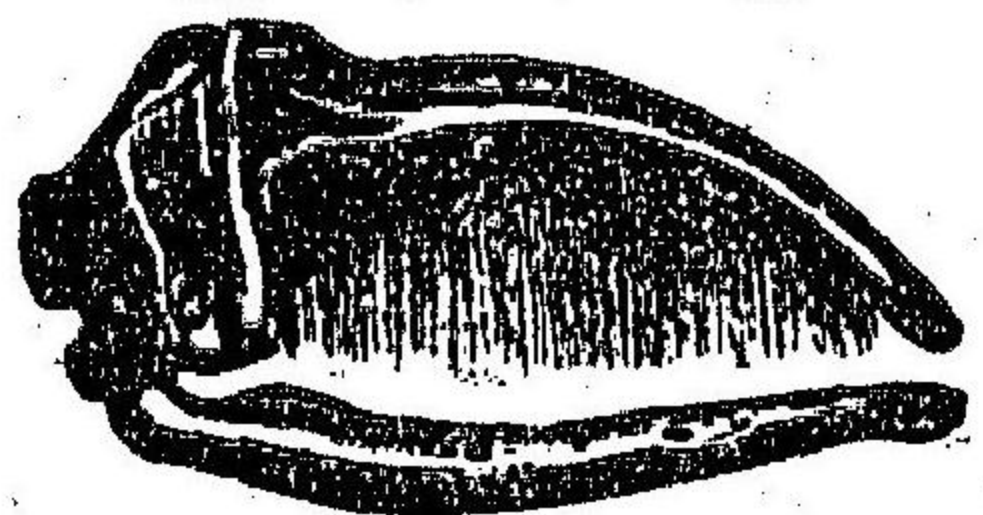
ト曰ヒ乙チ鯨腦油ト曰フ同ク其頭部ニ在ルヲ以テ古人之ヲ誤稱セリ
 之ヲ精製濾過シ固實セル者ハ無臭無味皓々雪白ニシテ光澤アリ其片
 剝セル者ハ半透明ナリ世人之ヲ以テ香油、白粉、軟膏、硬膏、蠟燭及ヒ透明
 石鹼ヲ製シ鯨腦油ハ以テ燈油ト爲セリ又其腸管膀胱及ヒ喉後ノ囊中
 ニ許多ノ小塊アリ其質蠟ノ如ク輕柔ニシテ芳香アリ之ヲ Ambra ト曰
 フ微温スレハ則チ軟輭ト成ル之ヲ酒精中ニ投スルカ或ハ熱シテ沸騰
 點ニ至ラシムレハ則チ溶解シ熱猶ホ最高度ニ至レハ燃上リテ蒸散ス其
 灰色ナル者ハ之ヲ A. grisea. ト稱ス最上品ナリ白色及ヒ黒褐色ナル者
 ハ之ニ亞リ昔時ハ以テ醫藥ニ供セリト雖モ現今ハ單ニ烟草ニ點香ス
 ルノ料ト爲セリ或ハ云フ胃石ナリト或ハ云フ溺石ナリト意フニ此二
 説共ニ穩ナラズト雖モ要スルニ是レ等シク病患ニ由テ生スル者ナリ
 古ヨリ其海上ニ浮游セル者及ヒ海岸ニ委打セラル、者ヲ漁獲シ以テ
 藥舖ニ鬻ケリ故ニ古人ハ其原体ノ何物タルヲ知サリシカモ一千七百

二十四年ニ至リ始メテ該獸ノ排泄物タルヲ知ルヲ得タリ此他尙ホ油ヲ
 出ス之ニ寄生スル者一種アリ Onion Cuvieri, Teach. ト曰フ
 眞甲鯨 イナシク Ph. macrocephalus, L. (第三十九圖)
 牡ハ其大サ二十五メートルアリ牝ハ之ニ半ス全身黒色ニシテ腹部チ
 白ヲシ後背ニ一小突起部アリ肛門ニ中ス頭部ノ前角ニ噴水孔アリ其
 齒數四十枚ヨリ五十四枚ニ至ル大平洋及ヒ大西洋 自北緯七十度ニ産
 シ海産動物ヲ食フ半ニハ小鯨ニ及フコナリ 亞南緯七十度ニ産

第三 海鯨族 Paenidae.

此族亦海獸ナリ雄ヲ鯨ト謂ヒ雌ヲ鯨ト謂フ頭大ニシ
 テ頸ナク幼時ハ齒ヲ具フレモ夙ニ脱落シテ第四十圖
 ノ如ク上顎ニ角質ノ板ヲ列生ス其狀箴米箕ノ如シ俗
 ニ之ヲ鯨鬚ト曰フ其數三百枚ヨリ千枚ニ至ル各自扁
 平ニシテ三稜形ヲ成シ纖維狀ニシテ彈力アリ以テ食

第十四圖



餌ト入混セル水ヲ漉過スルニ便ス二。僅ノ噴水孔アリ時々水氣ヲ噴ク其狀恰モ湧泉ノ如ク其吹散スル小雨ノ霏々タルニ髣髴タリ目ハ小ニシテ耳ハ外殼ヲ有セス而シテ其口角ノ上邊ニ位セリ肛門ノ前部ニ二箇ノ乳房アリ皺襞中ニ隱沒ス其體ノ大サ哺乳動物中ノ最タリト雖ハ咽喉極メテ小大ナルモ亦其直徑ニシテ大魚ヲ食スル能ハス主トシテ小魚、軟體蟲、殊ニOligo-poda、蝦蟹、植蟲ノ類ヲ食フ北海ニ産セリ之ヲ漁獲スル者或ハ繩ヲ鈎子ニ繫テ之ヲ捨キ或ハ大砲ヲ放テ之ヲ撃殺ス但鈎子ノ尖端ニ胃酸ヲ填テ之ヲ捨ケハ秒時ニシテ則チ死ス蓋シ軟近ノ發明ナリ皮下ニ半流動ノ脂肪層アリ大ナル者ハ其厚サ二尺強ニ至ル草ヲ製スルニ用フ北極地方ノ人民ハ之ヲ以テ飲料ト爲セリ又醫藥ニ用フルコアリ此脂肪ヲ溶解スルノ際沈精セル者軟骨及ヒ諸廢物ヲ以テ膠ヲ製ス之ヲ鯨膠ト謂フ其肉食フヘシト雖ヒ歐洲人ハ之ヲ嗜マズニエスキモ人ハ其腹皮ヲ取テ窓障ト爲スヲ猶歐洲人ノ玻璃板ヲ用フルガ

如シ骨ハ以テ鈎子ヲ製シ又幕柱ト爲スニ宜シ髓ハ以テ紐ヲ製シ血液ハ染工ニ用ヒ鯨鬚ハ百工ノ用ニ供スルコト普ク世人ノ知ル所ナルヲ以テ今此ニ贅セズ之ニ寄生スル者四種アリ

〔一〕 鰭鯨屬 *Balaenoptera* Lacep.

鰭短ノ背上ニ鰭アリ三隅形ナス腹部ニ無數ノ縱線アリ各互ニ高低ス既ニ亡族セル者六種今猶存スル者亦凡ソ六種アリ本邦ノ近海ニ於テ漁獲スル者二種ヲ掲ゲテ之ヲ例ス

ザトウクジラ *B. antarctica*, Sieb.

其大サ凡ソ四丈全身黒色ニシテ領喉及ヒ胸尾ノ兩鰭共ニ亂瘤累々タリ腹部ハ黄色ヲ帶テ高低ノ縱線ヲ具ヒ上顎狹短下顎濶大ニシテ口ヲ閉レバ上顎ヲ受容ス

イハシクジラ *B. arctica*, Sieb.

全身黒色ニシテ腹部ヲ白クシ其大サ前種ニ比レバ稍小ニシテ凡ソ五

尺ヲ減セリト雖也上顎ハ差々廣濶ニシテ下顎ト其長サヲ齊フシ背鰭ノ後端反上セリ

二 海鯨屬 *Balaena, L.*

背鰭ナク腹部ニ縦線ナシ既ニ亡族セル者四種今猶存スル者二種アリ
セミクシラ 一名南海鯨ト 曰フ義譯ナリ *B. antarctica, Less.*

南方ノ諸洋ニ産ス本邦ノ近海ニ於テ漁獲スル者亦是ナリ全身黒色ニシテ頭部ノ大サ全体四分ノ一ニ居リ口喙濶大鬚短小ニシテ肋骨十五對アリ南極地方ニ於テハ毎歲獲ル所一万二千頭ノ多キニ至ルト云フ殊ニ之ニ寄生スル者五種アリ

北海鯨 譯 *B. mysticetus, L.*

其体前種ニ比レバ稍々大ニシテ約テ五丈罕ニハ七丈ニ至リ重サ八百セントナルヨリ一千五百セントナルニ達ス口角ヨリ口尖ニ至ル一丈五六尺上下兩唇ノ間開口スレハ其距離一丈一二尺アリ鬚ハ其數三千枚

以上ニシテ長サ一丈ヨリ一丈五尺ニ至リ各片ノ厚サ四分強重サ五磅アリ舌ハ其長サ一丈八尺ニシテ重サ八百磅噴水孔ハ直徑一尺強アリ全身灰黒色ニシテ腹部ヲ白フシ皮下ニ脂肪層アリ其厚サ八尺ヨリ二丈ニ至ル頭部ノ大サ全体三分ノ一ニ居リ肋骨十三對アリ北冰洋一七度以北ニ産ス其游泳ノ駛カナル一時間ニシテ海程四里ヲ遊ス尾力雄大瀛船ヲ覆没スルニ足ル

乙 無胎盤動物 *Mammalia Inplacentalia.*

此門ニ屬スル動物ハ皆胎盤ヲ有セス腹部ニ皺襞アリ二枚ノ扁骨ヲ以テ以テ之ヲ支ヘ中ニ乳房ヲ擁藏ス陰莖ハ陰囊ノ後ニ位シ陰重複セリ

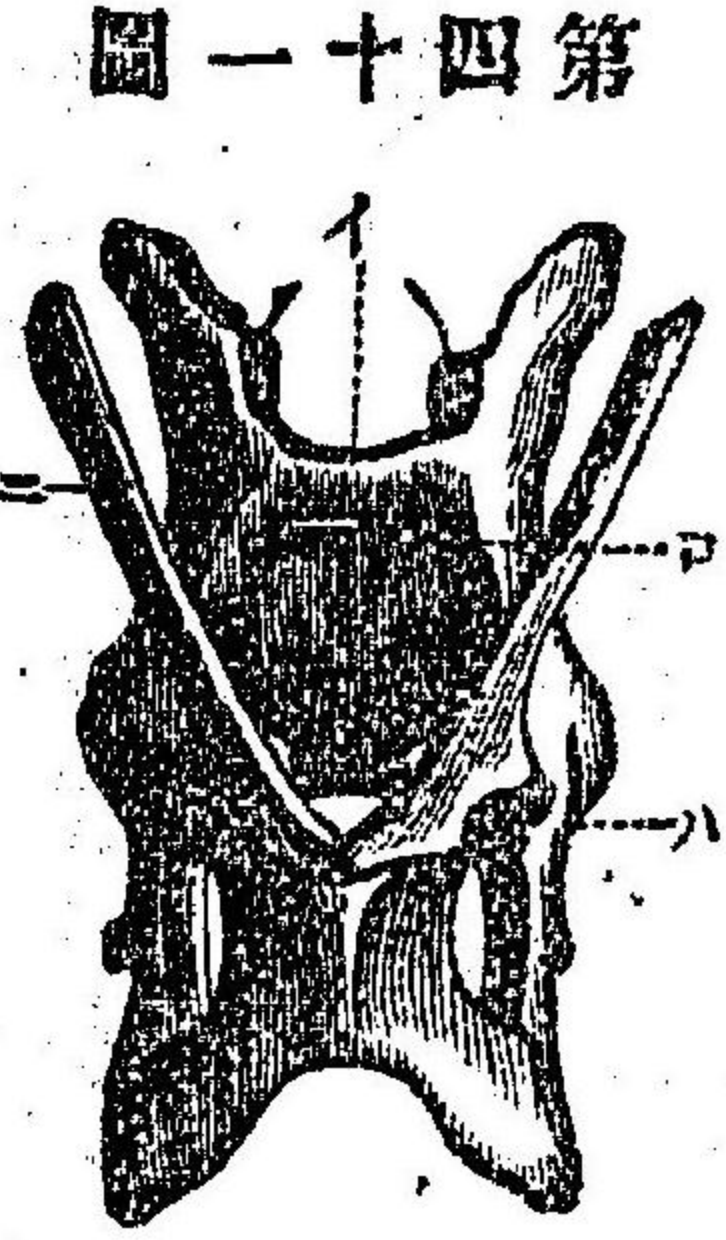
第十三目 有袋類 *Marsupialia.*

此類ノ獸ハ腹部ノ皮膚延長シテ一袋狀ヲ成シ中ニ乳房ヲ擁藏シテ發有不全ノ兒ヲ哺乳ス耻骨ノ上縁ニ扁長ノ骨二枚アリ以テ之ヲ支フル
一第四十一圖ノ如シ之ヲ袋骨ト云フ其兒既ニ生育シ肢体完ク具リ自

在ニ其袋ヲ出入スルヲ得ルニ至ルモ猶ハ二月間ハ之ヲ其中ニ護養ス既
 ニ之ヲ脱離シ能ク自營スルモ一
 朝畏怖スル事アレハ忽チ逃避シ
 テ之ニ歸隱ス其助止ノ異常ナル
 奇ト謂フベシ或ハ單ニ皮袋ヲ具
 ヒテ其裡ニ乳房ヲ有スル者アリ亦以テ能ク其兒ヲ擁護シ之ヲ哺乳ス
 ルヲ第四十二圖ノ如シ其生育スルヤ數兒母背ニ上リ其尾ヲ以テ母ノ
 尾ニ纏絡スレハ母則チ負載シテ遊行ス多クハ鎖骨ヲ有セリ其体形列
 齒及ビ其舉動ノ異ナルニ隨ヒ之ヲ分ツテ食肉及ビ食草ノ二族ト爲ス
 亞米利加大洋洲及ビメソヂヤ一島ニ産ス既ニ亡族セル者二十八種今猶
 存スル者一百有三十八種アリ

其列齒猛獸類ニ似テ犬齒頗ル強大齶齒ハ尖銳ニシテ參差タリ禽獸及

第一 食肉族 Carnivora. [Baptista.]



第一十四圖
 (イ) 髖骨
 (ロ) 薦骨
 (ハ) 髌骨
 (ニ) 袋骨

ビ小蟲ヲ食ヒ蠶線頗ル巧ナリ此族四屬アリ今其一ヲ掲ク

(二) 袋鼠屬 譯義 Didelphys, L.



フル者アリ夜ハ巧ニ樹木ニ攀チテ鳥蟲及ビ菓實ヲ食ヒ又人家ニ竊入
 シテ家禽ヲ害スト雖ヒ晝ハ迷眩シテ辨視スル能ハス故ニ容易ク之ヲ

其形態鼠ニ似タリト雖ヒ
 門齒ニハ犬齒ニ齶齒ニセコシ
 テ後肢ノ拇指ハ爪ヲ有セ
 ス掌中ニ向テ自在ニ屈伸
 スルヲ四手類ノ如シ尾ハ
 細長ニシテ鱗ヲ蒙リ軟毛
 ナ疎生ス性夜獸ニシテ肢
 体臭氣ヲ帶ビ或ハ皮袋ヲ
 有スル者アリ又皮袋ヲ具

第四十二圖

捕獲スルヲ得ベシ夜間燈光ニ遭フモ亦然リ既ニ亡族セル者十二種今猶ホ存スル者二十一種アリ皆亞米利加ニ産ス殊ニ南方ニ多シトス

袋鼠フクロネズミ 義

D. dorsigera, L. (第四十二圖)

其体灰褐色ニシテ眼邊ニ黒褐ノ斑ヲ環ラシ額類ノ二部ハ白色ナリ腹部ニ皮襖ヲ具ヒ尾ヲ以テ其兒ヲ負持ス其大サ五寸一分尾ノ長サ六寸アリ

第二 食草族

Frugivora. (Phytophaga.)

其列齒嚙齒類ニ似テ門齒ニ或ハ六ニニシテ中央ノ二齒殊ニ大ナル者アリ犬齒ハ二ナレハ細小ニシテ或ハ之ヲ闕如スルアリ皆皮袋ヲ有ス此族六屬アリ或ハ木處ニ或ハ穴居シテ植物ヲ食フ今其一屬ヲ掲ケテ之ヲ例ス

(一) 更格盧屬

Halmaturus, Jll.

前齒五或ハ四犬齒二或ハ〇ニシテ門齒ハ六ニナレハ各自齊生ス有袋獸

中ノ最大物ニシテ其大サ八尺重サ二百磅ニ至ル者アリ前肢細小後肢絶大ニシテ蹄ヲ被リ行歩スル能ハズ唯趨趨跳走スルノニ性巧捷其草ヲ食フヤ後肢ヲ委伸シ前肢ヲ柱立シテ之ヲ嚙ム胃腸重複シテ反芻スルヲ猶ホ牛羊ノ如シ大洋洲ノ大陸ニ産ス現今存在セル者十八種或説ニ據レハ四十種アリト土人ノ捕獲スルニ獵犬ヲ用フ

更格盧ケレンゲレ

Hyrphantus, Gm.

其大サ概テ四尺全身灰褐色ニシテ腹部ヲ白フシ耳殼長大ニシテ鼻頭ニ毛茸ヲ生ズ尾ハ殊ニ強大ニシテ其長サ約ソ三尺許尖端黒色ヲ帶ブ大洋洲ニ産スル哺乳動物中ノ最大物ナリ土人其肉ヲ以テ常食ト爲ス性好シテ食草群居ス一躍スレハ二丈四尺ヨリ二丈八尺ノ距離ニ達ス曾テ伯林府ノ動物園ニ於テ一兒ヲ乳セシコアリ其大サ寸許ニ過キ分娩スレハ其母直ニ之ヲ銜ンテ皮袋中ニ護送シ哺乳スルコ凡ソ三百日ニシテ其兒全ク生育シ遂ニ母袋ヲ離辭セリ或曰ク其兒ノ子宮中ニ

アル僅ニ二十九日ニ過ギズト

第十四目 一穴類

Monorhina.

其口喙扁平長ク突出シテ革皮ヲ被リ肉質ノ唇本質ノ齒ヲ有セザル
猶鳥喙ノ如ク鎖骨重模シテ肛門及ヒ生殖器ヲ一穴中ニ開キ耳殼ヲ有
セザル亦猶羽族ノ如シト雖ヒ全身ニ毛若クハ刺ヲ蒙リテ袋骨ヲ具
ヒ胎生ノ兒ヲ育スルニ乳液ヲ哺啜セシムルノ性アルヲ以テ之ヲ哺乳
動物ノ目末ニ列セリ大洋洲ニ産ス今其二種ヲ掲ゲテ之ヲ例ス

鴨嘴義

Ornithorhynchus paradoxus, Blch.

該獸ノ圖卷首ニ見ヘタリ其大サ一尺五寸尾ハ扁平ニシテ四寸強口喙
扁闊鴨嘴ニ似テ鼻孔其前端ニ在リ鰓齒ニアレヒ角質管狀ニシテ齒根
ヲ有セズ四肢共ニ五趾ヲ具ヒテ蹠連綴シ雄ハ後肢ニ距ヲ具フ其狀管
ノ如ク中ニ腺ヲ有ス体毛硬直ニシテ赤色ナルアリ或ハ黒褐色ニシテ
縮縮セル者アリ故ニ之ヲ内別シ甲ヲ〇. rufus. ト稱シ乙ヲ〇. fuscus. ト

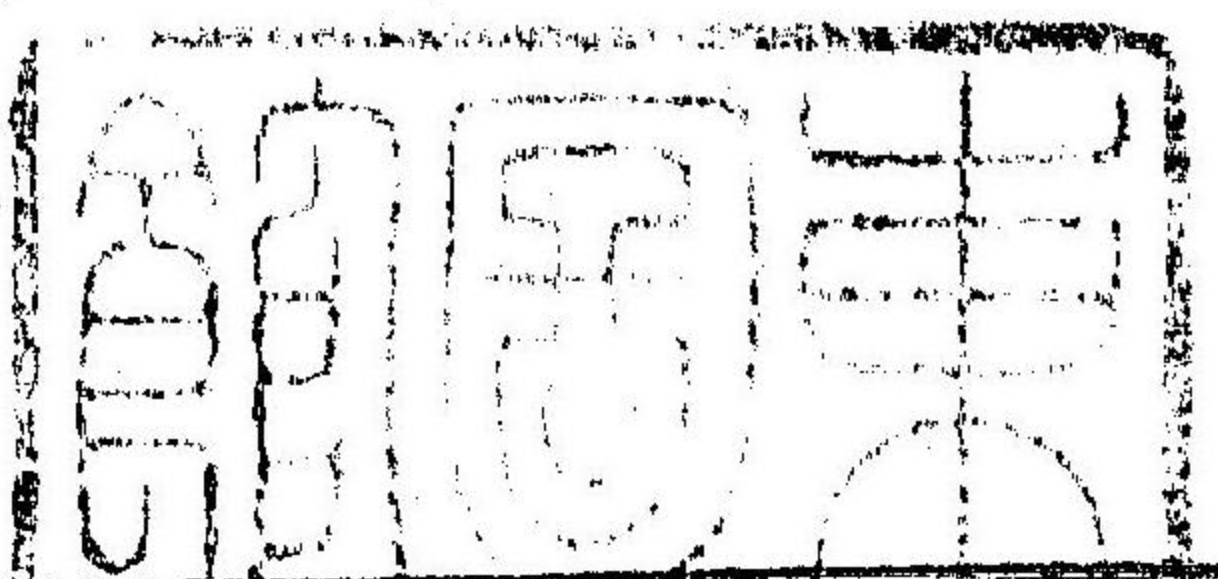
謂マ大洋洲ノ東北ニ産シ河岸ニ穴居ス其構巢鼯鼠及ヒ海狸ノ如ク數
孔分岐シテ其穴口一ハ水中ニ浸シ一ハ汀上ニ開ク性怯懦蹠踏シテ眠
ル游泳潛行甚タ巧ナリ常ニ口喙ヲ以テ淤泥中ヲ探啄シ軟体虫及ヒ水
生ノ小蟲ヲ食スルヲ恰モ家鴨ノ餌ヲ覓ルト一般ナリ

食蟻蝟義

Echidna hystrix, Home

其体凡ソ一尺四寸六分尾ノ長サ四分アリ背部白黄色ニシテ黒刺ヲ間
生ス其長サ凡ソ一寸七分アリ口喙細長ニシテ象鼻ニ類シ齒ヲ有セズ
四肢共ニ三趾ヲ具ヒ鉤爪大ニシテ地ヲ穿ツニ便ス大洋洲ノ南方ニ産
シ穴居シテ昆蟲ヲ食フ殊ニ蟻ヲ嗜ミ吐舌シテ之ヲ舐食ス性怯懦夜獸
ニシテ行歩巧ナラス若シ敵手ニ遇ヘハ忽チ蹠縮シテ弱肉ノ難ヲ免ル
ルヲ縮蝟ノ如シ其眼ルモ亦然リ

應用動物學上編卷之二



目次	
第二綱 鳥	一五九丁
全上總論	一五九丁
全上分類表	一七〇丁
第一目 鳴禽類	一七二丁
第二目 叫禽類	一九四丁
第三目 攀禽類	一九八丁
第四目 猛禽類	二〇四丁
第五目 鴿類	二一二丁
第六目 鷄類	二一四丁
第七目 走禽類	二一八丁
第八目 涉禽類	二二一丁

第九目	水禽類	二三一丁
第三綱	爬蟲	二四〇丁
全上總論		二四一丁
全上分類表		二四二丁
第一目	龜類	二四三丁
第二目	鱉類	二四九丁
第三目	蛇類	二五一丁
第四目	蜥蜴類	二六一丁

應用動物學上編卷之二 畢

欠

MISSING

部少ク縦扁セリ頰部純白ナルヲ常トス性々變色ノ者アリ本邦人ハ之ヲ籠中ニ愛養スレド其本産ハ東印度ニシテ稻田ニ大害アリ性亦好シタ昆虫ヲ啄攫スルヲ猶雀ノ如シ曾テ亞米利加新英國ニ於テハ其害ヲ惡シテ之ヲ大驅セシヨ由リ其年害虫群生シテ大ニ收穫ヲ減セシヲアリト云フ

カナリヤ *F. canaria*, L.

其嘴形前種ニ等シク全身黃色ナリト雖同屬同大ノ者ヲ以テ之ニ交尾セシムレド其呈色ヲ變ス本産ハカナリヤ島ニシテ現時ハ宇内之ヲ籠養セリ

花鷄 *F. montifringilla*, L.

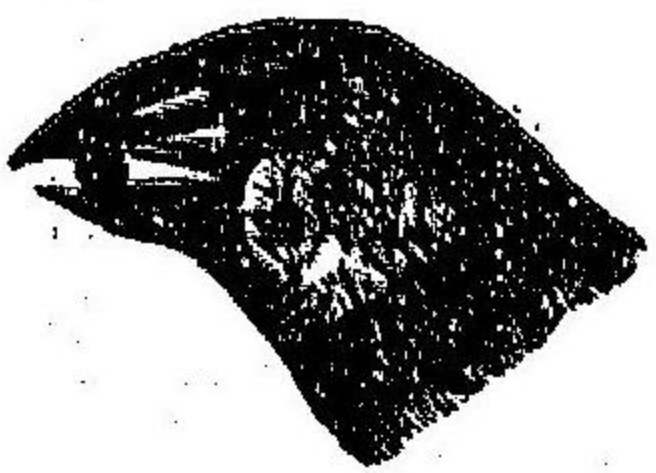
嘴形亦前種ノ如ク後背及ヒ尾ノ中央白色ニシテ兩脇ハ黒シ翼ニ黃赤及ヒ白色ノ横斑アリ頭部黑色ニシテ雄ハ鏽黃色雌ハ赤灰色ノ羽ヲ混生ス歐羅巴小亞細亞及ヒ本邦ニ産ス各種ノ變生アリ含油ノ種亦食

夏月ハ昆蟲ヲ逐啄スルコト多シ

蠟嘴

E. (Coccothraustes) japonicus, Schleg. [第四十八圖]

其體豐肥其大サ六寸許嘴ハ其色淡白脂ノ如キアリ或ハ蠟黃蠟ノ如キアリ圖ノ如ク絶ク強大銳利多力ニシテ最硬ノ殼甲ト雖能ク細折シテ之ヲ食フ尾脚共ニ短クシテ鉤爪強銳ナリ禽色栗褐ニシテ翼ニ白横斑ヲ具ヘ頂上灰白ニシテ雄ハ喉頭ニ黒斑ヲ有ス腹部鋪赤色ナリ



第四十八圖

(二) 鶯屬

Pyrhula, Bris.

其嘴頗ル強大上嘴ハ下嘴ヨリ長クシテ其尖微曲セリ鼻孔ハ毛下ニ隠レ脚ハ短強ニシテ鉤爪大ナラス第二若クハ第四ノ手冠最モ長シトス鶯屬亦巧ニナリ此屬三十餘種アリ今其本邦産一種ヲ掲ク

鶯

P. orientalis, Tem.

其體榮鵲鴝ニ比スレバ較肥大ニシテ頭嘴翼尾共ニ黒ク背胸及ヒ腹部

ハ灰青色ニシテ微ク赤色ヲ帯ビ兩頰ニ深紅色ノ斑紋アリ延テ頸項ニ至ル

(三) 交喙屬

Loxia, L.

其體豐肥嘴扁平ニシテ交錯セルコト第四十九圖ノ如ク性痴頑狂撮コシテ松林ニ群居シ樹枝ヲ銜啄シ依テ以テ築巣スルコト鴉鴝鴝ノ如ク絶定期ナシ此屬四種アリ本邦産一種ヲ掲ク

交喙

L. alviventris, Swinhoe. [第四十九圖]

頭背蒼赤腹臆紫赤ニシテ脚黒シ

(四) 畫眉鳥屬

Emberiza, L.

第四十九圖



嘴形短尖下嘴廣濶ニシテ口ヲ閉レバ上嘴ヲ受容ス口蓋ニ一突起アリ後趾ノ爪ハ趾ヨリモ差短シ多クハ林

中ニ棲息ス其肉美味ナリ歐人ハ之ヲ鑿製シテ販賣品ト爲セリ此屬都テ三十餘種本邦ニ産スル者十一種アリ今其二種ヲ掲ク

畫眉鳥

E. ciopsis, Bp.

雀ヨリ差大ニシテ眼上ニ白斑アリ。恰モ畫眉ノ如シ故ニ此漢名アリ。眼下黒クシテ兩頬白シ。ホウシロノ稱ヲ得ル所以ナリ。頭背灰赤ニシテ背上ニ黒斑ヲ具ヘ翼尾共ニ黒クシテ尾ノ兩端白羽ヲ生ズ其聲清滑ニシテ宛然小鈴ヲ鳴ラヌニ似タリ。世人之ヲ愛玩シテ籠養ス其肉美味ナリ。大和本草ヨ曰ク本産ハ漢土ナリト。

蒿雀

E. personata, Tem.

其大サ雀ニ均ク頭上青黄コシテ紫色ノ縦斑アリ。眉頬稍黄白ニシテ上嘴及ヒ眼邊ハ黒ク胸脇腹部並ニ淡黄色ニシテ黒斑ヲ具ヘ翼ハ黄赤色ニシテ黒赤ノ縦斑アリ。脚赤クシテ趾爪共ニ白シ。性急躁常ニ山中ニ棲居シ秋冬ハ原野蒿莖ノ間ニ逍遙ス本草綱目曰燒存性能止血又解毒治食傷ト其肉諸雀ニ勝レリ。

第二 天鷄族

Alaudidae.

其嘴圓錐狀ニシテ長短齊カラスト雖上嘴ノ皆下嘴ヲ受容ス。手翹十枚アリ。牧場田野ニ巢シテ種子及ヒ昆虫ヲ啄ミ希ニ五穀ノ葉ヲ害ス。其卵土灰色ニシテ小點ヲ具フ。全地球上ニ産ス一屬五十餘種アリ。

(一) 天鷄屬

Alauda, L.

後爪ハ前爪ニ比スレハ甚ク長クシテ其形或ハ端直ナルアリ或ハ微ク弓曲セル者アリ。翕羽黄灰若クハ灰褐色ニシテ翹邊暗色ヲ呈スルカ爲メニ全身褐色ノ小斑ヲ具フル者ノ如シ。

天鷄

A. japonica, Tem.

其形態雀ニ似テ差大頭背褐色ニシテ黒斑ヲ具フレハ鮮明ナラス。眼邊及ヒ頰部ハ白クシテ胸腹灰色ナリ。三四月ノ交天氣朗麗ノ日ニ遇ヘハ隴中ヨリ擢起シテ噴々音ヲ呼シ綿々休マス。且飛ヒ且鳴キ回翹旋翔揚揚トシテ恰モ雲霄ニ追ラントス故ニ又告天子ノ名アリ。八九月ノ頃去テ南徙ス肉至テ美味ナリ。

第三 鵯族 Motacillidae.

走脚細高ニシテ手翹九枚アリ其第一翹及ヒ第二翹ハ同長ニシテ最後ノ臂翹ハ手翹ノ最長ナル者ト其長キチ齊フス多クハ水邊ニ生息シテ昆蟲ヲ食ヒ綿毛馬尾燈心草及ヒ諸織緯ノ類ヲ以テ居巢ヲ綯繆ス結構頗ル精巧其狀恰モ織緯セル者ノ如シ

〔一〕 鵯屬 Motacilla, L.

其体細瘦嘴形錐ニ似テ其尖少ク匾匿セリ尾ハ細脩ニシテ中央ノ二翼稍長ク鈎爪多クハ短小ナリ性快敏好シテ水邊ニ棲息シ其行首尾ヲ上下シ歩々相應ス壁孔若シハ地上ニ營巢シテ昆蟲ヲ啄食ス此屬十四種アリ今其二種ヲ掲ク

背黑鵯 *M. japonica*, Swinhoe.

其色青灰背部黒クシテ頸下眼後ニ黒條アリ腹部白色ニシテ胸部ニ黒紋ヲ具フ一種黃鵯 *M. boarula*, L.) ナル者アリ前種ニ比スレハ較

小ニシテ頭背黒ク胸部青黃ニシテ眼上ニ白斑アリ眉ノ如シ

〔二〕 田鵯屬 *Anthus*, Bechst.

其体黃綠ニシテ灰褐色ノ斑ヲ具ヘ後爪長大ニシテ天鵯ニ似タリ嘴形前屬ノ如クニシテ縁ニ截痕ヲ具ヘ尾亦細長ナリト雖モ中央ノ二翼甚ク短シ水邊ニ生息シテ昆蟲ヲ食フ亦前屬ノ如シ此屬十四種アリ

田鵯 *A. japonicus*, Tem. Sirhleg.

其形天鵯ニ似タレドモ黒斑薄ク且差短小ナリ秋分ノ頃渡來シ冬月田間ニ逍遙シテ諸虫ヲ食フ

第三 走樹族 *Certhidae*.

嘴ノ長キ頭部ノ縦經ニ過キテ其形彎曲シ舌ハ角質ニシテ尖リ鈎爪長強大ニシテ鋭ク後爪殊ニカアリ手翹十枚尾翹ノ翹希ニ硬直ナル者アリ昆蟲ヲ食フ

〔一〕 走樹屬 *Certhia*, L.

其嘴圓長尾。翻ハ第五十圖ノ如ク硬直ニシテ樹木ヲ攀緣スル。ハ便ス其

舉動啄木鳥ニ似タリ此屬五種今其本邦産一種ヲ掲ク

キバシリ *C. familiaris, L.*

頭背淡黄ニシテ淡黒ノ斑アリ其狀鶉ノ彪ニ似テ胸腹白シ歐州亦之ヲ産ス

第五十圖



其形上圖ノ如シ

第四 山雀族

Paridae.

其体矮小、翕翕然トシテ濃厚其色鮮媚采絹ノ如ク雌雄雜共ニ同狀ナリ嘴形端直ニシテ其尖漸ク細ク鼻孔羽下ニ隱在ス手翼十枚其第一翼ハ較長ク第四翼ハ最モ長大ナリ其性快速ニシテ爭氣アリ動止佻譎或ハ戯技奇ヲ呈シ人ヲ解頤感賞セシムル者アリ其飛輕捷歩亦蹻々タリ樹木蘆葦ノ間ニ羣棲ノ巧ニ攀緣シ或ハ枝上ニ懸倒ス常ニ昆虫ヲ食

ヒ怒レハ則チ往々小鳥ヲ啄殺スルヲアリ冬候ハ植物ヲ食ヒ亦蜜蜂ヲ啣害スルヲアリ卵ニ黄アリ赤アリ又白色ニシテ赤點ヲ具フル者アリ候禽ナリ

(二) 山雀屬

Parus, L.

嘴短直圓錐形ニシテ微ク匾匿シ舌尖ニ四條ノ硬毛ヲ生セリ其營巢一ナラス或ハ綿毛ノ類ヲ以テ之ヲ綯纏シ毛帽ノ狀ヲナセルアリ又壘形ヲナセル者アリ或ハ蘚苔ノ類ヲ以テ茄子狀ノ巢ヲ構成シ口ヲ側方ニ開ケル者アリ多クハ寒温兩帶ニ産ス其熱帶地方ニ棲息スル者ハ僅ニ二種ニ過キス本邦ニ産スル者四種アリ山雀、四十雀、小雀、日雀是ナリ

山雀

P. varius, Tem. Schleg.

其狀畫眉鳥ニ類シ頭部ハ黄白ニシテ赤色ヲ帶ヒ眼領ノ兩邊ニ黑條アリ背部ハ灰赤腹部淡赤ニシテ嘴胸翼尾共ニ黒シ好シテ胡桃ヲ食フ肉美ナラズ

(三) 五十雀属 Sitta, L.

嘴端直極狀ニシテ尾蹇短ク後爪強大攀緣巧ニシテ昆虫種子胡桃ノ類ヲ食フ樹洞中ニ營巢シ粘土ヲ以テ巢口ヲ塗補ス此属十三種アリ亞細亞、歐羅巴及ヒ北亞米利加ニ産ス

五十雀 Sitta europaea, L.

其大サ五寸強其体紫灰色ニシテ腹部ヲ黄コシ脇腹鋪赤ナリ歐洲及ヒ本邦ニ産シ森林ニ生棲ス

第五 鶯族 Sylviidae.

其体多クハ最小ニシテ美ナラズ嘴端直鬚細長ニシテ上嘴ノ尖ニ淺キ截痕ヲ有シ多クハ小翼ニシテ手翹十枚アリ雌雄或ハ同色ノ者アリト雖ハ雌ハ必ズ異色ヲ呈セリ常ニ林藪ノ内ニ生息シテ居巢ヲ樹木ノ下梢若クハ地上ニ營ム結構頗ル精巧ナリ其飮スルヤ一歳一回若クハ二回ニシテ五顆乃至六顆ノ卵ヲ産シ約ソ十四日間ニシテ孵化ス性飛揚

ヲ好マス其歩爰々タリ昆虫及ヒ蠕虫ノ類ヲ啄食スルヲ以テ農家ニ益アリトス雄ハ鳴聲嬌朗ニシテ愛スヘシ宇内産セサルノ地ナシ候禽ナリ近來諸家ノ實驗スル所ニ據レハ該族ノ本邦ニ産スル者凡ソ九属十六種アリ今其三属三種ヲ揚ケテ之ヲ例ス

鶯 Cettia cantans, Tem. Schleg.

其体雀ヨリ小ニシテ全身鶯黄腹下灰白ニシテ脚暗青ナリ支那ノ俗之ヲ呼ンテ紫鶯ト曰フ

鶯 Calamoherne orientalis, Tem. Schleg.

其大サ伯勞ニ齊シク背上ニ黒灰ノ斑アリ尾長クシテ腹下白シ常ニ田澤蘆葦ノ間ニ生棲シ好シテ葦葦ヲ食フ其聲高亮ニシテ羣鳴セリ其構巢葦莖ヲ以テ支柱ト爲シ之ヲ纏網ス頗ル巧緻ナリ

鶯 Troglodytes fumigatus, Tem. (第五十一圖)

其形鶯ニ似テ頗ル矮小全身茶褐色ニシテ脚黒シ三四月ノ交配陰或ハ

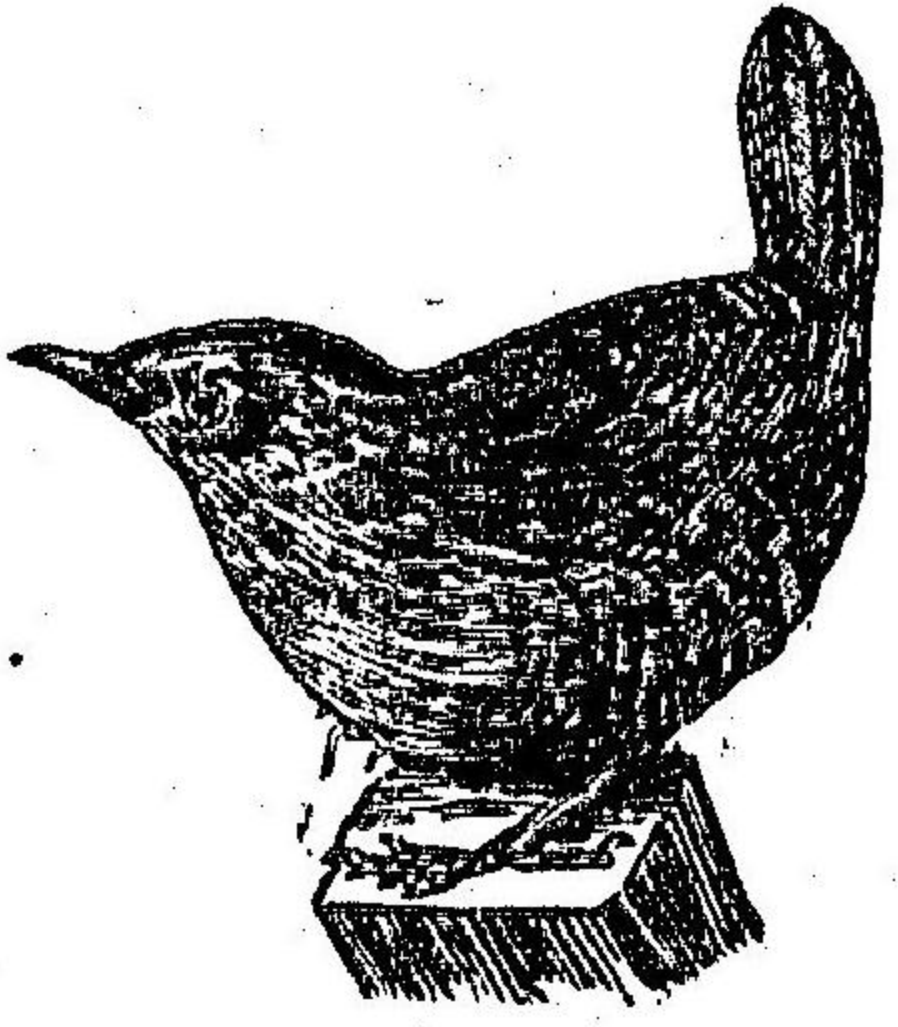
溝畔ヲ穿テ穴巢ヲ營ム和漢三才圖繪云其窠以髮繫之以麻繫之精密

如刺襪然故有襪雀巧婦等之名又本草綱目

曰其肉甘溫灸食甚美令人聰明窠燒灰酒服

治膈噎神驗

圖一十五第



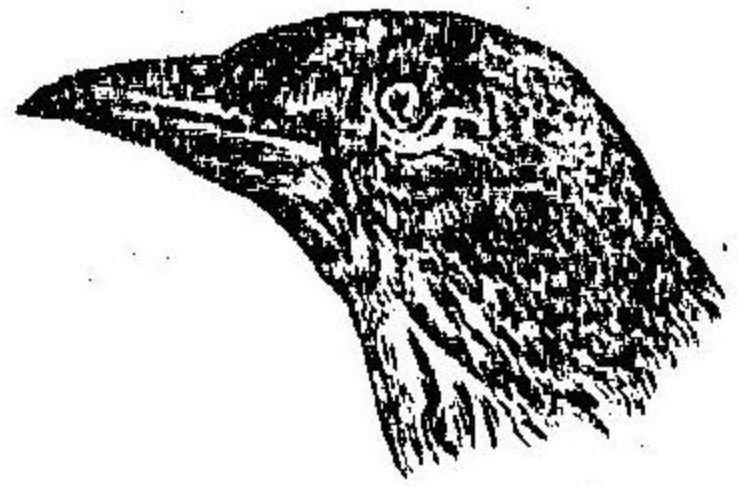
第六 鸚鵡族 *Turdidae.*

其體細嬰ニシテ大小一ナラス翼ノ大サ之
ニ稱フ翕翕軟滑多クハ一色ニシテ濃淡ノ
別アルノミ其燦然光澤ヲ帶ヒ或ハ彩斑ヲ具フル者ハ希ナリ嘴形端直
ニシテ微ク縦區シ上嘴ノ尖縁口ヲ閉レハ下嘴ヲ覆ヒ淺キ截痕ヲ有セ
リ鼻孔楕圓ニシテ露出シ其鬚細短手翅十枚アリ其第三翅最モ長シト
ニ雌雄其帶色ヲ同フスト雖モ夏冬或ハ變色スルヲアリ性活潑ナレモ
懼懦群居ヲ好シテ同族相親慕シ他族ヲ見ルヲ仇讎ノ如ク然リ常ニ林
藪中ニ生息シ昆虫蠕虫及ヒ多液ノ菓實ヲ食フ其肉美味ナル者多シ毎

歲卵スルヲ五顆其色紫灰或ハ赤斑ヲ點スル者アリ其聲啾々トシテ愛
スヘシ營巢頗ル精巧亦候禽ナリ

鸚鵡 *Turdus cardis, Tem. (第五十二圖)*

圖二十五第



其大サ伯勞ノ如クニシテ頭背純黒胸腹白クシテ黒
班アリ但雌ハ此班鮮明ナラス其舌人ニ似テ鳴聲清
越ナリ本草綱目曰去舌尖則能語又曰其目睛和人乳
中研滴目中令人目明能見烟霄外之物其肉甘平治五
痔止血又治老嗽

白頭翁 *Hypsipetes amaurotis, Tem.*

駒鳥 *Erithacus akahige, Tem.*

背上灰白色ニシテ腹下白ク頭上ニ白毛アリ其形鴿ニ似タリ
其狀鶯ニ似テ較ヤ大ナリ頭背翼尾共ニ赤褐ニシテ頰頰赤ク胸腹白色
ナリ鳴聲清亮宛轉走馬ノ轡ヲ鳴ラスニ似タリ故ニ此名アリト曰フ

赤鬚

E. Kou adori, Tem.

駒鳥ニ似テ頭背尾共ニ赤色ナリ頰部黒クシテ腹下白ク胸部ニ黒毛アリ因ニ曰フ以上二種ハ先人其種名ヲ顛倒誤稱セリ然ルニ今之ヲ正誤セサルハ先進ノ之ヲ襲用セルヲ以テナリ

第七 椋鳥族

Sturnidae.

嘴○形○圓○錐○ニ○似○テ○其○尖○少○ク○鈎○曲○セル○者○アリ○或○ハ○端○直○ナル○アリ○又○上○嘴○ノ○尖○ニ○截○痕○ヲ○有○スル○者○アリ○古○世○界○ノ○産○ハ○其○手○裏○十○枚○米○産○ハ○九○枚○アリ○林○樾○中○ニ○群○居○シ○昆○虫○蠕○虫○及○ヒ○蝸○牛○ヲ○食○スル○ノ○益○アリ○ト○雖○ヒ○亦○多○液○ノ○菓○實○ヲ○啄○食○スル○ノ○害○アリ○此○族○四○屬○五○十○餘○種○今○其○一○ヲ○掲○ク

椋鳥

Sturnus cinereus, Tem.

其○形○其○大○并○ニ○小○鳩○ノ○如○ク○全○身○黑○灰○色○ニ○シ○テ○眼○邊○ニ○白○毛○アリ○其○聲○白○頭○翁○ニ○似○テ○噪○喧○ナリ○常○ニ○群○飛○シ○好○メ○テ○椋○實○棟○子○ヲ○食○フ

第八 霧鳥族

Paradisæidae.

其○嘴○少○ク○鈎○曲○シ○テ○未○端○圓○匾○ニ○上○嘴○ハ○之○ヲ○橫○斷○スレハ○幾○ノ○ト○三○隅○形○ヲ○ナシ○鈎○爪○銳○利○ニ○シ○テ○縱○匾○ス○多○ク○ハ○熱○帶○地○方○ニ○産○シ○林○樾○ニ○生○息○シ○テ○昆○虫○及○ヒ○多○液○ノ○菓○實○ヲ○食○ス○三○屬○十○三○種○アリ

(一) 霧鳥屬

Paradisæa, L.

嘴○根○ノ○附○短○細○軟○柔○鷲○絨○ニ○似○テ○鼻○孔○ヲ○隱○蔽○シ○脇○尾○ノ○軟○羽○斐○然○ト○シ○テ○下○垂○ス○其○狀○恰○モ○流○蘇○ノ○如○ク○光○澤○媚○麗○ナリ○新○グイ○チヤ○及○ヒ○其○近○島○ニ○産○ス

霧鳥

Papoda, L.

其○體○褐○色○頭○頸○ノ○兩○部○ハ○黃○色○ニ○シ○テ○喉○部○ハ○綠○色○ヲ○呈○シ○且○ツ○金○光○ヲ○帶○フ○其○大○サ○凡○ッ○七○寸○雄○ハ○脇○尾○ノ○軟○羽○白○色○ニ○シ○テ○甚○タ○細○長○且○ツ○美○麗○ナリ○其○卵○スルヤ○雄○ノ○背○上○ニ○之○ヲ○籠○ス○羣○居○常○ニ○三○四○頭○ナレヒ○雄○ハ○寡○ク○シ○テ○雌○ハ○多○シ○土○耳○格○人○ハ○雄○ノ○羽○ヲ○採○テ○帽○飾○ト○ナシ○又○其○脚○ヲ○去○リ○之○ヲ○剝○製○シ○テ○歐○洲○ニ○輸○送○ス○貴○女○之○ヲ○爭○購○シ○テ○頭○飾○ト○ナセリ○其○價○極○メ○テ○貴○シ

第九 鴉族

Corvidæ

其嘴強大稍端直ニシテ其長サ頭部ニ均シク其形圓錐ニ似テ末端縱扁
セリ鼻孔ハ鬚下ニ隱沒シ手翼十枚アリ其第一翼甚タ長大或ハ第二翼
ト其長サチ齊フスル者アリ或ハ其半ニ過クル者アリ樹木岩石ノ上ニ
巢ス其卵綠色ナリ性健啖群棲チ好ミ鳴聲啞々快ナラス宇内産セザル
ノ地ナシ四屬五十餘種アリ鳴禽中ノ最大物ナリ

二 鴉屬 *Corvus, L.*

全身黒色ニシテ光澤アリ翁翹偃伏尾翹廣潤走脚強壯ナリ多クハ羣居
シ小枝枯草等ヲ以テ高樹岩洞及ヒ層塔ノ上ニ營巢シ高飛閃々其歩ス
ル趣々トシテ雀行チナカス肢体臭氣ヲ帶ヒ性猖獗貪戾ニシテ爭氣ア
リ菓實種子及ヒ有益ノ小禽ヲ食フヲ以テ園畝ニ害アリト雖ヒ饅肉昆
虫黠鼠等ヲ啄除スルノ功アリ能ク人ニ馴レ亦人語ヲ學フ翼翹ノ翻ハ
以テ畫筆ヲ製スヘシ此屬四十餘種アリ

慈鳥 一名ハシボ *C. corone, L.*

其体凡ソ一尺五寸嘴ハ走脚ヨリ短クシテ上嘴頗ル鈎曲シ項背紫光チ
帶フ歐羅巴及ヒ北亞細亞ニ産ス本邦ニ産スル者亦是ナリ

鳥鴉 ハシボ *C. japonensis, Bonap*

体形前種ニ似タリト雖ヒ差大ニシテ其嘴亦巨大ナリ本草綱目曰慈鳥
可食鳥鴉腥多不可食ト本邦人ハ臘月ニ之ヲ捕ヘテ羽嘴脚ヲ去リ黒燒
ニシテ藥用ニ供ス漢土亦此法ヲ用フト云フ

深山鳥 ミヤマガラス *C. pashinator, Gould.*

其大サ凡ソ一尺五寸嘴根端直ニシテ其尖少ク鈎曲シ上下其長サチ齊
フス但老鳥ノ嘴根ハ裸出セリ歐洲亦之ヲ産ス田畝牧場ノ間ニ生息シ
主トシテ昆虫ヲ食フ

二 鵲屬 *Pica, Briss.*

尾長大ニシテ楸形チ成シ軀幹ト其長チ同フス其屬九種アリ

鵲 カヤクサ *P. media,*

其大々慈鳥ノ如ク尾長クシテ黑白駁雜シ嘴細尖コシテ背部ハ綠色ヲ呈シ腹下白フシテ爪黒シ飛鳴惡食スルヲ猶ホ前屬ノ如シ殊ニ肥前ニ多シ好シテ小雛及ヒ菓實ヲ害スト雖モ亦能ク昆虫ヲ啄除スルノ功アリ

第十 伯勞族

Lanidae.

其嘴強大ニシテ側區シ上嘴ノ尖頗ル鈎曲シテ嘴根ニ硬毛ヲ生セリ手翹ハ十枚コシテ其第一翹較長ク眼邊ニ黒班ヲ有セリ性驚悍コシテ爭氣アリ林藪ノ邊原野ノ畔ニ居リ昆虫小禽及ヒ哺乳動物ノ小ナル者ヲ捕獲ス但其小ナル者ハ一啣シテ之ヲ食ヒ大ナル者ハ枝尖ニ貫キテ徐々之ヲ啄食ス能ク他禽ノ擬鳴ヲ爲セリ

伯勞

Lanius bucephalus, Tem. Schleg.

其形鳩ニ似テ矮小頭背黃褐色ニテ眼邊ニ黒班アリ胸臆白色腹部黃赤色ニシテ黒横班ヲ有ス世人之ヲ家養シ以テ捕禽ノ娛具トナセリ此屬尙五十餘種アリ

第十一 小燕族

Muscicapidae.

其嘴前族ニ比スレハ細威ニシテ其起部ノ横斷面幾ハト三角形ヲナシ上嘴ノ尖小ク鈎曲セリ手翹十枚アレモ其第一翹甚ク短シ好シテ昆虫及ヒ小禽ヲ食フ此族前族ヲ合シテ三百八十餘種アリ

小燕

Muscicapa mugimaki, Tem. Schleg.

燕ヨリ小ニシテ全身黒色翼ニ白羽ヲ混生シ眼上黄ニシテ其頰深黄ナリ冬春ノ候稀ニ之ヲ見ルコトアリ

三光鳥

Tchitrea Princeps, Tem.

鶺鴒ヨリ稍大ニシテ体色紺碧背上ハ微赤ヲ帯ビ腹部ハ白フシテ翼黒シ頂上ニ羽冠アリ雄ハ其尾尺餘ニシテ絶々麗美ナリ鳴聲圓轉日月星ト喚フガ如シ故ニ此名アリ

第十二 燕族

Hirundinidae.

嘴短闊匾平コシテ幾ハト三角形ヲ成シ口角深ク裂テ眼下ニ及フ手翹

ハ九枚ニシテ其第一翼最モ長ク尾多クハ岐裂シ脚細弱ナリ飛翔極メ
テ輕快飛虫及ヒ羽虱ヲ啄食ス其子ヲ哺養スルモ亦之ヲ以テス大益禽
ナリ此族三十余种アリ

燕 *Hirundo gutturalis*, Scop.

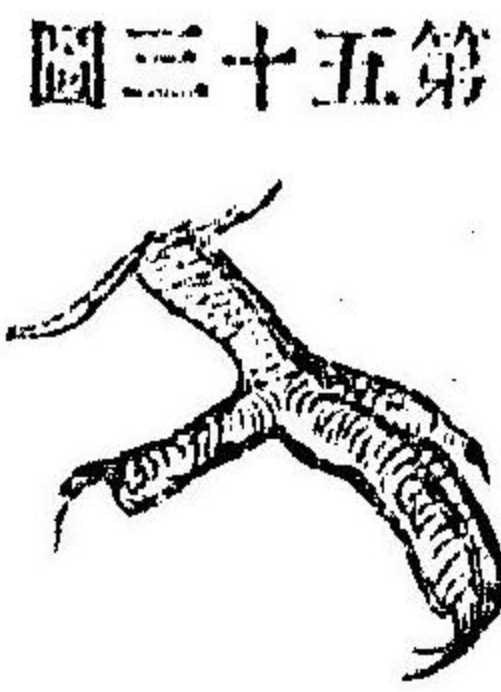
其大ハ雀ノ如クニシテ尾長ク頂背尾翼共ニ黑色ニシテ頸部白ク領部
ハ黃赤色ナリ晚春人家ノ軒ニ營巢シ初秋ニ及ンテ去ル其去來雁鴻ト
相ヒ更遞セリ

金絲燕 *H. esculenta*, L.

其大リ四寸許褐色ニシテ腹下尾尖ヲ白クス印度及ヒ支那ノ海岸ニ産
シ海藻ヲ集メテ津液ヲ嘔出シ窩ヲ巖穴中ニ作ル之ヲ燕窩ト曰フ一名
金絲又燕窩菜トモ云ヘリ西人以テ菓餅ヲ製スルニ用フ一顆ノ價凡ソ
二三圓ナリト云フ泉南雜誌及ヒ閩部疏ニモ亦此事ヲ載セリ

第二目 叫類 *Olanatores*.

其嘴形一ナラス脚亦各種ノ別アリ乃チ第五十三圖ノ如ク其中趾ト内
趾トハ半ハ連綴セル者多シト雖モ亦此二趾僅ニ其根部ノミ癒著スル



第五十三圖

者アリ希ニハ四趾皆正シク分裂スルアリ或ハ四趾
并ニ前向シ自在ニ第一趾ヲ先後スル者アリ手翼ハ
十枚ニシテ其第一翼ハ第二翼ニ半ス下喉頭ニ鳴筋
機ヲ有セス唯一筋ノ裝置アルノミ故ニ其聲鳴禽ノ

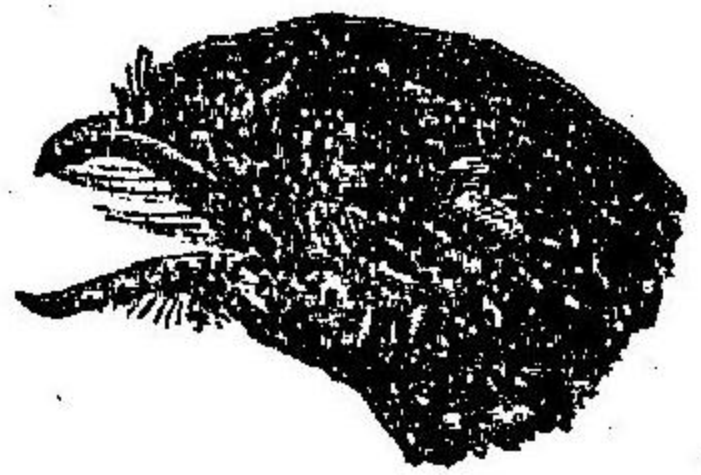
如ク清亮ナラス多クハ樹洞土窖中ニ卵ス其卵白色ニシテ斑文ヲ有セ
ス亞米利加利ニ多シ昆虫ヲ以テ食料トナス

第一 怪鷗族 *Caprimulgidae*.

嘴形短闊匾平燕嘴ニ類シテ髯ヲ生ス長翼短脚翕羽靴然トシ灰色ヲ帶
ヒ眼目ノ圓大ナル鳴鷗ノ如シ夜禽ニシテ飛虫殊ニ蛾及ヒ甲翅ノ類ヲ
啄食シ亂草ノ中ニ卵ス此族四屬皆農家ニ大益アリ

怪鷗 *Caprimulgus jotaka*, Tem. Schleg. (第五十四圖)

圖四十五第



前趾ノ基礎部ニ連膜アリ中趾ノ爪ニ櫛狀ノ截痕ヲ有ス日中ハ草間樹陰ニ潜伏シテ眠リ黄昏ヨリ出テ飛行ス

第二 壁燕族 義

Cypselidae.

其形燕ニ似テ嘴短濶口角眼下ニ至ル翼ハ尾ヨリ長ク其第一翹最モ長大ニシテ第二翹ハ甚ク短小ナリ脚亦短弱四趾皆前向シ第一趾ハ前後ニ回旋ス山嶺ノ巖窟城閣堂宇ノ間ニ營巢シ常ニ高飛シテ地ニ下ルヲ稀ナリ翹飛輕迅ニシテ昆虫ヲ食フ其卵色暗白ナリ本邦ニ産スル者二種アリ并ニ益禽ナリ

ナイリ燕

Cypselus pacificus, Lath.

鷓鴣

Chaetura cauiacuta, Lath.

第三 戴勝族

Upupidae.

嘴細長ニシテ少ク弓曲シ舌短小ニシテ三角形ヲ成セリ羽冠アリ二行

圖五十五第



ニ列シ起伏意ノ如クス其狀羽扇ニ似タリ四趾皆分生ス巖穴樹洞ニ巢居シ地ヲ穿喙シテ昆虫及ヒ蠕虫ノ類ヲ食フ候禽ナリ二屬アリ

戴勝

Upupa epops, L. [第五十五圖]

其形態鳩ノ如ク頭頸縹赤色ニシテ羽冠ニ黒斑ヲ點ス翼尾共ニ黒色ニシテ横ニ白斑アリ亞細亞歐羅巴及ヒ亞非利加ノ諸洲ニ産ス蘭山翁曰ク本邦賀洲邊ニ多シト田圃ニ益アリ

第四 魚狗族

Alcedidae.

翼尾共ニ短ク脚亦矮弱ニシテ中内ノ兩趾半ハ連綴シ頭部巨大嘴亦長大端直ニシテ四稜ヲ有セリ低飛頗ル迅巧常ニ水邊ニ生息シテ水虫小魚ノ類ヲ食ヒ鷺飛シテ之ヲ水中ニ啄ス其巢窩河崖ニ在リ横ニ入ルヲ尺許六顆乃至十顆ノ卵ヲ産ス其狀彈丸ニ似テ色白ク光澤アリ本邦ニ

産スル者二種アリ

魚狗 カワセミ

Alcedo bengalensis, Gm.

其體雀ヨリ肥大、頭背翠碧、腹嘴脚共ニ赤色ニシテ頗ル美麗ナリ。漢土ノ女子ハ以テ首飾トナス。水樹ノ畔寂實ノ濱ニ生棲シ、躍魚ヲ食フ故ニ養魚家ニ害アリトス。魚虎、魚師、釣魚翁等ノ名ヲ得ル蓋シ之ニ由ルナリ。本草綱目曰、其肉鹹、去腸癰服之、主治魚骨哽。

翡翠 ヤマセミ

Halcyon coromanda, Bodd.

前種ニ似テ大且絶美ナリ。溪間水畔ニ棲遲シテ魚虫ヲ食フ亦以テ女子ノ首飾トナスヘシ。漢土ノ人好メテ之ヲ紅圍翠帳及ヒ珠籠屏風ニ畫ク蓋シ妖艶ノ姿アルヲ以テナリ。

第三目 攀木類

Scansores,

此類ノ足ハ左圖ノ如クニ趾前向シテニ趾後向ス之ヲ攀足ト云フ蓋シ攀縁ニ便ナレハナリ。羽少ナクシテ翁羽多シ、羽様脚理ノ同シカラサ

第五十六圖



第一 杜鵑族

Cuculidae.

圖ノ如ク當今學者ノ驗視スル者一千餘種アリ皆山林ノ大益禽ナリ。其嘴扁平ニシテ上端少シク鈎曲シテ口大ニシテ往々口角ノ眼下ニ至ル者アリ。尾長クシテ脚羽多シ好メテ昆虫ヲ啄食スルヲ以テ世ニ大益アリ。此族百二十餘種トス。

杜鵑 ホトトギス

Cuculus poliocephalus, Lath.

其色灰黒ニシテ白斑ヲ具ヘ腹白フシテ鷹彪アリ。脚蒼色ニシテ前趾ニ連膜ヲ有ス。暮春始テ鳴キ仲夏ニシテ止ム。其聲裂布ノ如ク好メテ毛虫

ルヲ異類視セントスル者アリ。森林ノ間ニ生息シ、樹頭ニ營巢シテ昆虫ヲ啄食ス。樹木ヲ攀縁スルヲ頗ル巧ナリ。往々尾ヲ以テ其攀縁ヲ助クル者アリ。其狀